

◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和 7 年度第 4・四半期

(令和 8 年 1～3 月)

目 次



ウーマンズビジネスグランプリ
2026in 品川
(令和8年2月8日)

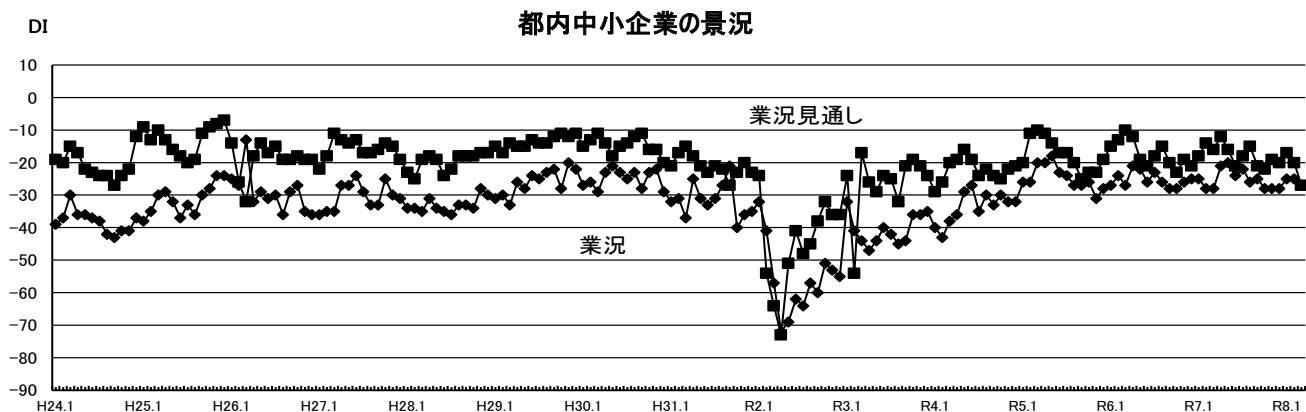
都内中小企業の景況（令和 8 年 1～3 月期）	1
品川区内中小企業の景況（令和 8 年 1～3 月期）	2
品川区の今期の特徴点	3
製 造 業	4
卸 売 業	9
小 売 業	13
サービス業	18
建 設 業	22
情報通信業	26
日銀短観	30
東京都と品川区の企業倒産動向（令和 8 年 3 月）	30
特別調査「令和8年度の経営見通し」	31
中小企業景況調査 比較表・転記表	36

品川区 地域振興部 地域産業振興課

調査実施機関 株式会社東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和8年1～3月期）

業況：全体の景況感は前期並。小売業、製造業、卸売業がやや改善した。
見通し：サービス業はやや改善、小売業、卸売業はやや悪化する見通し。



業況 DI（季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は▲27（前期は▲28）と、前期並となった。今後3か月間の見通しでは、今期から増減なしの▲27となる見通し。

	前期 (R7.12)	今期 (R8.3)	増減	今後3か月間の 見通し
製造業	▲31	▲29	2	▲30
卸売業	▲27	▲25	2	▲27
小売業	▲35	▲32	3	▲36
サービス業	▲21	▲21	0	▲17
全体	▲28	▲27	1	▲27

令和8年3月の都内中小企業の業況 DI は、前期から1ポイント増の▲27と、前期並となった。今後3か月間の見通しでは、今期から増減なしの▲27となる見通しとなっている。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、小売業（▲32）は3ポイント増、製造業（▲29）、卸売業（▲25）がともに2ポイント増となり、やや改善した。サービス業（▲21）は前期から変動がなかった。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（33）は11ポイント増と大幅に上昇した。卸売業（25）、小売業（22）はともに4ポイント増とやや上昇した。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、卸売業（13）、サービス業（4）はともに4ポイント増とやや上昇した。製造業（3）は1ポイント増、小売業（11）は1ポイント減となり、ともに前期並となった。

今後3か月間の業況見通し DI を業種別にみると、サービス業（▲17）は4ポイント増とやや改善する見込み。小売業（▲36）は4ポイント減、卸売業（▲27）は2ポイント減とともにやや悪化する見込み。製造業（▲30）は1ポイント減と今期並となる見込みである。

【注】

○D. I（ディフュージョン インデックス Diffusion Indexの略）

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和8年1～3月期）

業況：全体の景況感は前期並。小売業、サービス業でかなり改善。

見通し：卸売業でかなり改善する見込み。その他業種はいずれも悪化する見込み。



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、米国のサブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4～6月期の業況DIは▲72となった。

今期（令和8年1～3月期）の業況DIは▲15と前期並、今後3か月間の見通しはかなり悪化する見込みとなっている。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R7.7～9)	前期 (R7.10～12)	今期 (R8.1～3)	今後3か月間 の見通し
製造業	▲50	▲23	▲34	▲37
卸売業	▲41	▲21	▲29	▲23
小売業	▲6	▲21	▲2	▲28
サービス業	▲18	▲10	▲3	▲10
建設業	▲13	▲17	▲16	▲28
情報通信業	6	1	▲6	▲12
全体	▲22	▲16	▲15	▲25

※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、前期並となった。来期（今後3か月間の見通し）においては低調感がかなり強まる見通しとなっている。業種別にみると、今期は小売業、サービス業でかなり改善した。建設業は前期並、情報通信業は悪化に転じた。製造業、卸売業は低調感がかなり強まった。来期は、卸売業でかなり改善、製造業はやや悪化、サービス業、建設業、情報通信業はかなり悪化、小売業は極端に悪化する見込み。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、3月は生産、出荷、在庫、在庫率はいずれも低下となった。製造工業生産予測調査では、4月は前月比2.1%の上昇、5月は前月比2.2%の上昇を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている3月の消費者物価指数（2020年=100）は112.7（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）で0.4%上昇した。

品川区の今期の特徴点

景 気 予 報						
大きく上昇	上 昇	やや上昇	横 這 い	やや下降	下 降	大きく下降

<<前期>> <<今期>> <<来期>>

全 体



業況、売上額、収益はいずれも前期並となった。販売価格は上昇傾向がやや強まり、仕入価格は上昇傾向がかなり強まった。資金繰りは前期並となった。

製 造 業



業況は低調感がかなり強まった。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は減少幅がやや拡大した。販売価格は上昇に転じ、原材料価格は上昇傾向が極端に強まった。在庫は過剰から品薄に転じた。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

卸 売 業



業況は低調感がかなり強まった。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格は上昇傾向がやや弱まった。仕入価格は上昇傾向がやや強まり、在庫は過剰感がかなり改善した。資金繰りは厳しさがかなり増した。

小 売 業



業況はかなり改善した。売上額は増加に転じ、収益は減少幅がかなり縮小した。販売価格、仕入価格はともに上昇傾向がかなり強まった。在庫は前期並となった。資金繰りは厳しさがやや増した。

サ ー ビ ス 業



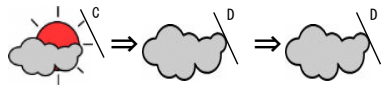
業況はかなり改善した。売上額は増加に転じ、収益は減少幅がかなり縮小した。料金価格は上昇傾向がかなり強まり、材料価格は上昇傾向がやや強まった。資金繰りは前期並となった。

建 設 業



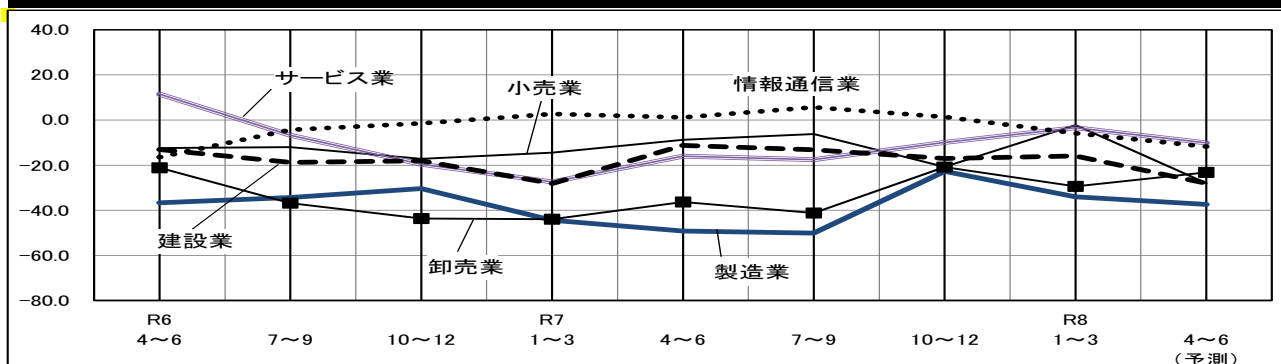
業況は前期並となった。売上額は前期並となり、施工高、収益はともに減少幅がやや拡大した。請負価格は下降傾向がやや強まり、材料価格は上昇傾向が極端に強まった。在庫は過剰から品薄に転じた。資金繰りは厳しさがやや増した。

情 報 通 信 業



業況は悪化に転じた。売上額は増加から減少に転じ、収益は減少幅がかなり拡大した。システム提供価格は上昇傾向がやや強まり、人件費は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△23→△34)は低調感がかなり強まった。売上額(△18→△24)は減少幅がかなり拡大、収益(△24→△26)は減少幅がやや拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は5ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△2→11)は上昇に転じ、原材料価格(53→74)は上昇傾向が極端に強まった。在庫(5→△3)は過剰から品薄に転じた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△28→△23)は厳しさがやや和らぎ、借入難易度(0→△11)はかなり悪化した。今期借入れをした企業は21%で前期の20%から1ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

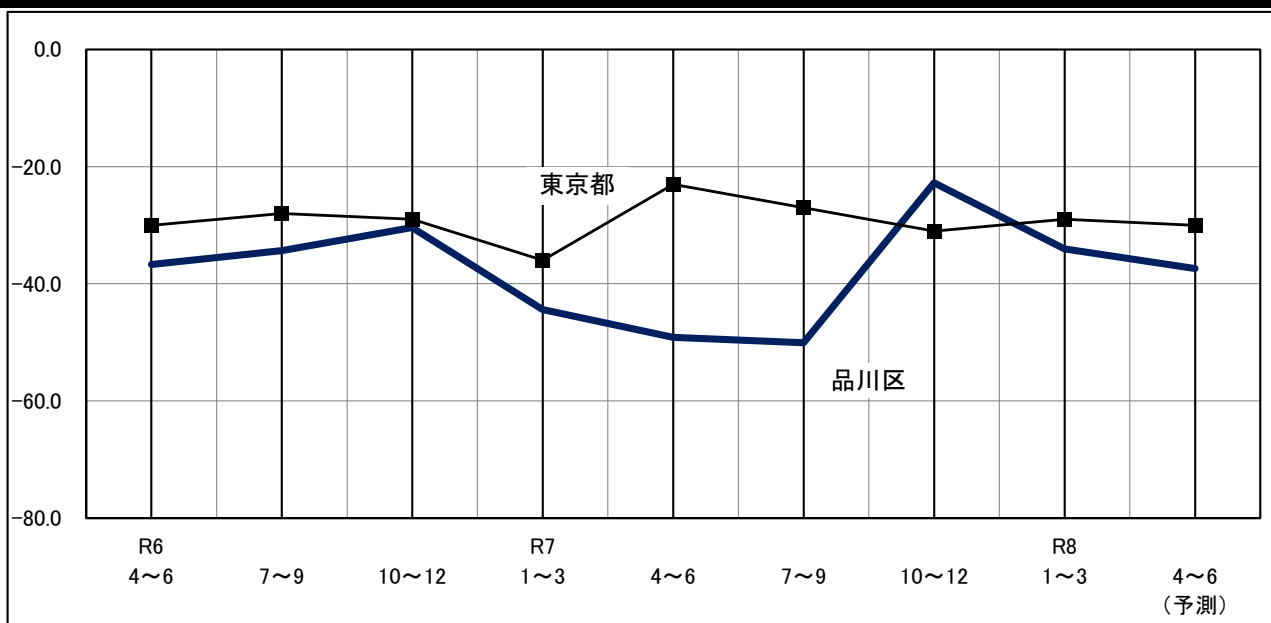
経営上の問題点は、1位は「原材料高」が68%、2位は「売上の停滞・減少」が48%、3位は「仕入先からの値上げ要請」「人件費の増加」がともに21%となった。前期6位であった「仕入先からの値上げ要請」が今期3位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が51%、2位は「販路を広げる」「人材を確保する」がともに33%、3位は「新製品・技術を開発する」が24%となった。前期2位であった「経費を節減する」が今期1位と順位を上げた。

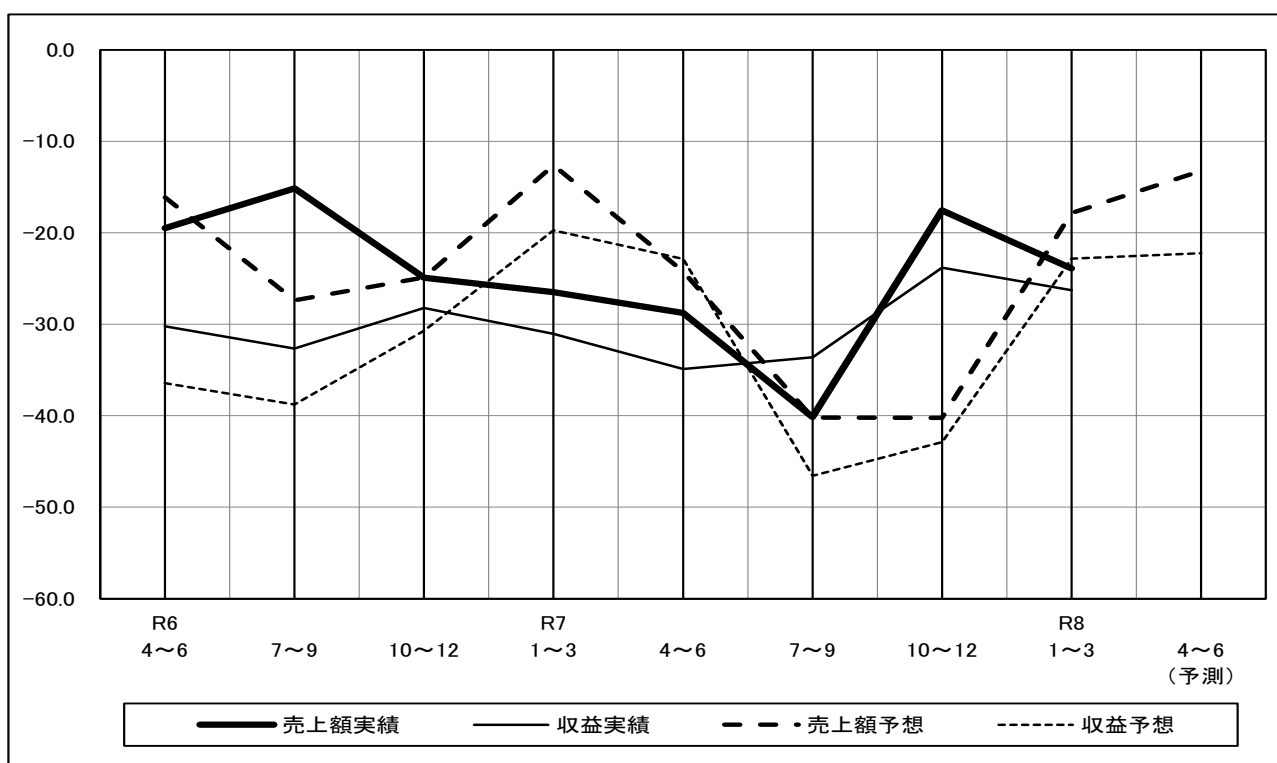
来期の見通し

業況(△34→△37)は低調感がやや強まる見込み。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は減少幅がやや縮小すると予想されている。

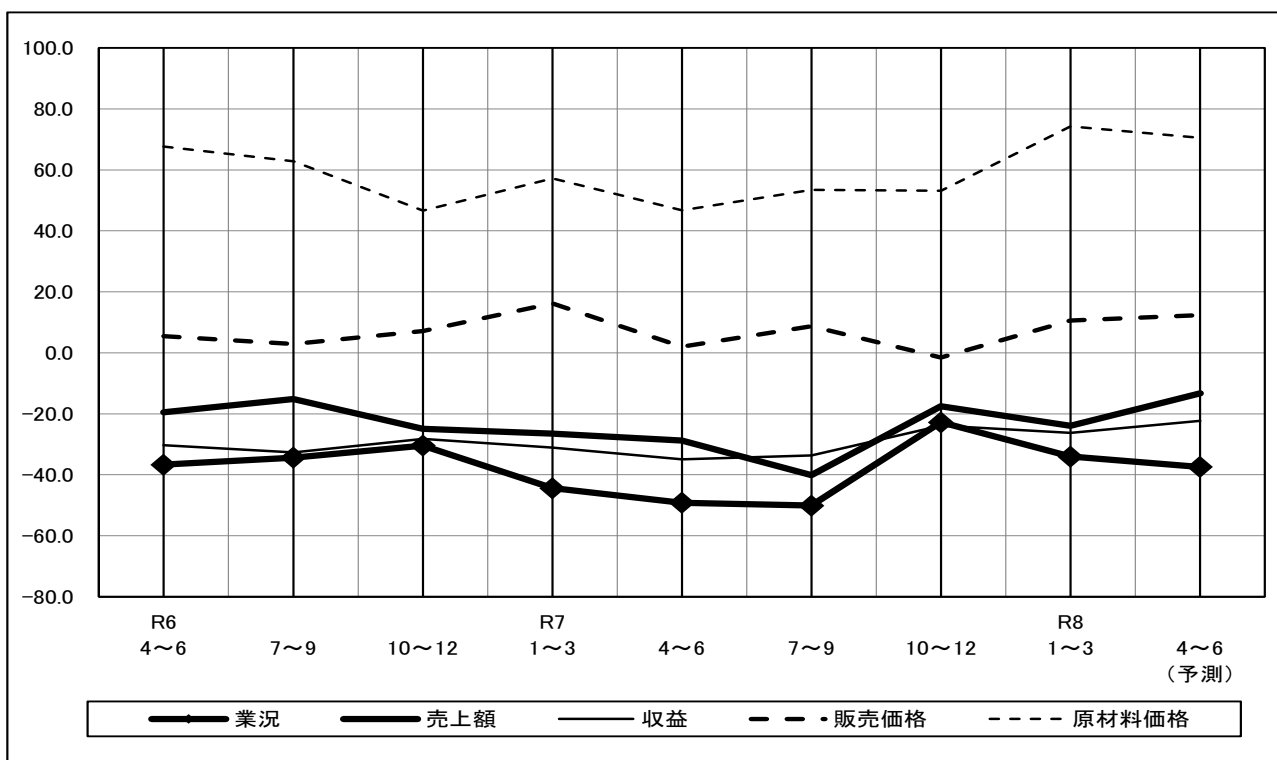
〈製造業〉品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



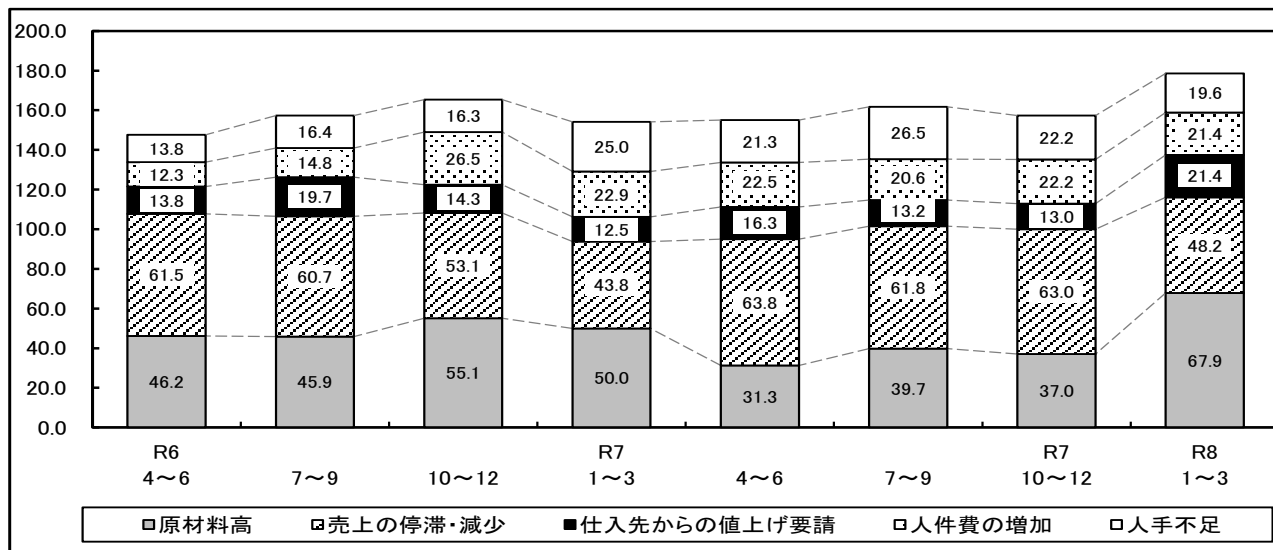
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

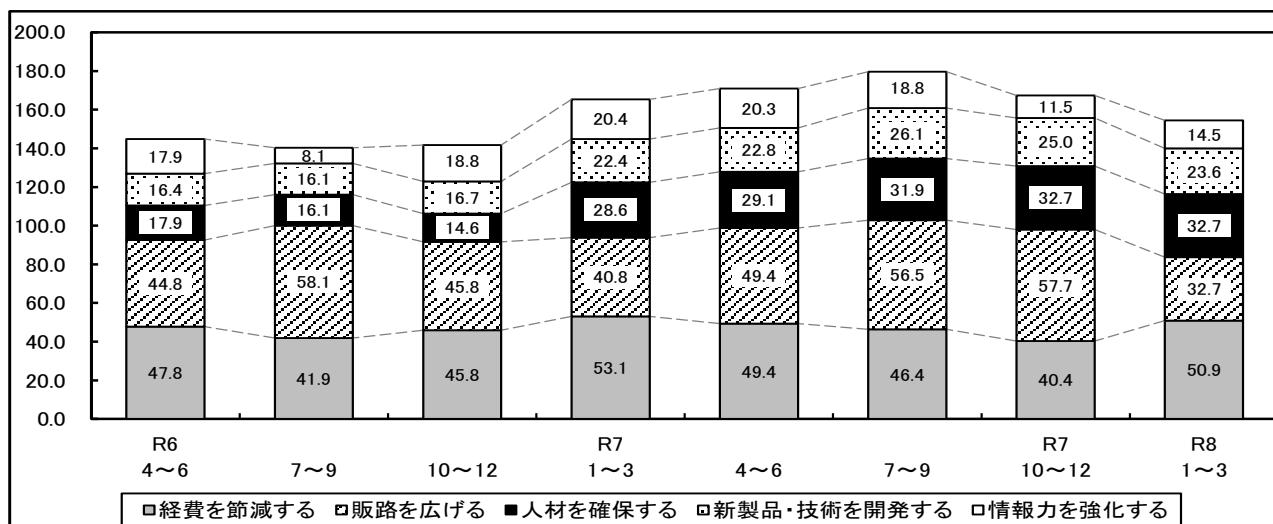


〈製造業〉 経営上の問題点（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	売上の停滞・減少	63.8 %	売上の停滞・減少	61.8 %	売上の停滞・減少	63.0 %	原材料高	67.9 %
第2位	原材料高	31.3 %	原材料高	39.7 %	原材料高	37.0 %	売上の停滞・減少	48.2 %
第3位	利幅の縮小	22.5 %	人手不足	26.5 %	人手不足	22.2 %	仕入先からの値上げ要請	21.4 %
	人件費の増加	22.5 %					人件費の増加	21.4 %
第4位	人手不足	21.3 %	人件費の増加	20.6 %	人件費以外の経費増加	18.5 %	人手不足	19.6 %
第5位	人件費以外の経費増加	18.8 %	人件費以外の経費増加	16.2 %	利幅の縮小	16.7 %	工場・機械の狭小・老朽化	17.9 %

〈製造業〉 重点経営施策（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	販路を広げる	49.4 %	販路を広げる	56.5 %	販路を広げる	57.7 %	経費を節減する	50.9 %
	経費を節減する	49.4 %						
第2位	人材を確保する	29.1 %	経費を節減する	46.4 %	経費を節減する	40.4 %	販路を広げる	32.7 %
							人材を確保する	32.7 %
第3位	新製品・技術を開発する	22.8 %	人材を確保する	31.9 %	人材を確保する	32.7 %	新製品・技術を開発する	23.6 %
第4位	情報力を強化する	20.3 %	新製品・技術を開発する	26.1 %	新製品・技術を開発する	25.0 %	情報力を強化する	14.5 %
第5位	労働条件を改善する	10.1 %	情報力を強化する	18.8 %	教育訓練を強化する	13.5 %	機械化を推進する	12.7 %
							労働条件を改善する	12.7 %

(1) 電気機械器具

業況(△15→△31)は低調感がかなり強まった。売上額(△23→△20)は減少幅がやや縮小し、収益(△21→△21)は変動なしとなった。販売価格(△5→12)は上昇に転じ、原材料価格(44→70)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△23→△36)は厳しさがかなり増した。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△25→△34)は低調感がかなり強まった。売上額(△11→△21)、収益(△22→△31)はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格(9→18)は上昇傾向がかなり強まり、原材料価格(57→95)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△14→△8)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△22→△22)は変動なしとなった。売上額(△15→△15)は変動なし、収益(△29→△25)は減少幅がやや縮小した。販売価格(3→2)は前期並、原材料価格(43→37)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△40→△33)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△35→△47)は低調感がかなり強まった。売上額(△31→△46)は減少幅がかなり拡大し、収益(△44→△32)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(△18→△3)はかなり改善し、原材料価格(74→92)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△45→△10)は厳しさが極端に和らいだ。

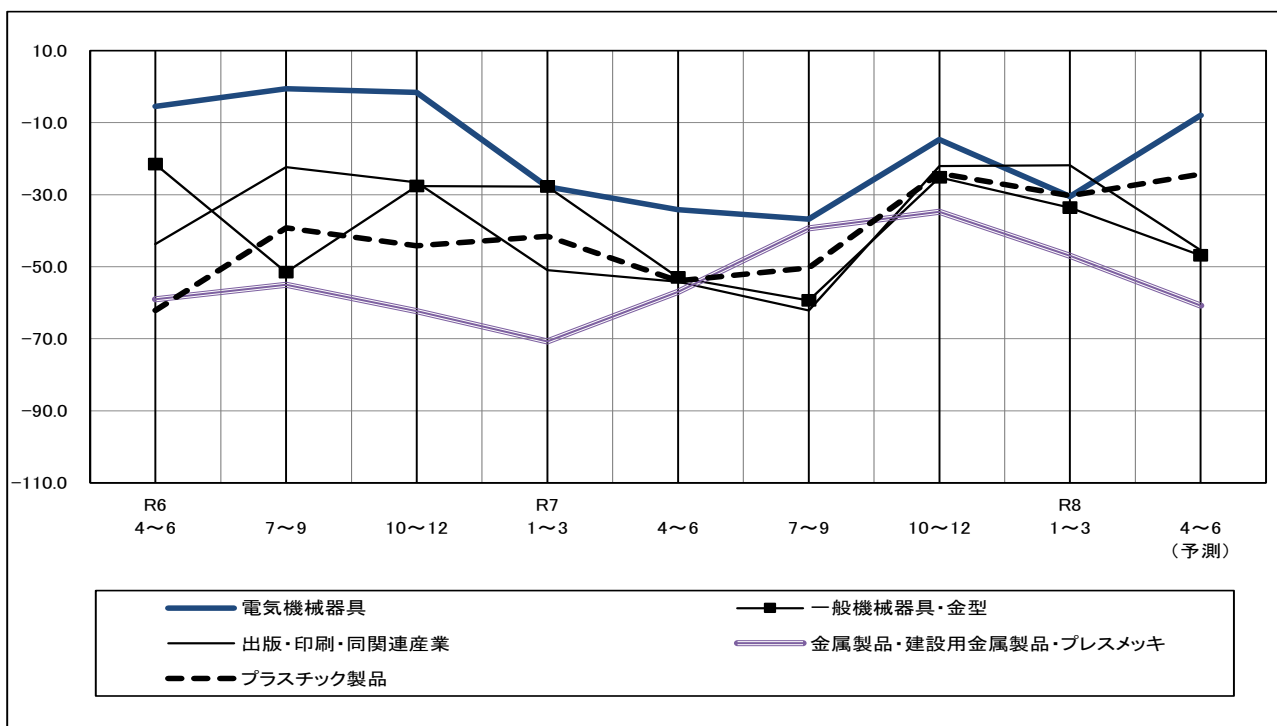
来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△24→△30)は低調感がかなり強まった。売上額(△17→△12)は減少幅がやや縮小し、収益(△10→△11)は前期並となった。販売価格(1→23)、原材料価格(53→74)はともに上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△24→△19)は厳しさがやや和らいだ。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



製造業 業種別コメント

＜電気機械器具＞

1. 業績が悪い。
2. 円安（為替）の影響が利益を圧縮している。
3. モーターの設計、製造、販売メーカーにとってコロナ禍以降、客先が部品入荷性を重視して、大手カタログ標準品を使用するケース（技術の向上より、安定供給と在庫の削減）に傾いている感じがする。
4. 仕入値段の上昇幅が大きくなってきている。
5. エネルギー高騰、物価上昇。
6. 人手不足による業務の継承問題。

＜一般機械器具・金型＞

1. トランプの政策の影響で、輸入商品の値上げと物資調達難が出ており、売上が減ってしまった。
2. 原材料の値上り（ステンレス材料、電機部品等）、経費の値上り（電気代、ガソリン代等）が価格転嫁できず、また需要の停滞で不調。
3. 足元で厳しい状況ながら、引き合いは若干増えつつあり、下期に向け売上・収益の増加を目指したい。
4. エージェントを利用しても人材の採用（特に技能職、設計職）がほとんどできない。費用だけかかり、成果がなく困っている。
5. 大型案件の引き合いが少なく、売上は対前期で25%程度下がりそうである。
6. 人口減少による市場の縮小。
7. 国の研究開発費の減少により売上は減少傾向である。

＜出版・印刷・同関連産業＞

1. 人材の平均年齢が50歳くらいなので、考えていきたい。
2. コロナ禍が終わって時間が経過したがコロナ以前の景気には戻っていないように感じている。
3. 得意先がクライアントに値上げ要請をしたところ、干された。結果、当社への発注も激減した。

＜金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ＞

1. 人材不足による処理能力の低下。早めに人材を確保し、品質の安定化を図る。
2. 材料が値上げして製品単価は追いつかない。
3. 原材料や仕入コストの増大により減益幅が大きい。製品単価への価格転嫁ができない。
4. 退職者が多く出たため、急遽採用したいができずに人手不足になっている。
5. 新規製品の問合せがまったくない状態が続いている。

＜プラスチック製品＞

1. やや停滞気味ながら利益は確保している。
2. 大企業の新規開発案件が少なくなり、マイナーチェンジばかりになっている。ただ供給側の競合他社は多いため、差別化が必要。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△21→△29)は低調感がかなり強まった。売上額(△8→△26)、収益(△14→△25)はともに減少幅がかなり拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は4ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(30→25)は上昇傾向がやや弱まり、仕入価格(56→59)は上昇傾向がやや強まった。在庫(12→4)は過剰感がかなり改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△9→△15)は厳しさがかなり増した。借入難易度(△8→△15)はかなり悪化した。今期借入れをした企業は26%で前期の18%から8ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

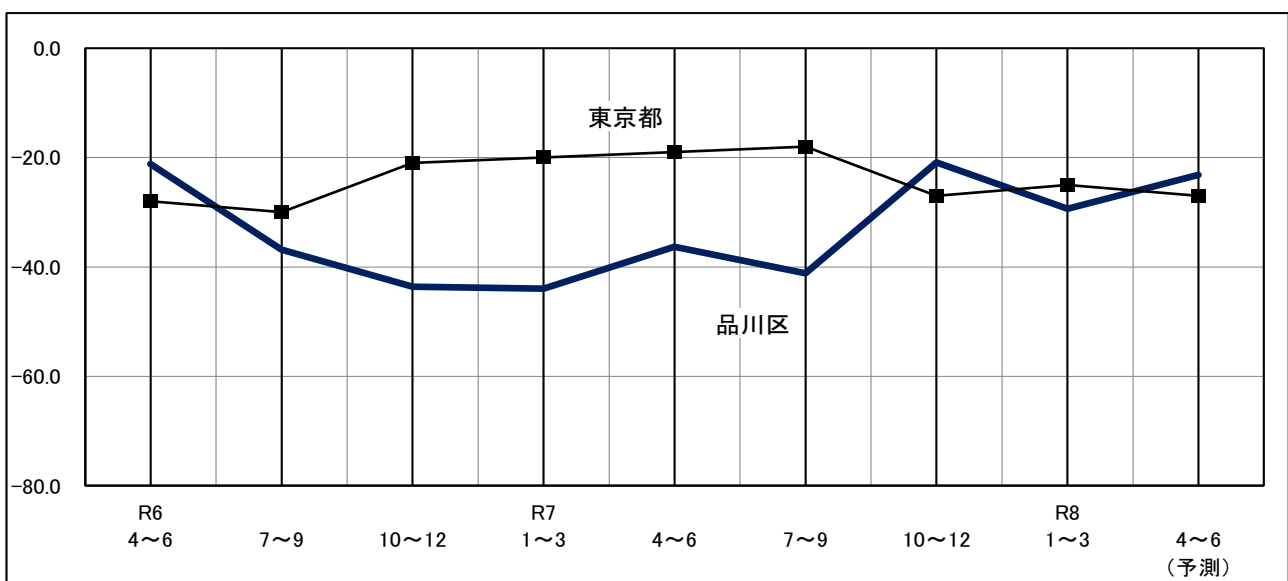
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が41%、2位は「為替レートの変動」が30%、3位は「仕入先からの値上げ要請」が27%となった。前期4位であった「仕入先からの値上げ要請」が今期3位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が68%、2位は「経費を節減する」が32%、3位は「情報力を強化する」が29%となった。前期3位であった「人材を確保する」が今期4位と順位を下げた。

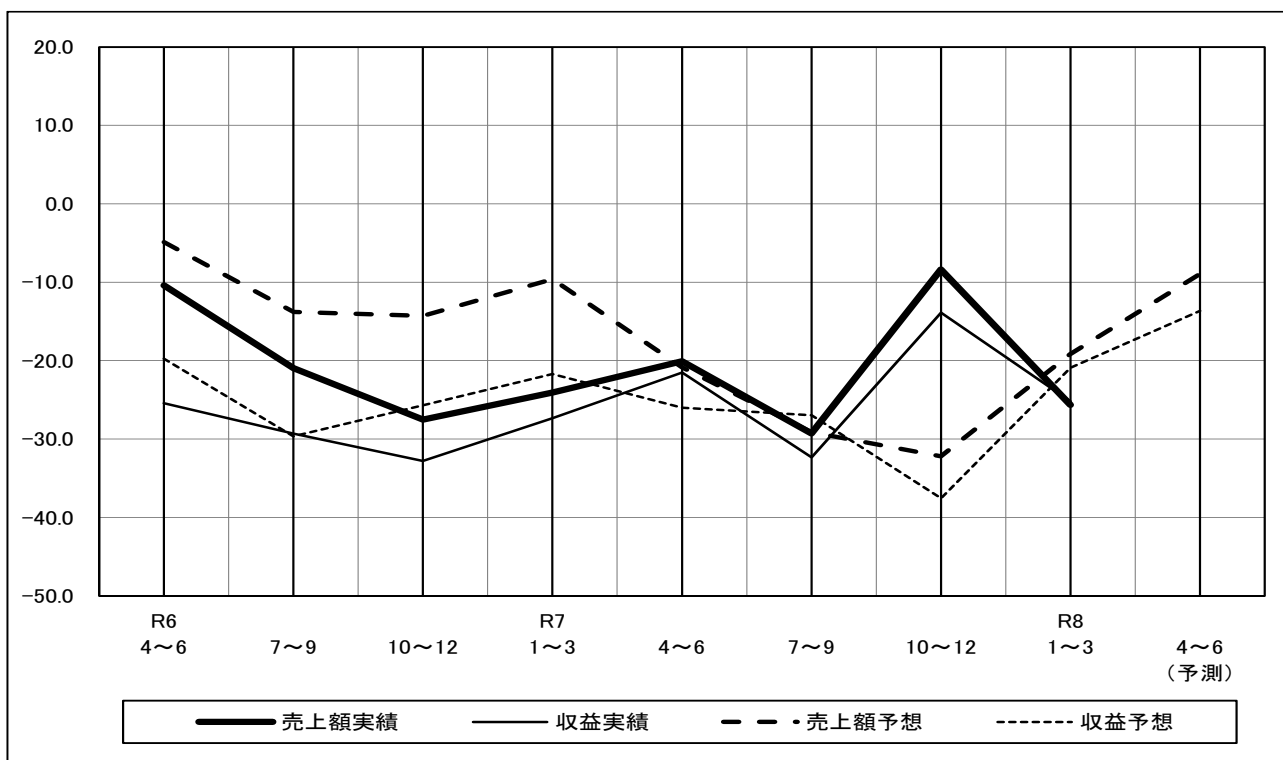
来期の見通し

業況(△29→△23)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり縮小すると予想されている。

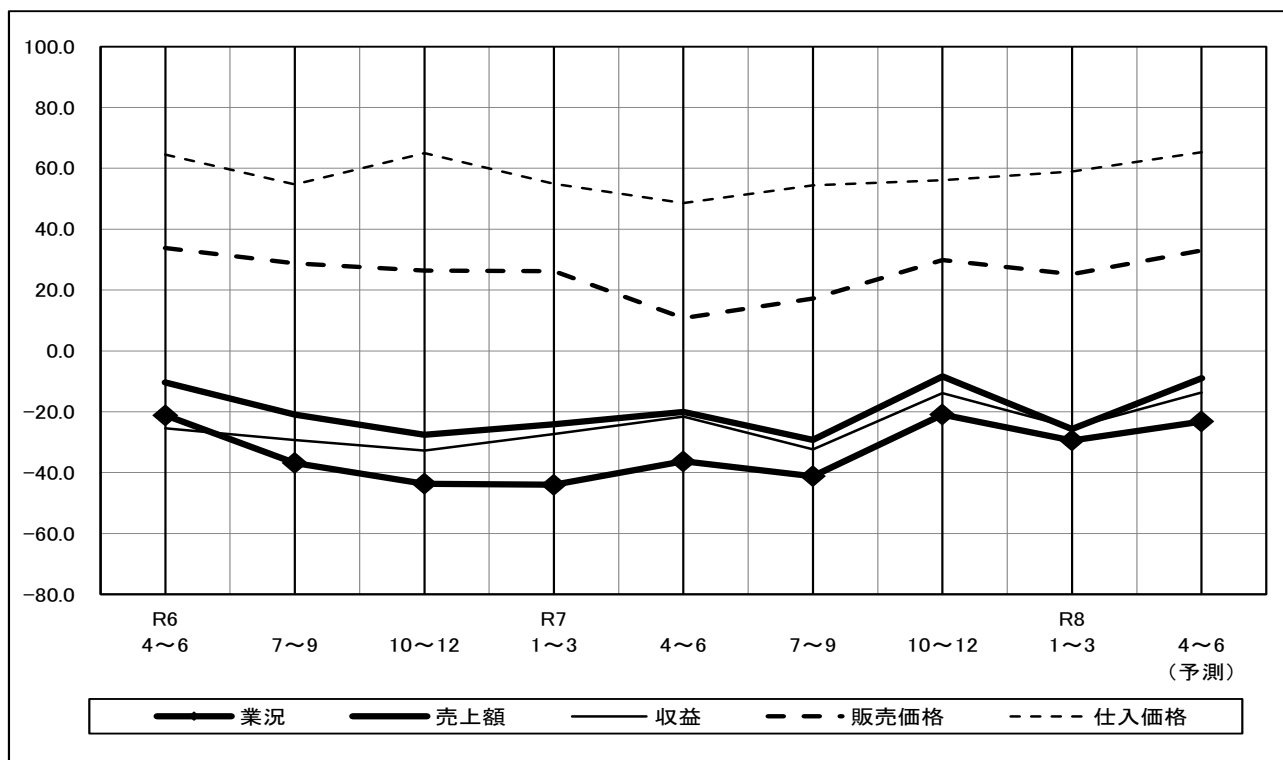
〈卸売業〉品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



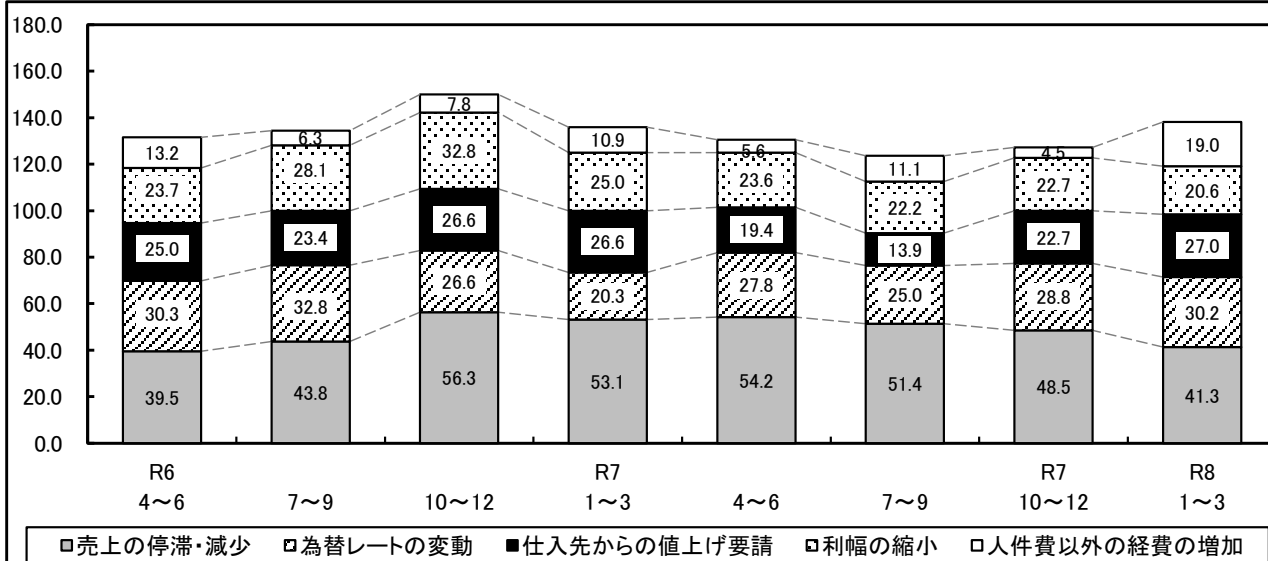
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

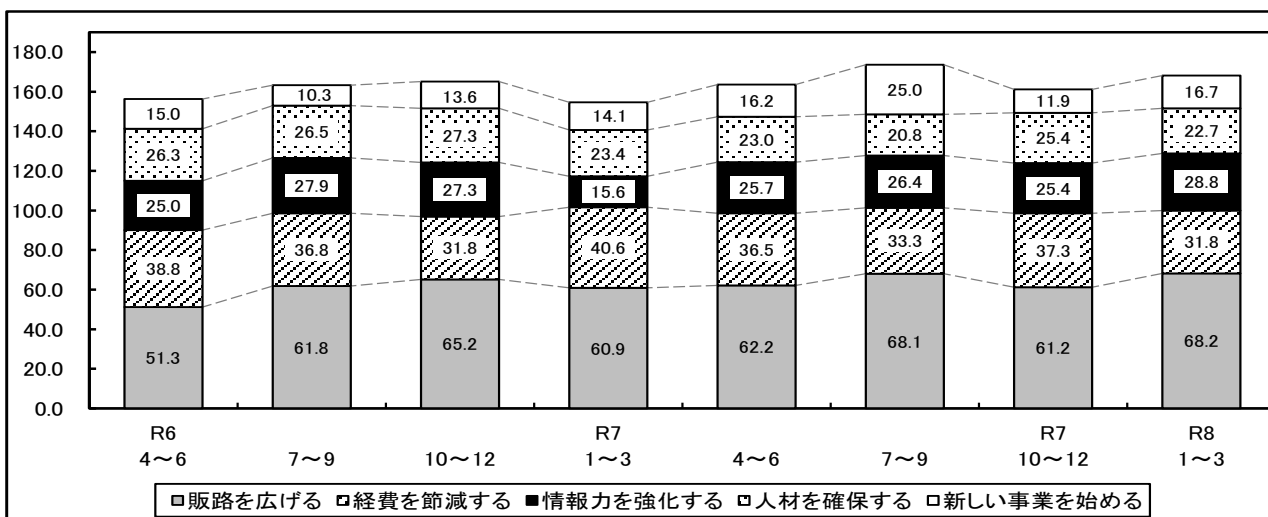


〈卸売業〉 経営上の問題点（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	売上の停滞・減少	54.2 %	売上の停滞・減少	51.4 %	売上の停滞・減少	48.5 %	売上の停滞・減少	41.3 %
第2位	為替レートの変動	27.8 %	為替レートの変動	25.0 %	為替レートの変動	28.8 %	為替レートの変動	30.2 %
第3位	同業者間の競争の激化	25.0 %	同業者間の競争の激化	22.2 %	人手不足	27.3 %	仕入先からの値上げ要請	27.0 %
第4位	利幅の縮小	23.6 %	人手不足	20.8 %	利幅の縮小	22.7 %	利幅の縮小	20.6 %
第5位	仕入先からの値上げ要請	19.4 %	仕入先からの値上げ要請	13.9 %	仕入先からの値上げ要請	22.7 %	人件費以外の経費の増加	19.0 %
			人件費の増加	13.9 %	同業者間の競争の激化	16.7 %		

〈卸売業〉 重点経営施策（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	販路を広げる	68.2 %	販路を広げる	68.1 %	販路を広げる	61.2 %	販路を広げる	68.2 %
第2位	経費を節減する	31.8 %	経費を節減する	33.3 %	経費を節減する	37.3 %	経費を節減する	31.8 %
第3位	情報力を強化する	28.8 %	情報力を強化する	26.4 %	情報力を強化する	25.4 %	情報力を強化する	28.8 %
第4位	人材を確保する	23.0 %	新しい事業を始める	25.0 %	品揃えを充実する	20.9 %	人材を確保する	22.7 %
第5位	品揃えを充実する	21.6 %	人材を確保する	20.8 %	新しい事業を始める	11.9 %	新しい事業を始める	16.7 %

卸売業 業種別コメント

1. 採用ができず人手不足になっている。
2. 地金価格が昨秋から高騰し、得意先が業務縮小している。現在の地金価格で商談が進めば回復の兆しあり。
3. 仕入コストの上昇。
4. 円安の傾向が進んでおり、特に仕入において影響を及ぼしている。
5. 戦争など世界情勢の不安定な状況により、数年先の見通しが予想しづらい。
6. 業界（防災）全体の需要の落ち込みを感じている。東日本震災から15年目の3月期は買い替え期前にあり、2026年度（4月～）はある程度の需要回復期と見ている。
7. 主力の輸入商品（特に米国）が円安ドル高の影響で大幅に原価が上がり、現在の商況を考えても、昨年より引き続きなかなか価格アップが難しく自社利益を減少させている。
8. 円安により仕入価格が上がっている。販売価格の転嫁が追いつかない。
9. 仕入値高騰により利益減少。
10. 輸入品の価格高騰と品薄（食肉関係）。仕入値が青天井である。
11. 販売先が増えているが在庫不足。
12. 需要が停滞する中値上げが相次ぎ、そのことがさらに需要の増加に歯止めをかけている。一進一退の状態。
13. 主に輸入品を取り扱っているため、円安の影響が大きい。仕入価格上昇の価格転嫁がうまくできていない。
14. 世代交代。
15. 需要が減少して減収・減益基調が続いている。
16. 人手不足で人材を確保したい。
17. 主要取引先が比較的安定しているが、景況感がどのように影響するか見極めできない状況。
18. 海外からの打診はあるが、日本で対応できる仕入先がない。
19. 値上げにより物量の減少は続いているが、売上、利益は増加している。
20. 販売価格のUPにより売上額はキープできても、売上数量の減少が激しい。市場が縮小しているのか、原因を探りたい。
21. 海外からの当社製品に関する受注増加により、売上は増加傾向にある。
22. 主要取引先の増産による受注増により、26年3月期（25年度）は販売高、粗利高、経常利益すべて過去最高の見込と好調。
23. 売上収益ともに昨年と変わらず（仕入価格の上昇分は売価に転嫁できている）。
24. 景況感は順調に推移している。ただ他業種他社との競争が激しく利益確保に苦労している。
25. 大手取引先とは年度初めに納入単価契約（年間）をしており、期の途中で仕入価格改定があると次回契約単価改定まで当社負担となる。
26. 仕入先値上げ。
27. 需要は堅調、売上は微増・利益増。
28. 安い商品の仕入れができない。
29. 海外からの輸入が多いので為替レートの変動が厳しい。
30. 前期とほぼ変わらず決算月において増収・増益を見込んでいる。
31. 円安により輸入原価が上がるが値上げが追いつかない。小売店の売場の減少。銀行の対応は利益確保しかなく苦しい。
32. 企業の交際費、広告宣伝費の見直しで売上は減少傾向。
33. 主要取引先からの受注減。
34. 売掛金の回収が滞っている。
35. 海外製品の入荷の遅れ等で商品不足の恐れあり。
36. イラン問題での製品安定供給に不安あり。物流問題の過剰な反応による懸念有り。
37. 取引先の倒産に伴う売上減少。景気低迷に伴う新規獲得困難。
38. 新規事業が足踏みしているが、今期成果を出していきたい。既存事業はリストラを行いながら、内部改革を実施中。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△21→△2)はかなり改善した。売上額(△8→4)は増加に転じ、収益(△21→△3)は減少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は30ポイント上回っている。

価格・在庫動向

販売価格(32→44)、仕入価格(71→78)はともに上昇傾向がかなり強まった。在庫(11→10)は前期並となった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△16→△18)は厳しさがやや増した。借入難易度(△19→△28)はかなり悪化した。今期借入れをした企業は14%で前期の34%から20ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

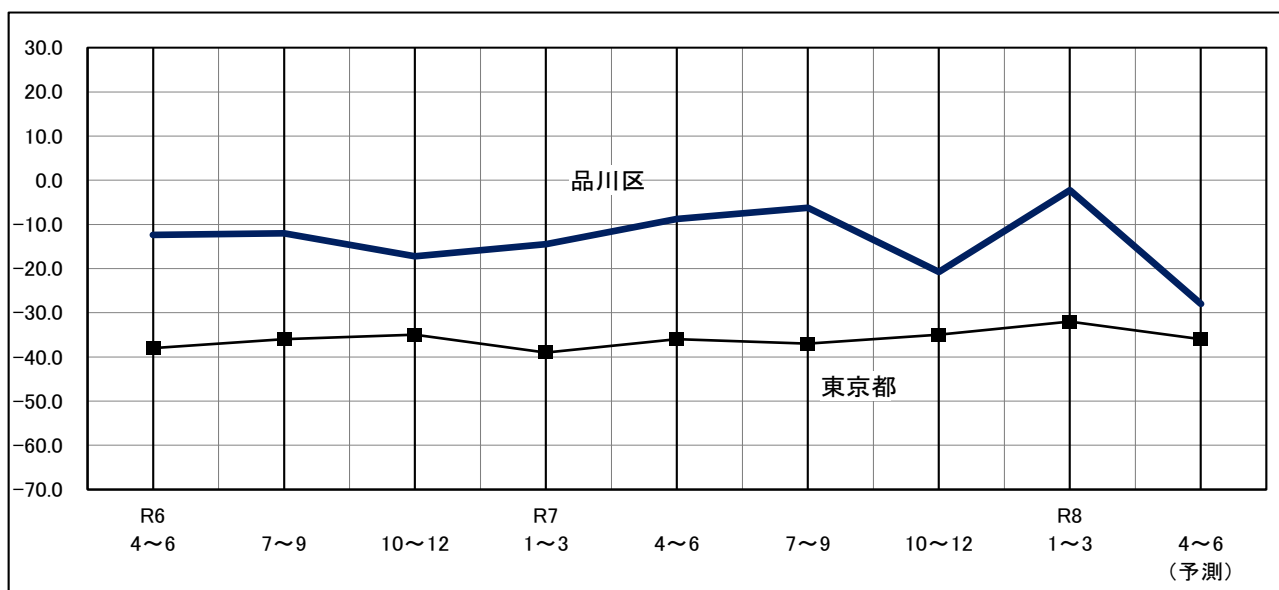
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が53%、2位は「仕入先からの値上げ要請」が50%、3位は「人手不足」が40%となった。前期2位だった「売上の停滞・減少」が今期1位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が56%、2位は「人材を確保する」が34%、3位は「品揃えを改善する」が28%となった。前期4位であった「品揃えを改善する」が今期3位と順位を上げた。

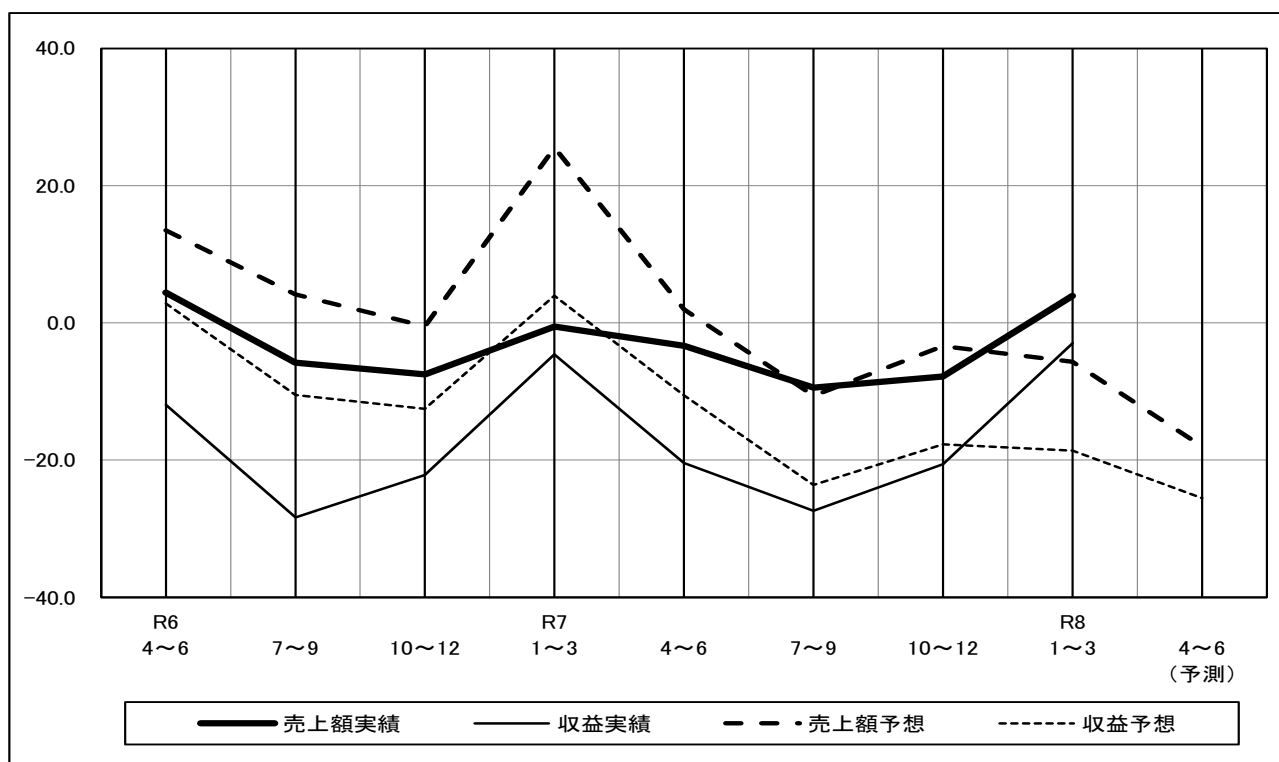
来期の見通し

業況(△2→△28)は低調感が極端に強まる見込み。売上額は増加から減少に転じ、収益は減少幅が極端に拡大すると予想されている。

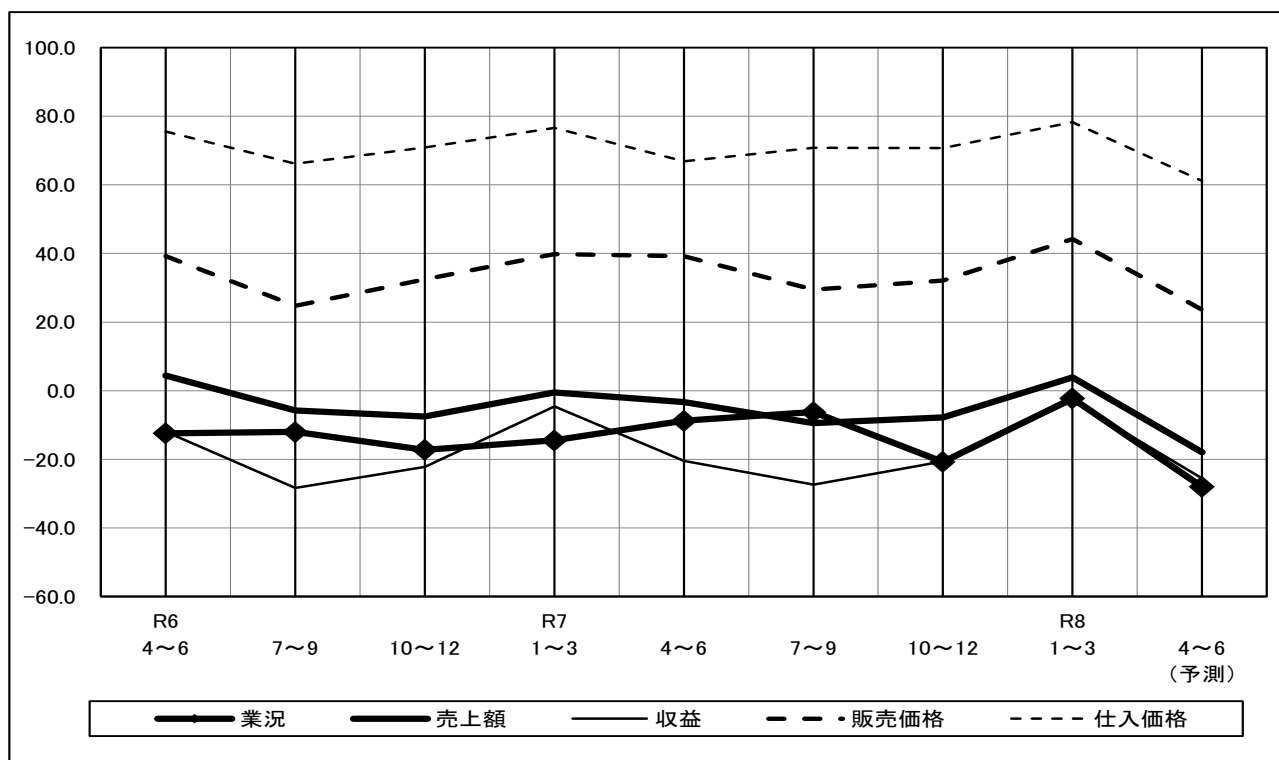
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



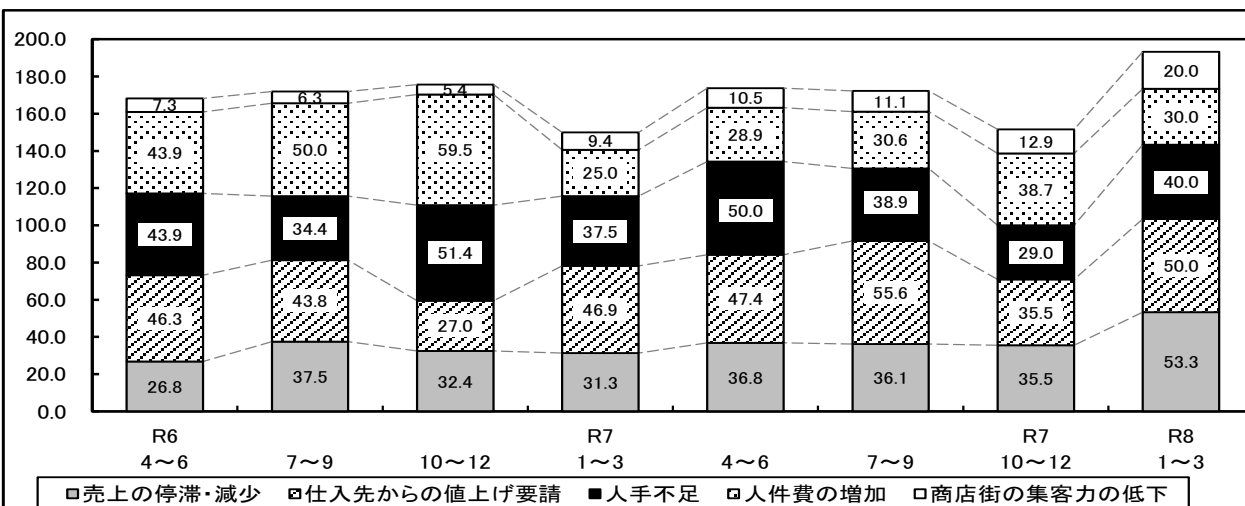
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

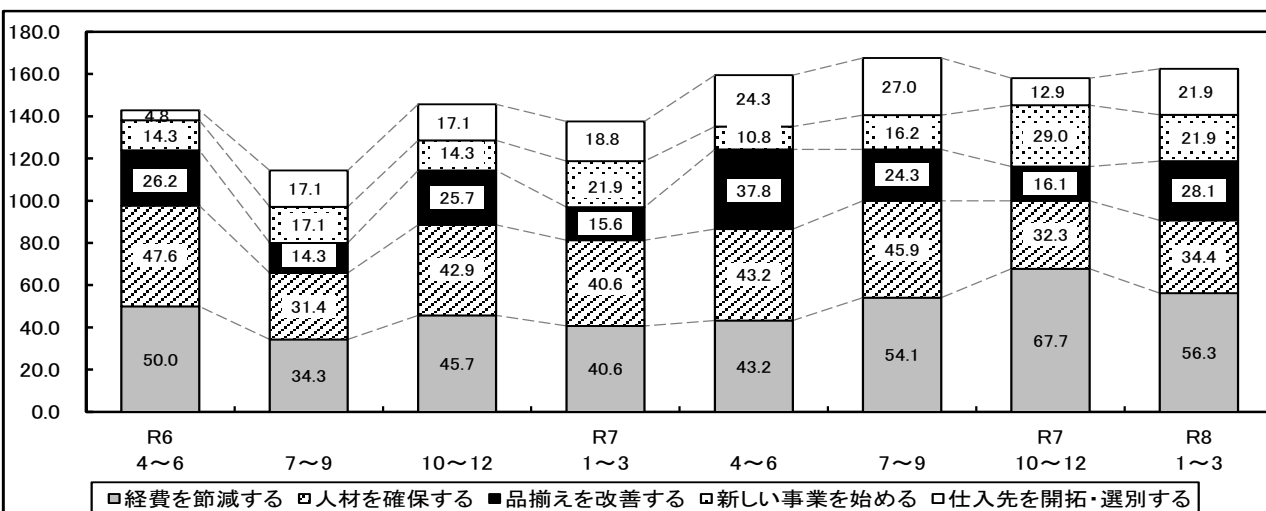


〈小売業〉 経営上の問題点（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	人手不足	50.0 %	仕入先からの値上げ要請	55.6 %	人件費の増加	38.7 %	売上の停滞・減少	53.3 %
第2位	仕入先からの値上げ要請	47.4 %	人手不足	38.9 %	売上の停滞・減少 仕入先からの値上げ要請	35.5 % 35.5 %	仕入先からの値上げ要請	50.0 %
第3位	売上の停滞・減少	36.8 %	売上の停滞・減少 天候の不順	36.1 % 36.1 %	人手不足	29.0 %	人手不足	40.0 %
第4位	天候の不順	34.2 %	利幅の縮小 人件費の増加	30.6 % 30.6 %	利幅の縮小	22.6 %	人件費の増加	30.0 %
第5位	人件費の増加	28.9 %	商店街の集客力の低下	11.1 %	人件費以外の経費の増加	16.1 %	商店街の集客力の低下	20.0 %

〈小売業〉 重点経営施策（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	経費を節減する 人材を確保する	43.2 % 43.2 %	経費を節減する	54.1 %	経費を節減する	67.7 %	経費を節減する	56.3 %
第2位	品揃えを改善する	37.8 %	人材を確保する	45.9 %	人材を確保する	32.3 %	人材を確保する	34.4 %
第3位	店舗・設備を改装する	27.0 %	仕入先を開拓・選別する	27.0 %	新しい事業を始める	29.0 %	品揃えを改善する	28.1 %
第4位	仕入先を開拓・選別する	24.3 %	品揃えを改善する	24.3 %	品揃えを改善する 宣伝・広報を強化する 売れ筋商品を取扱う	16.1 % 16.1 % 16.1 %	新しい事業を始める 仕入先を開拓・選別する 売れ筋商品を取扱う	21.9 % 21.9 % 21.9 %
第5位	売れ筋商品を取扱う	18.9 %	新しい事業を始める 店舗・設備を改装する	16.2 % 16.2 %	店舗・設備を改装する 仕入先を開拓・選別する 商店街事業を活性化させる	12.9 % 12.9 % 12.9 %	商店街事業を活性化させる	15.6 %

(1) 飲食料品

業況(△13→△8)はやや改善した。売上額(△22→8)、収益(△33→19)はともに増加に転じた。販売価格(30→38)は上昇傾向がかなり強まり、仕入価格(80→83)は上昇傾向がやや強まった。資金繰り(△1→△19)は厳しさがかなり増した。

来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(2) 飲食店

業況(△7→△6)は好転した。売上額(14→10)は増加幅がやや縮小し、収益(△2→△2)は前期並となった。販売価格(38→55)、仕入価格(75→83)はともに上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△21→△17)は厳しさがやや和らいだ。

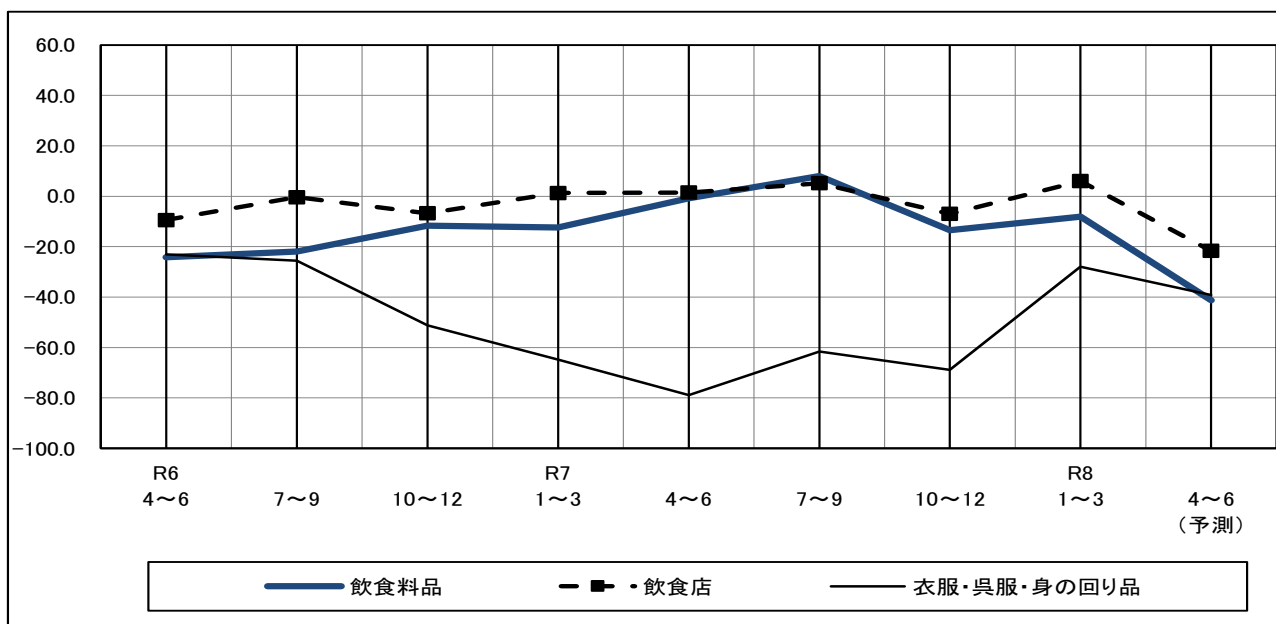
来期の業況は悪化に転じると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△69→△28)は極端に改善した。売上額(△50→△19)、収益(△57→△27)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(21→16)は上昇傾向がやや弱まり、仕入価格(48→56)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△18→△19)は前期並となった。

来期の業況は低調感がかなり強まると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き(実績)と来期の予測



小売業 業種別コメント

＜飲食料品＞

1. 利益増加につながらない。原材料費が上昇し仕入れ価格が値上がりしている。天候不順や原材料費高騰などで売れずに商品が少なくなっている。
2. 大手スーパーの進出により売上が減少している。
3. 仕入価格が高い。安い物しか売れない。
4. 仕入価格が値上がりするのは想定通りだが、乱高下が大きすぎる。
5. 売上等減少している。

＜飲食店＞

1. 売上は販売価格を少し上げれば上がるが、その分顧客は減る。そのため経費の節減に目を向けたが仕入価格の上昇により、実際の収益（利益）は変わらずもしくは減少している。
2. 来客人数の格差がだいぶ激しい。
3. 仕入価格、光熱費の値上げで利益が圧迫されている。
4. 原材料の値上げ、原油、ガソリンや円安を受け価格高騰が心配。
5. インフレの上昇が急すぎて経営が厳しい状況である。
6. 12月期の売上が例年と比較して増加したが、今期は例年並みの売上となった。
7. 原材料等の価格の値上がりが止まらない。
8. 新店舗の業績が予想より低い。認知度がまだ低いと思われる。

＜衣服・呉服・身の回り品＞

1. 取引先の減少、売筋の店との取引が終了した。
2. 売上減少に加え、地価高騰による家賃の値上がりが痛手になっている。
3. 商店街の活性化、共同売り出し等。商品の入れ替え。包装の簡易化を図る。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 3$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 13 \rightarrow 7$) は増加に転じ、収益 ($\Delta 17 \rightarrow \Delta 7$) は減少幅がかなり縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は 18 ポイント上回っている。

価格・在庫動向

料金価格 (6→19) は上昇傾向がかなり強まり、材料価格 (49→52) は上昇傾向がやや強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 5 \rightarrow \Delta 6$) は前期並となった。借入難易度 (4→6) は容易さがやや増した。今期借入れをした企業は 15% で前期の 19% から 4 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

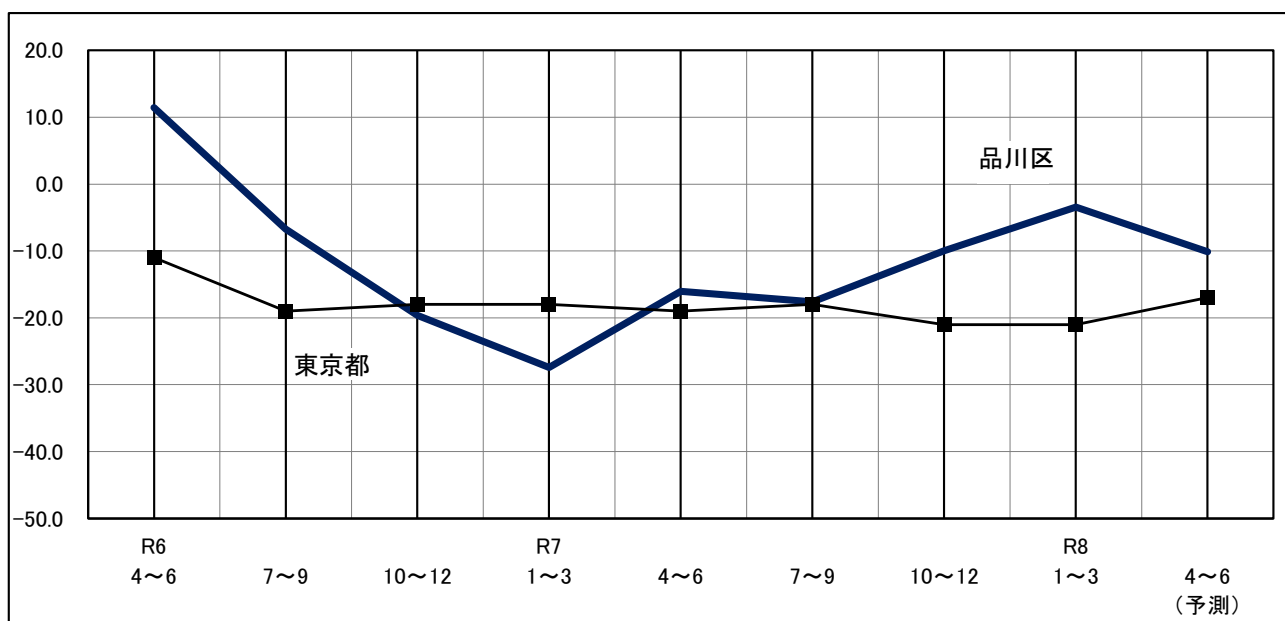
経営上の問題点は、1 位は「人手不足」が 62%、2 位は「人件費の増加」が 37%、3 位は「売上の停滞・減少」が 35% と上位 3 位の項目に変化はなかった。

重点経営施策は、1 位は「人材を確保する」が 62%、2 位は「販路を広げる」が 38%、3 位は「経費を節減する」が 30% となった。「人材を確保する」は令和 4 年 10～12 月期から 14 期連続で 1 位となっている。

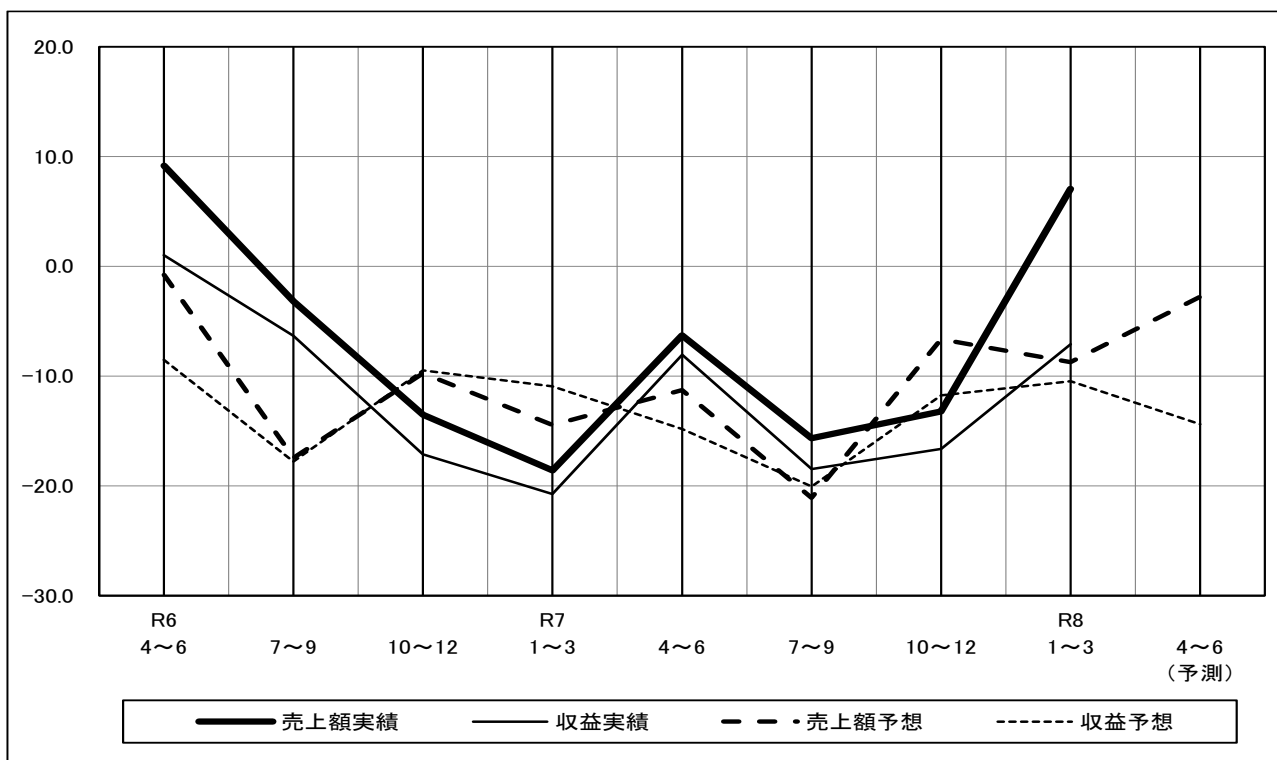
来期の見通し

業況 ($\Delta 3 \rightarrow \Delta 10$) は低調感がかなり強まる見込み。売上額は増加から減少に転じ、収益は減少幅がかなり拡大すると予想されている。

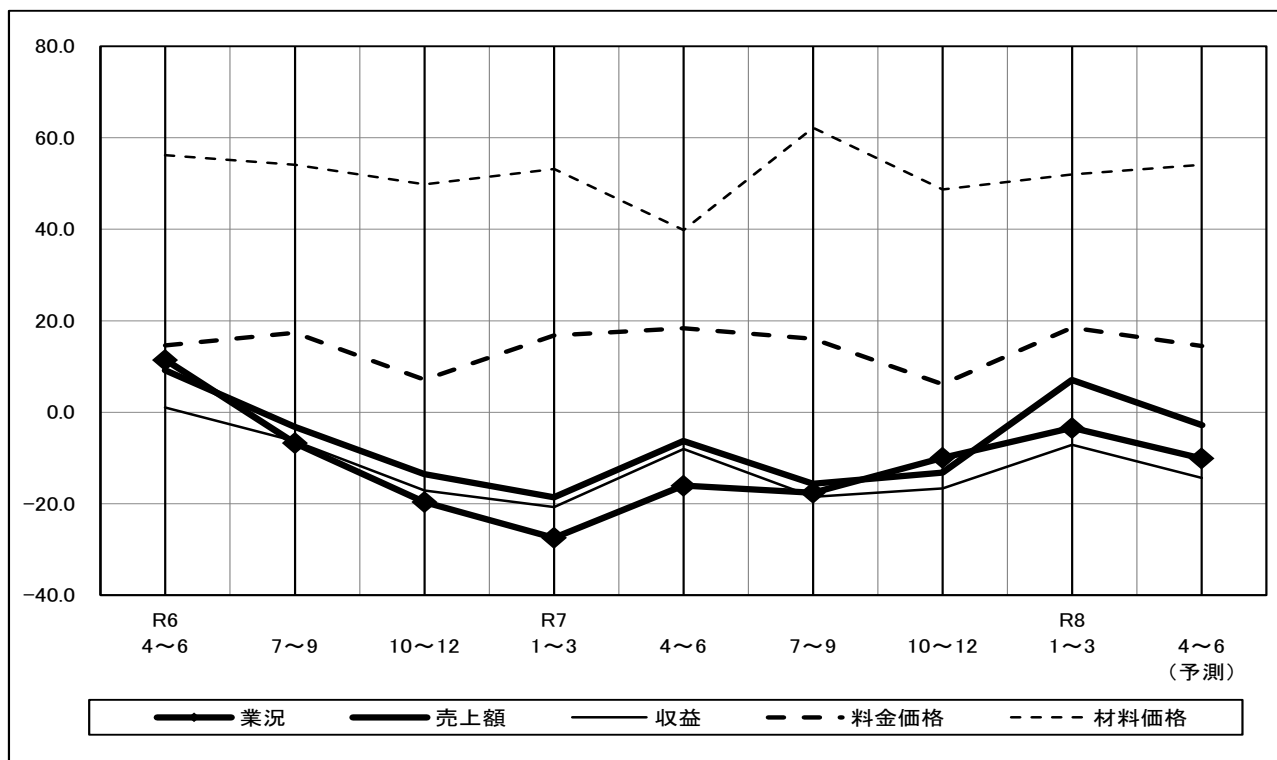
〈サービス業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



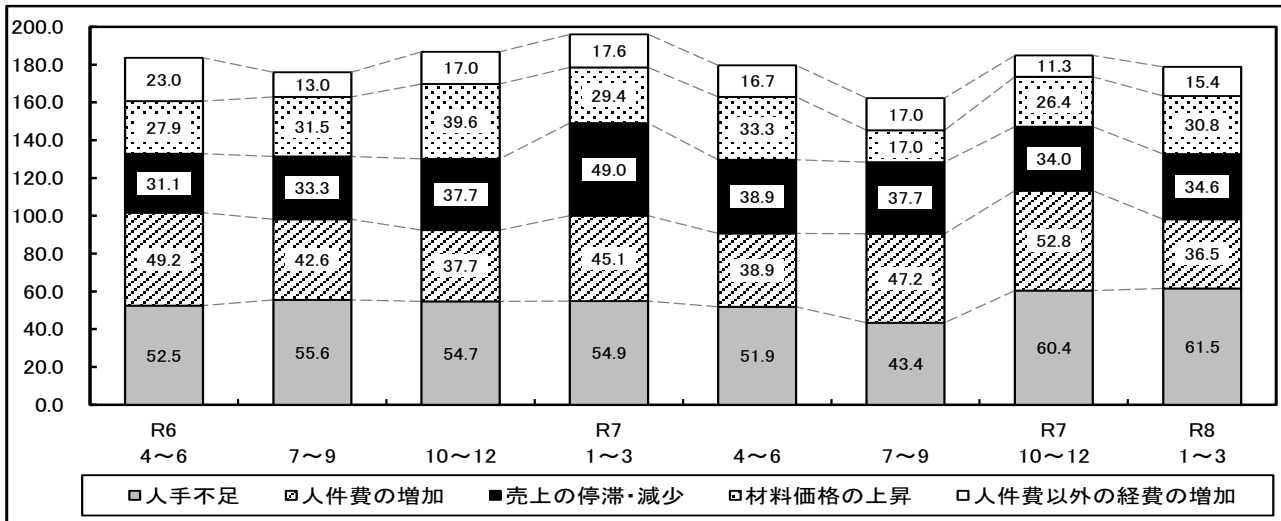
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

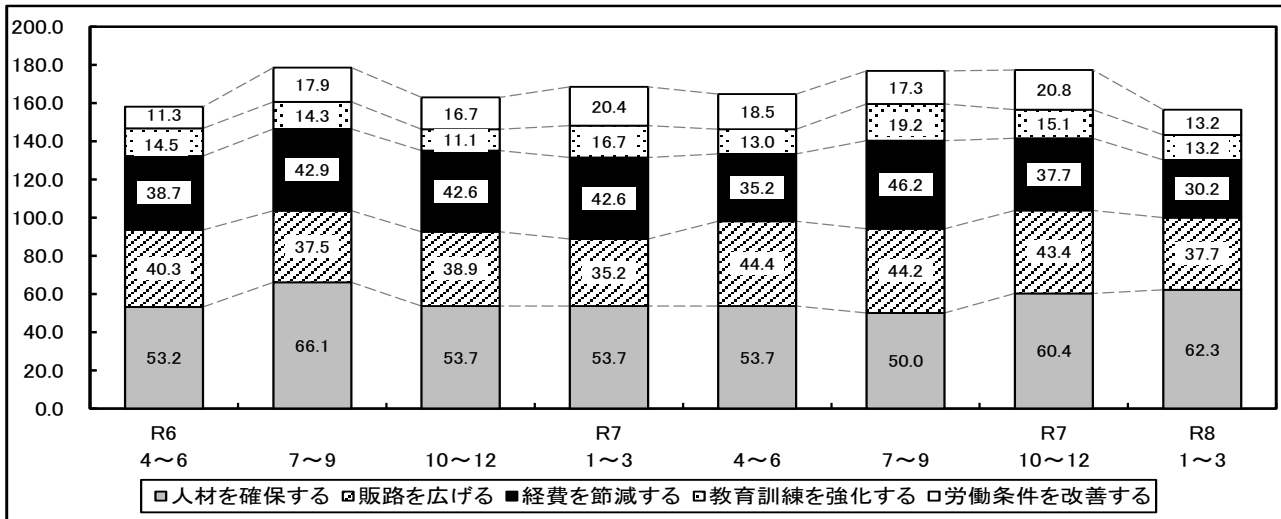


〈サービス業〉経営上の問題点（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	人手不足	51.9 %	人件費の増加	47.2 %	人手不足	60.4 %	人手不足	61.5 %
第2位	売上の停滞・減少	38.9 %	人手不足	43.4 %	人件費の増加	52.8 %	人件費の増加	36.5 %
	人件費の増加	38.9 %						
第3位	材料価格の上昇	33.3 %	売上の停滞・減少	37.7 %	売上の停滞・減少	34.0 %	売上の停滞・減少	34.6 %
第4位	利幅の縮小	18.5 %	利幅の縮小	20.8 %	材料価格の上昇	26.4 %	材料価格の上昇	30.8 %
第5位	人件費以外の経費の増加	16.7 %	同業者間の競争の激化	18.9 %	同業者間の競争の激化	13.2 %	人件費以外の経費の増加	15.4 %
					利幅の縮小	13.2 %		

〈サービス業〉重点経営施策（％）

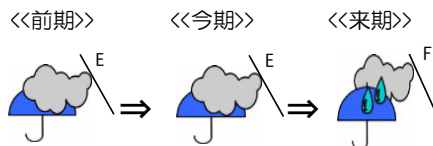


	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	人材を確保する	53.7 %	人材を確保する	50.0 %	人材を確保する	60.4 %	人材を確保する	62.3 %
第2位	販路を広げる	44.4 %	経費を節減する	46.2 %	販路を広げる	43.4 %	販路を広げる	37.7 %
第3位	経費を節減する	35.2 %	販路を広げる	44.2 %	経費を節減する	37.7 %	経費を節減する	30.2 %
第4位	労働条件を改善する	18.5 %	教育訓練を強化する	19.2 %	労働条件を改善する	20.8 %	教育訓練を強化する	13.2 %
							労働条件を改善する	13.2 %
第5位	宣伝・広告を強化する	14.8 %	技術力を強化する	17.3 %	教育訓練を強化する	15.1 %	技術力を強化する	11.3 %
	技術力を強化する	14.8 %	労働条件を改善する	17.3 %				

サービス業 業種別コメント

1. 労働環境の変化によるクリーニング需要の減少。物価高騰による節約、カジュアル衣類の台頭などにより売上が減少している。
2. 経費節減に努めているが、材料価格や人件費が値上がりしている。値上げしても追いつかない。
3. 人手不足をなくすため求人活動に時間とお金を使っている。
4. 当社は葬祭業のため、中国資本の参入による火葬料の値上げ等で大変な状況。
5. 値上げをしたが、逆に売上が下がり、収支はトントン。
6. 燃料（軽油、ガソリン）費が急騰し、経費が上がってしまっている。
7. 来店者がやや増加し、売上・収益がやや増加している。
8. 機器の更新案件が増加し業績に寄与。
9. 人材不足。
10. 大手取引先の事業方針の変更、売上の主な対象のプロジェクトが減少した。
11. 賃金および原材料価格の上昇を踏まえ、適正な売価への反映に継続的に取り組んでいる。
12. 売上の増加がないのに人件費、材料費のみが増加し、カバーしきれない。
13. 材料費、工事費の値上がりが止まらない。
14. 人手不足により仕事を増やせない。
15. 人材不足、高齢化、材料価格上昇。
16. 人件費増、人材不足、高齢化、材料費上昇。
17. 販路の営業を関連会社（知人）に依頼したが、現状まだ大きな進展はなし。ただ4月以降に少し展開があるかもしれないので期待大。一か所スタートすると拡充する可能性はあるが、キャッシュが持つかは微妙。
18. 新規事業の取組が徐々に成果を出し始めている。
19. 景気が上向かないため、回復するには時間がかかる見込み。
20. 増床によりパフォーマンスは上がった。今期は増収・増益に向かわせる。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△17→△16)、売上額(△17→△17)はともに前期並となった。施工高(△13→△17)、収益(△18→△20)はともに減少幅がやや拡大した。

価格・在庫動向

請負価格(△2→△5)は下降傾向がやや強まり、材料価格(39→63)は上昇傾向が極端に強まった。在庫(1→△1)は過剰から品薄に転じた。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△12→△16)は厳しさがやや増した。借入難易度(△6→△4)はやや改善した。今期借入れをした企業は27%で前期の20%から7ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

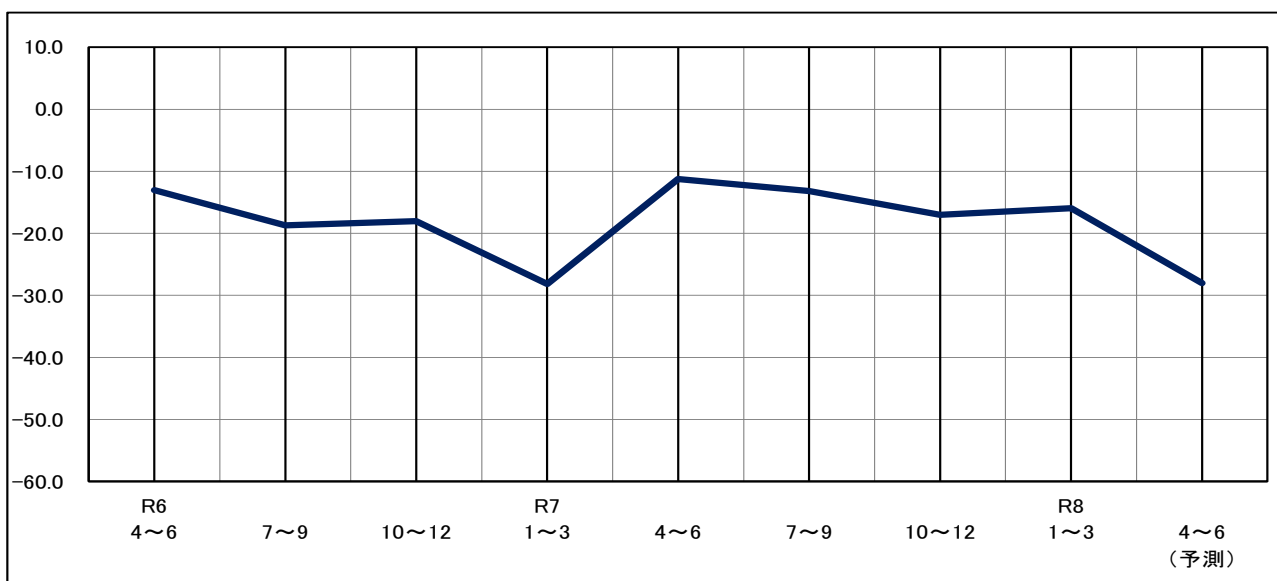
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」が56%、2位は「人手不足」が38%、3位は「売上の停滞・減少」が37%となった。前期2位であった「材料価格の上昇」が今期1位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が54%、2位は「経費を節減する」が38%、3位は「販路を広げる」が31%となった。「人材を確保する」は令和5年1～3月期から13期連続で1位となっている。

来期の見通し

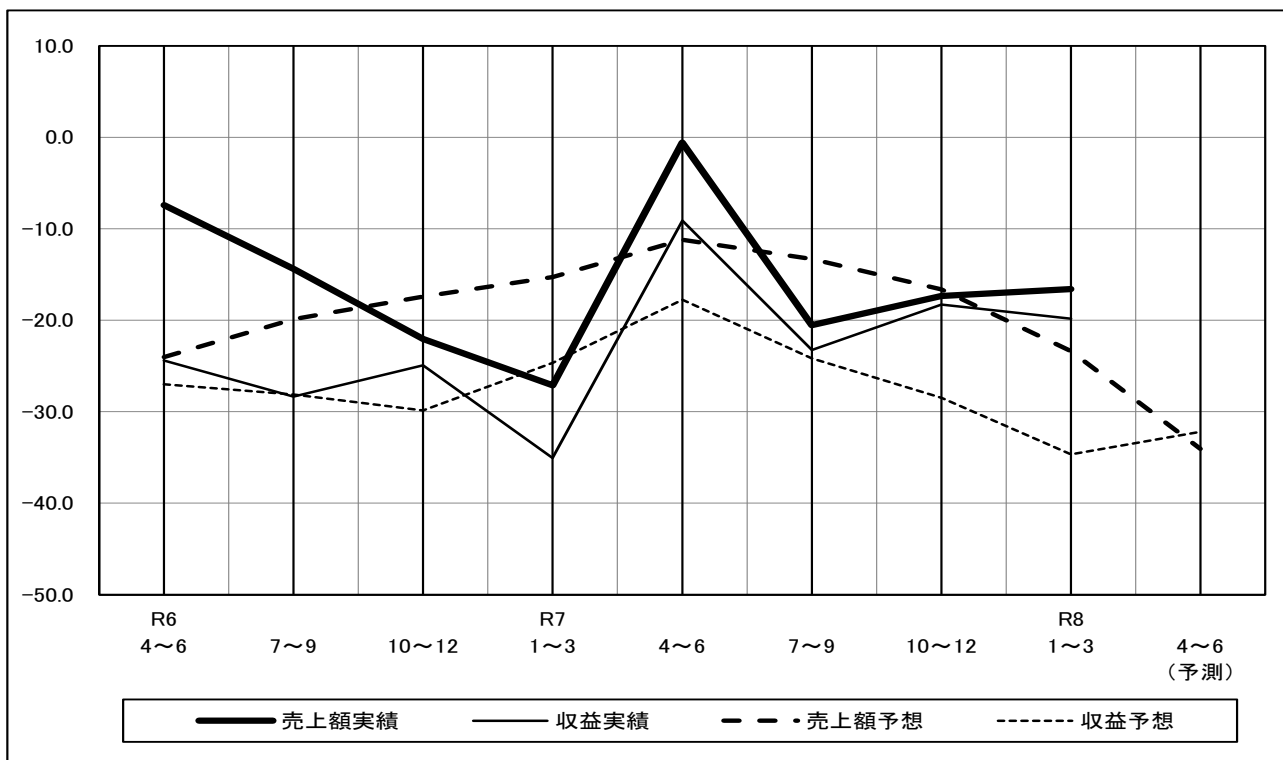
業況(△16→△28)は低調感がかなり強まる見込み。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大すると予想されている。

〈建設業〉品川区の業況の動き(実績)と来期の予測

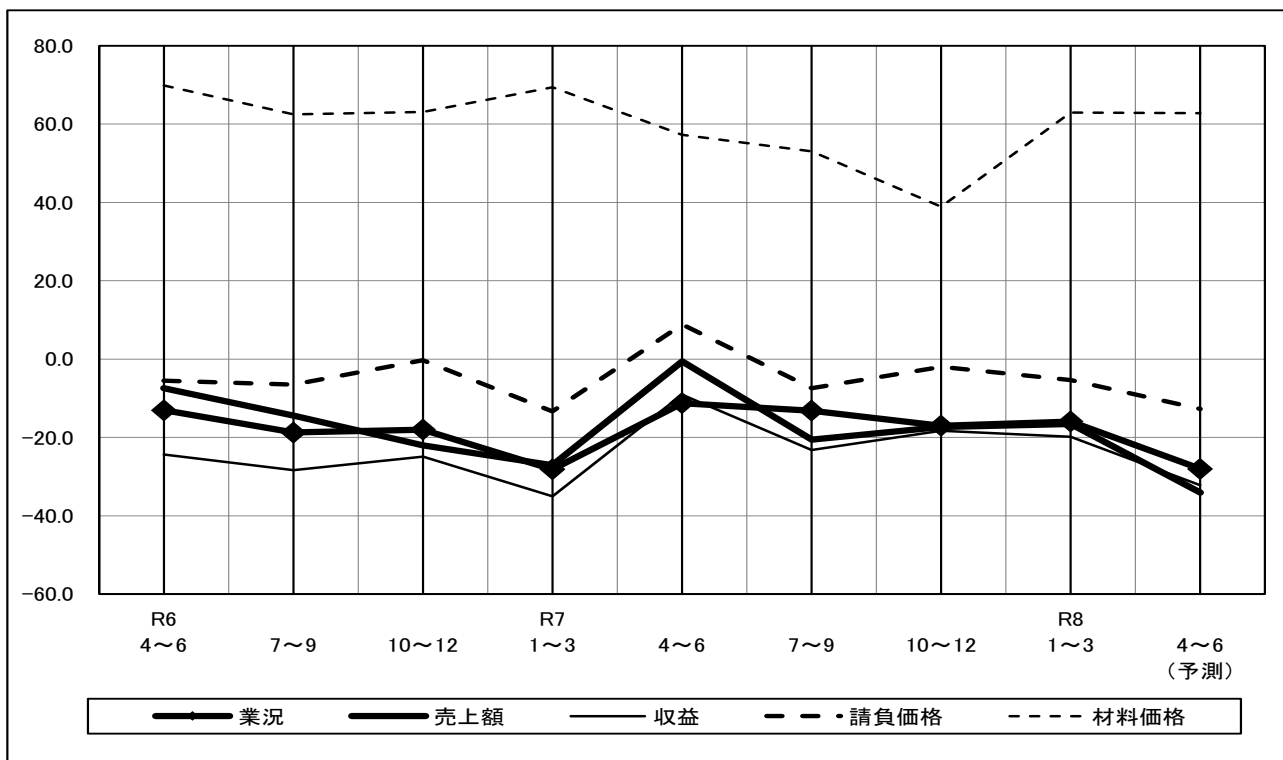


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

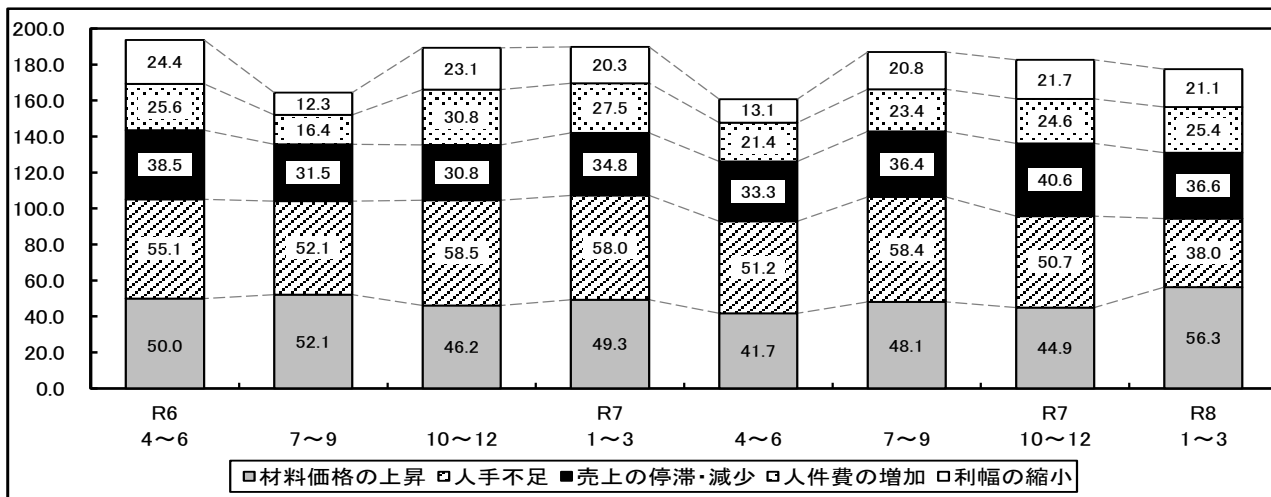
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

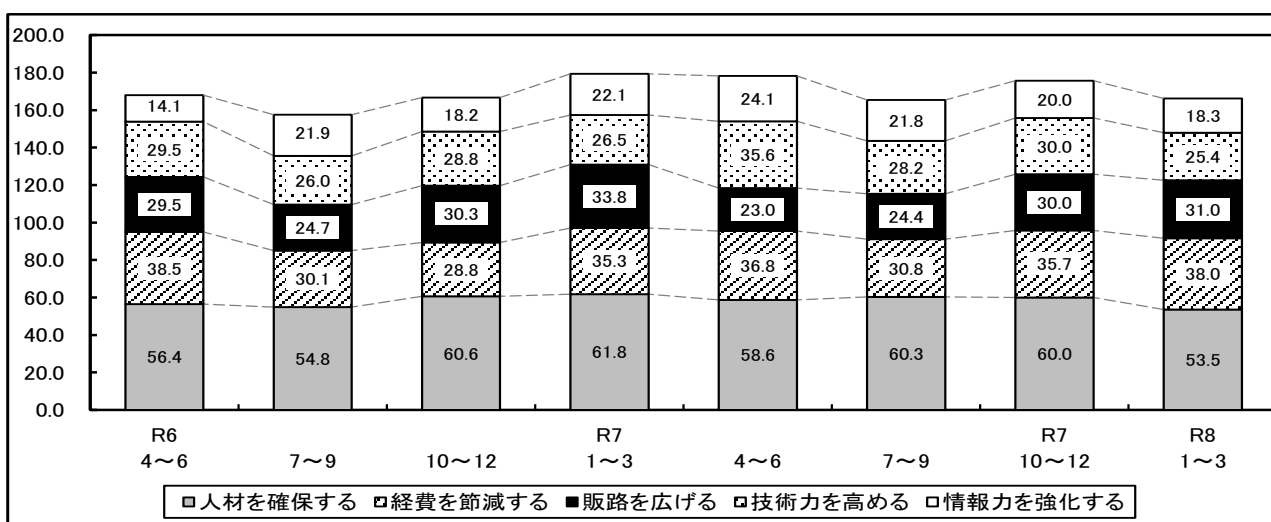


〈建設業〉 経営上の問題点（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	人手不足	51.2 %	人手不足	58.4 %	人手不足	50.7 %	材料価格の上昇	56.3 %
第2位	材料価格の上昇	41.7 %	材料価格の上昇	48.1 %	材料価格の上昇	44.9 %	人手不足	38.0 %
第3位	売上の停滞・減少	33.3 %	売上の停滞・減少	36.4 %	売上の停滞・減少	40.6 %	売上の停滞・減少	36.6 %
第4位	下請の確保難	31.0 %	下請の確保難	24.7 %	人件費の増加	24.6 %	人件費の増加	25.4 %
第5位	人件費の増加	21.4 %	人件費の増加	23.4 %	下請の確保難	23.2 %	利幅の縮小	21.1 %
							下請の確保難	21.1 %

〈建設業〉 重点経営施策（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	人材を確保する	58.6 %	人材を確保する	60.3 %	人材を確保する	60.0 %	人材を確保する	53.5 %
第2位	経費を節減する	36.8 %	経費を節減する	30.8 %	経費を節減する	35.7 %	経費を節減する	38.0 %
第3位	技術力を高める	35.6 %	技術力を高める	28.2 %	販路を広げる	30.0 %	販路を広げる	31.0 %
第4位	情報力を強化する	24.1 %	販路を広げる	24.4 %	情報力を強化する	20.0 %	技術力を高める	25.4 %
第5位	販路を広げる	23.0 %	情報力を強化する	21.8 %	労働条件を改善する	14.3 %	情報力を強化する	18.3 %

建設業 業種別コメント

1. 昨年からの下請の受注額が減少しており売上減少に直結している。今後は直接の案件に対する対応力の強化が必要である。
2. 重機オペレーターの確保が難しい。またすぐに辞めてしまう者も多い。
3. 新入社員を毎年確保できていない。30代、40代が不足している。
4. 長期現場を確保できたことで、増収・増益が続いている。
5. 仕事の受注に波があり、人材確保が固定できない。
6. 材料費の予測が立たない。（高止まり含む）
7. 全体的に業界内で人が減少しており辞めていく。下請も増えていて先々不安である。
8. 見積を出しても受注までに時間が掛かるので予定が上手く立てられない。
9. 受注増の中採用ができずに人手不足になっている。
10. リフォーム仕事が多いが、仕事確保が難しいため、決まった入金が少ない。
11. 人手不足に伴う受注の消化。
12. 現状はなんとか経営できているが、アメリカの影響で石油製品やガソリンが高騰してくれば建築資材や車両経費が嵩む。
13. 受注状況の波。
14. 減収・減益が続いている。
15. 人手不足と高齢化。
16. 若い人材の不足が続いている。
17. 需要が減り減収・減益が続いている。材料費の上昇により、建築需要が減っている感もある。
18. 全体的に受注減少。
19. 下職、技術者の高齢化や廃業が多い。
20. 例年並み。
21. 受注のチャンスも人手不足の要因で逃すことが見られる。一人でも採用して未来の業績UPにつなげていきたい。
22. 仕入、人件費増加。粗利減少。
23. 湾岸問題により原油生産品の材料、燃料、運搬費の高騰が予測され、今後の見積が難しくなる傾向、価格安定するまで大型案件営業を控える。働き方改革による労働時間制約があるため、受注量を減少する。
24. イラン情勢に注目している。材料価格に影響があると考えている。
25. 本年度の後半夏・秋ごろの仕事の受注がどれくらいあるか不安である。
26. 新規受注が減少、在庫の増加が当面の課題。
27. 需要が増えている。受注増の中、技術者の不足、材料価格の上昇及び材料不足に困っている。
28. 現場仕事なのでどうしても繁忙期と閑散期がでてしまう。来年は見通しが良いが、今年はビルの建ちはじめのため、設備業者は閑散期と見込まれる。
29. 社員が入らず外注費が増加。外注の単価が高い。
30. 技術力を評価してもらっているので継続していきたい。
31. 仕事はあるが高齢化等人手の問題に直面している。資材の値上げが不安。
32. 人材不足のため新しい職人を求めてもニーズに合うレベルの技術を持った人が少ない。
33. 平年と変わらず事業ができているが、従業員の高齢化が懸念事項である。
34. 人材不足。

情報通信業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況（1→△6）は悪化に転じた。売上額（4→△10）は増加から減少に転じ、収益（△5→△12）は減少幅がかなり拡大した。

価格動向

システム提供価格（8→10）は上昇傾向がやや強まり、人件費（30→16）は上昇傾向がかなり弱まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り（△8→△3）は厳しさがやや和らぎ、借入難易度（△2→△7）はやや悪化した。今期借入れをした企業は25%で前期の19%から6ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

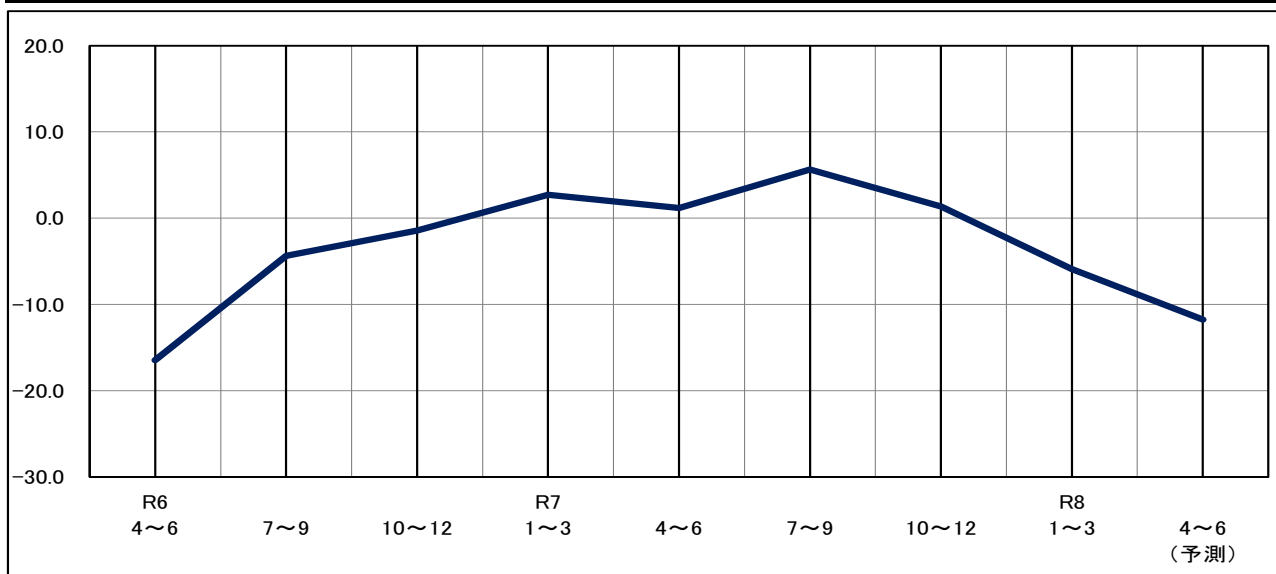
経営上の問題点は、1位は「人手不足」が64%、2位は「人件費の増加」が40%、3位は「売上の停滞・減少」が33%となった。「人手不足」は令和6年7～9月期から7期連続で1位となっている。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が59%、2位は「技術力を強化する」が42%、3位は「販路を広げる」が39%となった。「人材を確保する」は令和4年10～12月期から14期連続で1位となっている。

来期の見通し

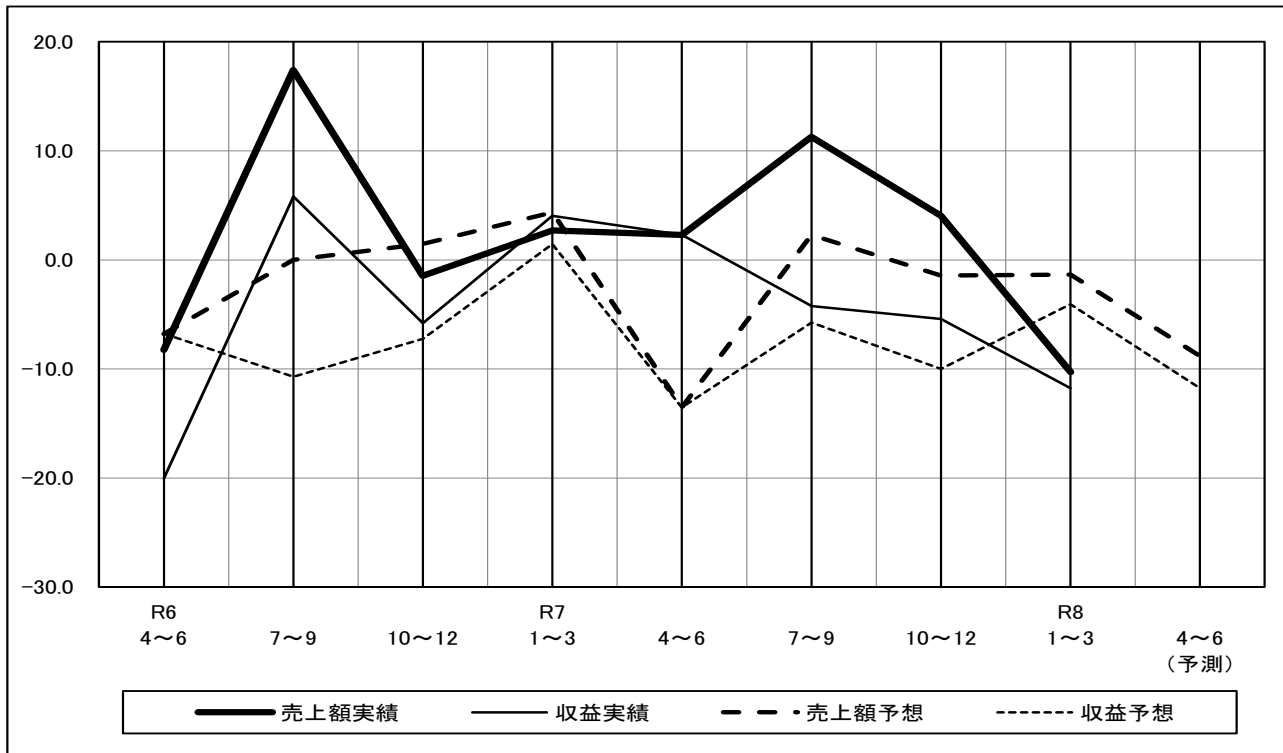
業況（△6→△12）は低調感がかなり強まる見込み。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は今期並と予想されている。

〈情報通信業〉 品川区の業況の動き（実績）と来期の予測

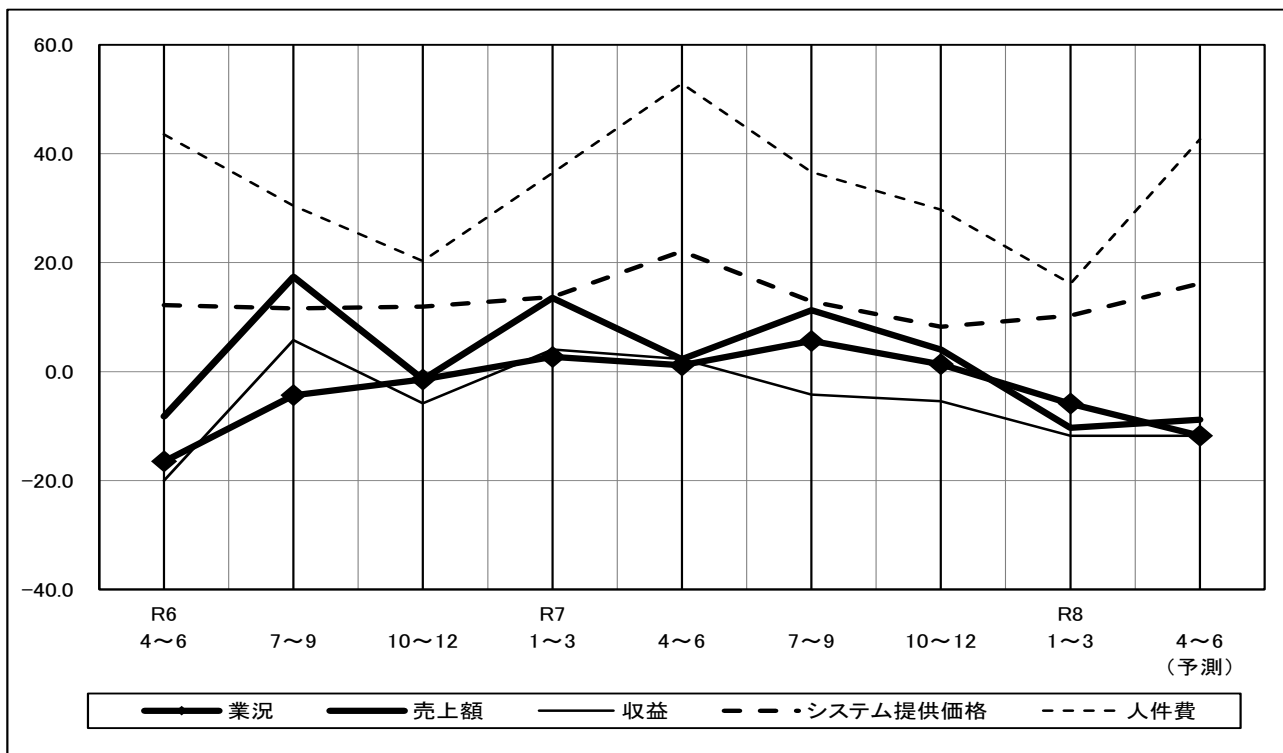


※ 東京都の景況調査では情報通信業の調査は実施されていないため、全都の情報通信業の業況は表示していない。

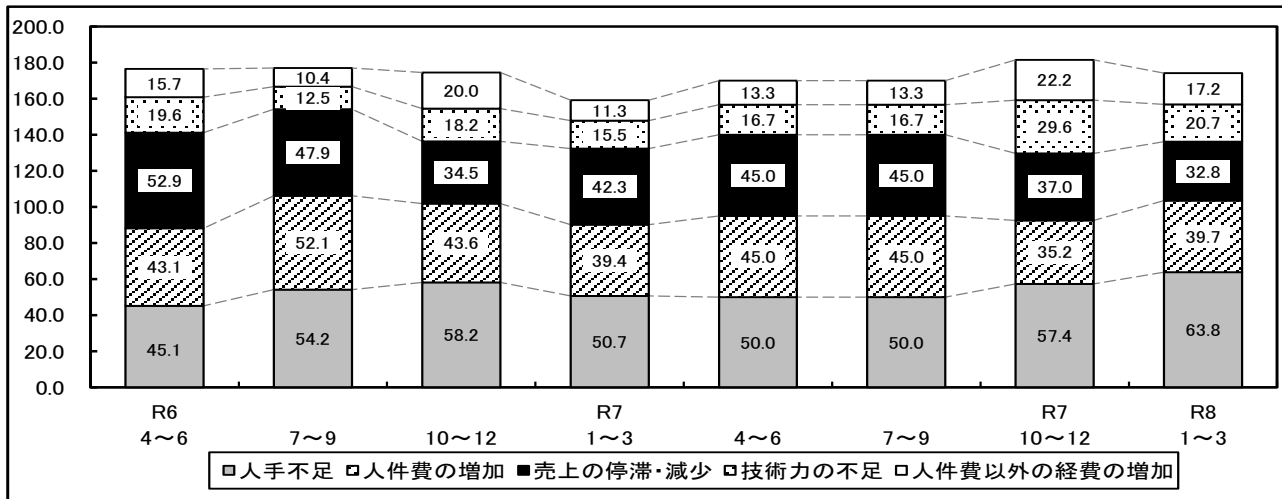
〈情報通信業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈情報通信業〉 業況と売上額、収益、システム提供価格、人件費の動き（実績）と来期の予測

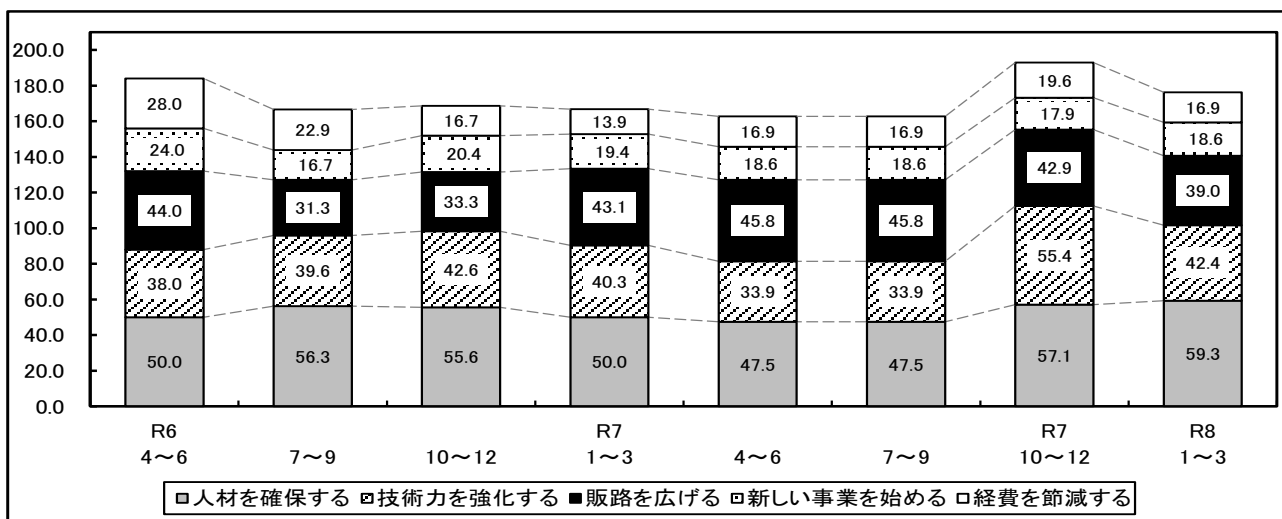


〈情報通信業〉 経営上の問題点（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	人手不足	50.7 %	人手不足	50.0 %	人手不足	57.4 %	人手不足	63.8 %
第2位	売上の停滞・減少	42.3 %	売上の停滞・減少	45.0 %	売上の停滞・減少	37.0 %	人件費の増加	39.7 %
			人件費の増加	45.0 %				
第3位	人件費の増加	39.4 %	利幅の縮小	16.7 %	人件費の増加	35.2 %	売上の停滞・減少	32.8 %
			技術力の不足	16.7 %				
第4位	技術力の不足	15.5 %	人件費以外の経費の増加	13.3 %	技術力の不足	29.6 %	技術力の不足	20.7 %
第5位	利幅の縮小	14.1 %	同業者間の競争の激化	8.3 %	人件費以外の経費の増加	22.2 %	人件費以外の経費の増加	17.2 %
			大手企業との競争の激化	8.3 %				
			取引先の減少	8.3 %				

〈情報通信業〉 重点経営施策（％）



	R7.4～6月期		R7.7～9月期		R7.10～12月期		R8.1～3月期	
第1位	人材を確保する	50.0 %	人材を確保する	47.5 %	人材を確保する	57.1 %	人材を確保する	59.3 %
第2位	販路を広げる	43.1 %	販路を広げる	45.8 %	技術力を強化する	55.4 %	技術力を強化する	42.4 %
第3位	技術力を強化する	40.3 %	技術力を強化する	33.9 %	販路を広げる	42.9 %	販路を広げる	39.0 %
第4位	新しい事業を始める	19.4 %	新しい事業を始める	18.6 %	経費を節減する	19.6 %	新しい事業を始める	18.6 %
第5位	提携先を見つける	15.3 %	経費を節減する	16.9 %	新しい事業を始める	17.9 %	経費を節減する	16.9 %
	教育訓練を強化する	15.3 %	教育訓練を強化する	16.9 %			教育訓練を強化する	16.9 %

情報通信業 業種別コメント

1. 人手不足のため売上増にならず退職者がいつも補充できない。
2. 昨今の新卒初任給アップの状況もあり、新卒採用が困難になってきている。
3. サービスのコモデティ化が進み売上の伸びが鈍化している。
4. 順調。
5. 採用ができずに人手不足になっている。
6. 新規のシステム開発の仕事が減少。
7. 取引先からの受注案件が減少し、売上が減少している。
8. 求人に対して応募が来ず、人手不足になっている。
9. 需要はあるが、人手不足で受注に至らない。
10. 今後の需要拡大に対して十分なリソースを確保できず、案件を受注しきれない状態になることが懸念される。
11. 人手不足がみ。
12. 採用ができず、売上が停滞している。
13. 需要は増大する見込み。
14. 辛うじて今年も1名採用できたが、来年も更に厳しくなることが想定されるため、新たな方策を考える必要がある。
15. 人件費の増加（増加せざるを得ない）。
16. 横ばい、人手不足。
17. 採用が思いどおりに進まない。
18. 慢性的な状況が続く。
19. 時代にあった会社運営、組織改善。例えば、在宅勤務や契約先での勤務が増えた今では大きな事務所を構える必要性が全くないため、弊社としても小さな事務所への移転が急務。
20. 大手取引先との取引ができる営業力が必要。
21. 増収だが内部の改善は多くある。
22. 継続案件対応は特に問題は感じないが、新規案件対応では年齢制限が多く提案が厳しい。
23. R6 年度と比較して増収・増益になっている。新設部署の売上、年間で一番大きな案件の売上が今年度の利益を押し上げた。
24. 大転職時代により人材が定着しない。
25. 景気動向への様子見と高額システムへの投資判断がシビアとなっていて、成約までに時間を要している。
26. コスト増が利益を圧迫している。諸経費の上昇分を十分に価格転嫁しきれていない。
27. 生成 AI 需要による半導体需給の逼迫でサーバ機器などの設備調達の遅延と高騰が継続している。これにより案件着手遅延や原価率の悪化を招いている。
28. 円安に伴う海外ライセンスやクラウド利用料（AWS）の増大が固定費を押し上げており、中小 IT 企業にとって、利益を直接圧迫する要因になっている。
29. 深刻な IT 人材不足から採用・教育コストや離職防止負担が増加。
30. 同業者との競合が経営を圧迫している。
31. 販売先及び仕入先の与信が気になる。
32. システムエンジニア等の採用が進まないため、需要はあるが供給が追いつかず売上・収益ともに前年同期水準となっている。
33. 需要が増え増収・増益だが、新事業（ソフト開発）に向けて人件費が増えている。また案件は増えているが、人材不足で採用募集中。
34. メモリ価格上昇に伴う、サーバ、ネットワーク機器等の価格上昇見込が収益を圧迫する要因として注視している。
35. 需要が増え、増収・増益が続いている。
36. 採用人員の不足により人手不足。
37. AI が発達したことでクリエイティブ領域への価値が下がってるが、実際に AI を使うとなると、それを操る人材がいない。また、営業が不足しており、仕事を新規開拓する人材がいない。

日銀短観

[調査対象企業数]

調査対象企業数 (2028年3月調査)				
	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,808社	5,401社	9,209社	99.0%
うち大企業	889社	752社	1,641社	98.8%
中堅企業	1,083社	1,539社	2,622社	98.7%
中小企業	1,836社	3,110社	4,946社	99.2%

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2025年度			2026年度		
		上期		下期	上期		下期
円/ドル	2025年12月調査	147.11	146.85	147.37	—	—	—
	2026年3月調査	148.29	146.97	149.60	150.10	150.10	150.09
円/ユーロ	2025年12月調査	164.48	164.03	164.93	—	—	—
	2026年3月調査	167.14	164.60	169.68	171.77	171.72	171.83

[業況判断] (「良い」－「悪い」・%ポイント)

	2025年12月調査		2026年3月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	16	15	17	1	14	-3
非製造業	36	31	36	0	29	-7
全産業	25	22	27	2	21	-6
中堅企業						
製造業	15	10	16	1	9	-7
非製造業	26	19	27	1	18	-9
全産業	22	15	23	1	14	-9
中小企業						
製造業	7	2	7	0	4	-3
非製造業	17	12	16	-1	8	-8
全産業	14	8	13	-1	7	-6
全規模合計						
製造業	11	8	12	1	7	-5
非製造業	22	16	21	-1	13	-8
全産業	18	13	18	0	11	-7

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2025年度 (計画)		2026年度 (計画)	
		修正率	修正率	修正率	修正率
大企業	製造業	1.6	0.3	1.5	—
	国内	1.6	0.1	1.5	—
	輸出	1.6	0.7	1.6	—
	非製造業	2.0	0.8	1.4	—
		1.8	0.6	1.5	—
中堅企業	製造業	2.8	1.5	1.9	—
	非製造業	4.7	0.7	2.4	—
	全産業	4.2	0.9	2.3	—
中小企業	製造業	2.6	0.7	1.2	—
	非製造業	1.2	0.5	-0.3	—
	全産業	1.5	0.5	0.0	—
全規模合計	製造業	2.0	0.6	1.5	—
	非製造業	2.4	0.7	1.1	—
	全産業	2.3	0.7	1.3	—

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

中小企業		2025年12月調査		2026年3月調査			
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・サービス需給判断 （「需要超過」―「供給超過」）	製造業	-17	-17	-16	1	-15	1
	うち素材業種	-22	-22	-22	0	-22	0
	加工業種	-13	-13	-11	2	-10	1
	非製造業	-6	-9	-8	-2	-9	-1
海外での製商品需給判断 （「需要超過」―「供給超過」）	製造業	-14	-14	-11	3	-11	0
	うち素材業種	-24	-23	-20	4	-19	1
	加工業種	-9	-10	-7	2	-7	0
製商品在庫水準判断 （「過大」―「不足」）	製造業	13		10	-3		
	うち素材業種	15		13	-2		
	加工業種	10		9	-1		
製商品流通在庫水準判断 （「過大」―「不足」）	製造業	12		8	-4		
	うち素材業種	18		15	-3		
	加工業種	8		4	-4		
販売価格判断 （「上昇」―「下落」）	製造業	27	33	31	4	42	11
	うち素材業種	25	32	29	4	44	15
	加工業種	28	35	31	3	41	10
	非製造業	27	34	31	4	40	9
仕入価格判断 （「上昇」―「下落」）	製造業	55	59	62	7	69	7
	うち素材業種	49	54	56	7	68	12
	加工業種	59	62	65	6	71	6
	非製造業	53	56	57	4	66	9

東京都と品川区の企業倒産動向 (令和8年3月)

1. 東京都の倒産概況

(単位: 件・億円)

	令和7年3月	令和8年2月	令和8年3月	前月比	前年同月比
件数	137	160	138	▲22	1
金額	194	249	162	▲87	▲32

2. 原因別倒産動向

(単位: 件・億円)

放漫経営		過小資本		他社倒産の余波		既住のしわ寄せ		販売不振	
18	24.2	2	2.3	14	6.2	18	85.2	77	38.9
売掛金回収難		信用性低下		在庫状態悪化		設備投資過大		その他	
3	4.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	1.1

3. 業種別倒産動向

(単位: 件・億円)

	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	6	10	9	14	37	12
卸売業	26	29	17	85	55	13
小売業	10	10	17	4	4	31
サービス業	30	43	31	39	82	50
建設業	18	11	17	15	15	7
不動産業	8	7	4	6	3	5
情報通信業・運輸業	18	28	25	13	27	19
宿泊業・飲食サービス業	15	14	11	10	6	7
その他	6	8	7	8	20	20
合計	137	160	138	194	249	162

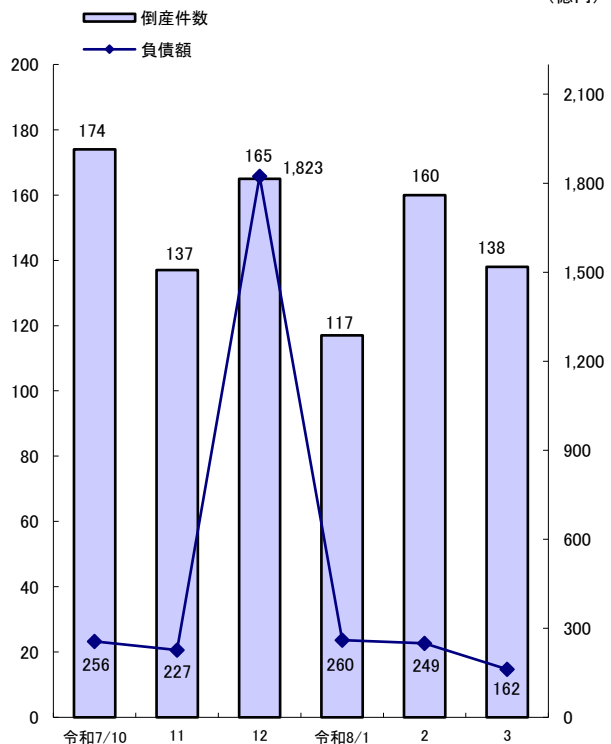
4. 品川区内の令和8年3月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	0件	0百万円
卸売業	0件	0百万円
小売業	0件	0百万円
サービス業	5件	194百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	0件	0百万円
情報通信業・運輸業	0件	0百万円
宿泊業・飲食サービス業	0件	0百万円
その他	0件	0百万円
合計	5件	194百万円

(件数)

東京都の倒産概況

(億円)



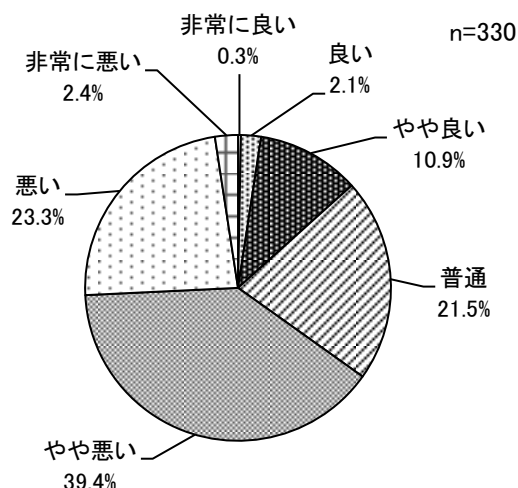
特別調査「令和8年度の経営見通し」

- ① 令和8年度の日本の景気見通しについては、『良い』が13.3%、『悪い』が65.2%
- ② 令和8年度の自社の業況見通しについては、『良い』が16.4%、『悪い』が53.9%
- ③ 令和8年度の自社の売上額の伸び率の見通しについては、『増加』が29.8%、『減少』が41.6%
- ④ 自社の業況が上向く転換点については、「業況改善の見通しは立たない」が36.8%で最多
- ⑤ 経営に影響を及ぼす事象については、「原材料価格・資源価格の動向」が58.8%で最多

問1. 令和8年度の日本の景気見通し

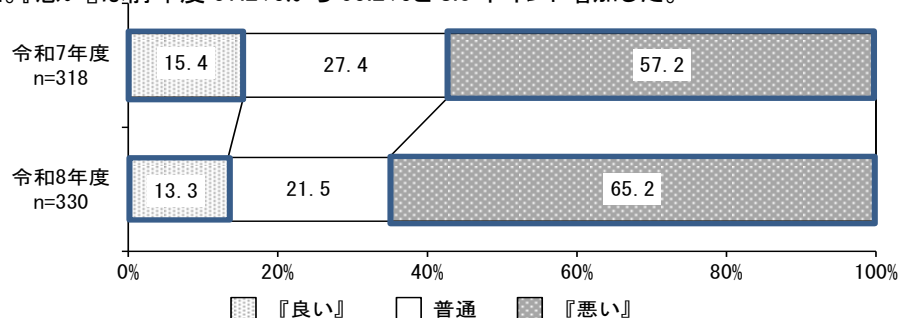
日本の景気見通しについては、全体では「やや悪い」が39.4%で最も多く、次いで「悪い」が23.3%となった。「非常に良い」、「良い」、「やや良い」を合わせた『良い』の割合は13.3%、反対に「非常に悪い」、「悪い」、「やや悪い」を合わせた『悪い』の割合は65.2%となり、『悪い』が『良い』を51.9ポイント上回った。

業種別にみると、『悪い』と回答した企業の割合が最も多いのは小売業で84.8%、次いで製造業で70.9%となった。一方で、『良い』と回答した企業の割合が最も多いのは製造業で18.2%、次いで情報通信業で16.1%となった。



	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
全 体 (330) 件	0.3	2.1	10.9	21.5	39.4	23.3	2.4
製 造 業 (55) 件	0.0	3.6	14.5	10.9	40.0	23.6	7.3
卸 売 業 (64) 件	0.0	1.6	10.9	20.3	43.8	20.3	3.1
小 売 業 (33) 件	0.0	3.0	6.1	6.1	48.5	33.3	3.0
サービス業 (52) 件	0.0	0.0	15.4	21.2	48.1	13.5	1.9
建 設 業 (70) 件	1.4	1.4	5.7	34.3	25.7	31.4	0.0
情報通信業 (56) 件	0.0	3.6	12.5	26.8	37.5	19.6	0.0

日本の景気見通しの前年度同期の結果(令和7年3月)との比較では、全体の『良い』は前年度15.4%から13.3%と2.1ポイント減少した。『悪い』は前年度57.2%から65.2%と8.0ポイント増加した。



	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
令和7年度 (318) 件	0.3	2.5	12.6	27.4	33.0	20.1	4.1
令和8年度 (330) 件	0.3	2.1	10.9	21.5	39.4	23.3	2.4

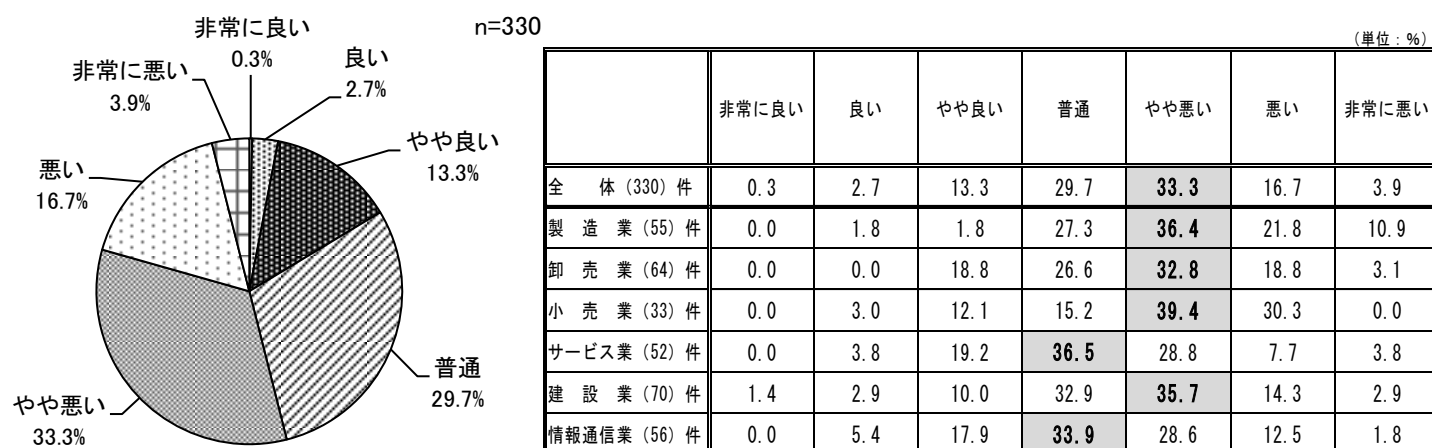
※図表中の構成比は、小数第2位を四捨五入している。

そのため、合計した値が100%にならない場合がある（他設問についても同様）。

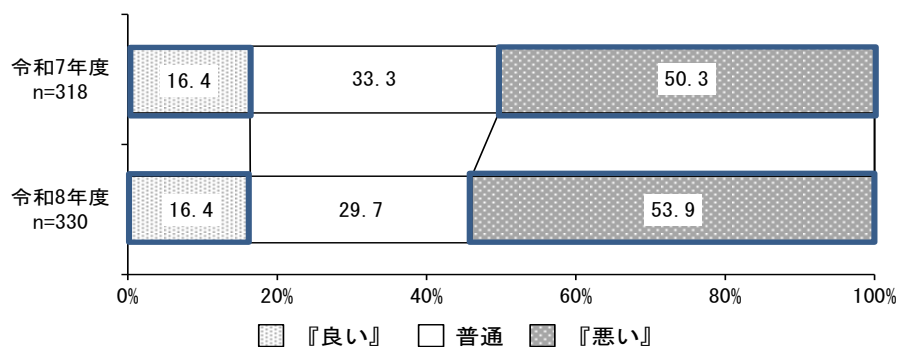
問2. 令和8年度の自社の業況見通し

自社の業況の見通しについては、全体では「やや悪い」が33.3%と最も多く、次いで「普通」が29.7%、「悪い」が16.7%となった。「非常に良い」、「良い」、「やや良い」を合わせた『良い』の割合は16.4%、反対に「非常に悪い」、「悪い」、「やや悪い」を合わせた『悪い』の割合は53.9%となり、『悪い』が『良い』を37.5ポイント上回った。

業種別では、6つすべての業種で、『悪い』の割合が4割以上を占めており、特に製造業、小売業は約7割を占めた。『良い』と回答した企業の割合が最も多いのは情報通信業の23.2%、最も少ないのは製造業の3.6%で、業種間の差は19.6ポイントとなった。一方、『悪い』と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の69.7%、最も少ないのはサービス業の40.4%で、業種間の差は29.3ポイントとなった。



自社の業況見通しの前年度同期の結果（令和7年3月）との比較では、全体の『良い』は前年度16.4%から16.4%と増減なく、『悪い』は前年度50.3%から53.9%と3.6ポイント増加した。



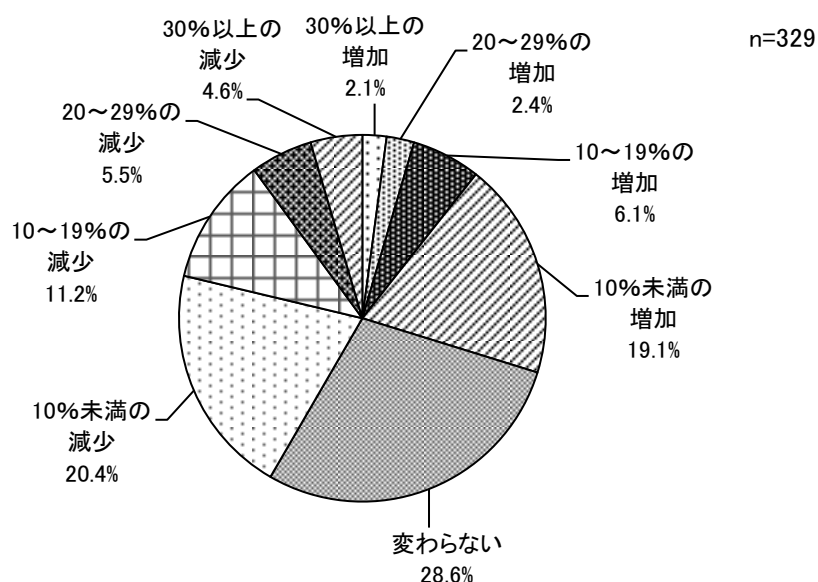
(単位: %)

	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
令和7年度 (318) 件	0.0	4.4	11.9	33.3	32.7	13.2	4.4
令和8年度 (330) 件	0.3	2.7	13.3	29.7	33.3	16.7	3.9

問3. 令和8年度の自社の売上額の伸び率の見通し

自社の売上額の伸び率の見通しについては、「変わらない」が28.6%と最も多く、次いで「10%未満の減少」が20.4%、「10%未満の増加」が19.1%の順となった。また、『増加』の回答を合計した割合は29.8%、『減少』は41.6%となり、『減少』が『増加』を11.8ポイント上回った。

業種別にみると、『増加』と回答した企業の割合が最も多いのは情報通信業の35.7%、最も少ないのは製造業の22.2%で、業種間の差は13.5ポイントとなった。また、『減少』と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の54.5%、最も少ないのは情報通信業の28.6%で、業種間の差は25.9ポイントとなった。



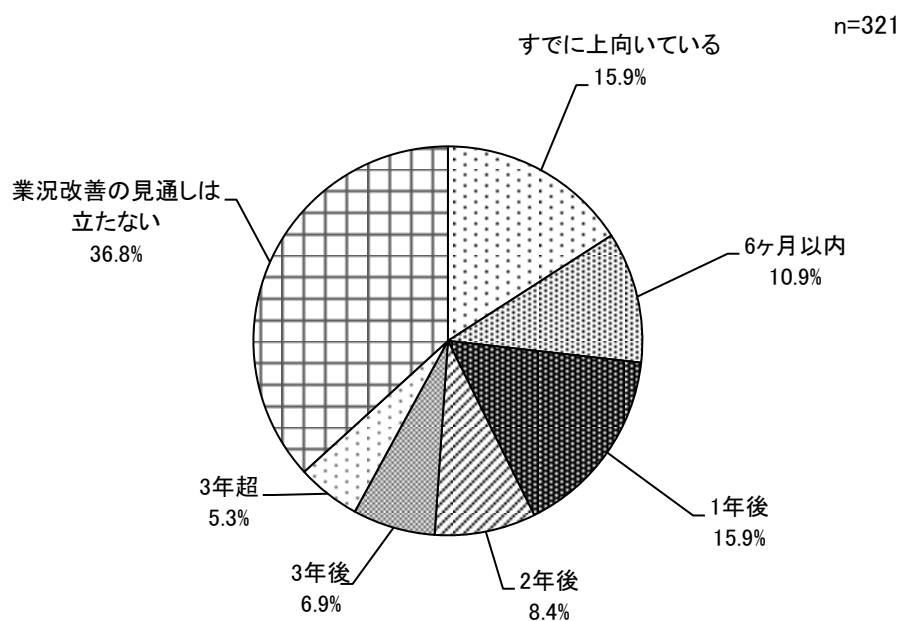
(単位：%)

	30%以上の増加	20~29%の増加	10~19%の増加	10%未満の増加	変わらない	10%未満の減少	10~19%の減少	20~29%の減少	30%以上の減少
全 体 (329) 件	2.1	2.4	6.1	19.1	28.6	20.4	11.2	5.5	4.6
製 造 業 (54) 件	1.9	1.9	3.7	14.8	24.1	22.2	13.0	13.0	5.6
卸 売 業 (64) 件	1.6	0.0	10.9	17.2	29.7	23.4	9.4	6.3	1.6
小 売 業 (33) 件	6.1	0.0	3.0	18.2	18.2	30.3	18.2	3.0	3.0
サービス業 (52) 件	0.0	3.8	11.5	19.2	28.8	23.1	9.6	0.0	3.8
建 設 業 (70) 件	2.9	1.4	2.9	21.4	30.0	15.7	11.4	5.7	8.6
情報通信業 (56) 件	1.8	7.1	3.6	23.2	35.7	12.5	8.9	3.6	3.6

問4. 業況が上向く転換点

業況が上向く転換点については、「業況改善の見通しは立たない」が36.8%と最も多く、次いで「すでに上向いている」、「1年後」がともに15.9%、「6ヶ月以内」が10.9%となった。

業種別にみると、6つすべての業種で「業況改善の見通しは立たない」と回答した割合が最も高く、特に小売業は53.3%を占めた。



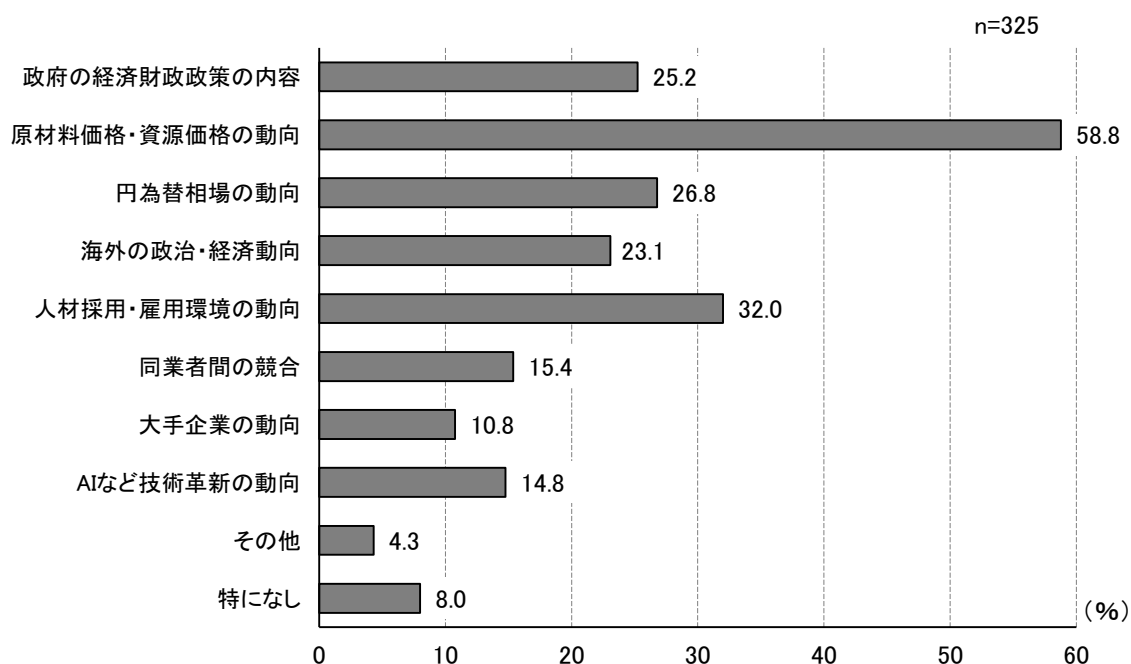
(単位：%)

	すでに上向いている	6ヶ月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しは立たない
全 体 (321) 件	15.9	10.9	15.9	8.4	6.9	5.3	36.8
製 造 業 (54) 件	9.3	7.4	18.5	7.4	5.6	5.6	46.3
卸 売 業 (64) 件	17.2	14.1	21.9	4.7	4.7	6.3	31.3
小 売 業 (30) 件	6.7	13.3	10.0	3.3	6.7	6.7	53.3
サービス業 (51) 件	21.6	5.9	17.6	7.8	9.8	3.9	33.3
建 設 業 (67) 件	14.9	6.0	16.4	11.9	7.5	3.0	40.3
情報通信業 (55) 件	21.8	20.0	7.3	12.7	7.3	7.3	23.6

問5. 経営に影響を及ぼす事象

経営に影響を及ぼす事象については、「原材料価格・資源価格の動向」が58.8%と最も多く、次いで「人材採用・雇用環境の動向」が32.0%、「円為替相場の動向」が26.8%の順となった。

業種別にみると、情報通信業とサービス業を除く4業種で、「原材料価格・資源価格の動向」が最も多く、サービス業と情報通信業は「人材採用・雇用環境の動向」が最も多い事象となった。なお、そのほかでは、卸売業で「円為替相場の動向」が59.4%、小売業で「政府の経済財政政策の内容」が46.7%、情報通信業では「AIなど技術革新の動向」が44.6%と、他業種に比べ割合が高くなっている。コメントにおいては、戦争の影響、各設備の更新、ベテラン社員の退職などの意見がみられた。



(単位：%)

	政府の経済 財政政策の 内容	原材料価格・ 資源価格の 動向	円為替相場 の動向	海外の政治・ 経済動向	人材採用・ 雇用環境の 動向	同業者間の 競合	大手企業の 動向	AIなど 技術革新の 動向	その他	特になし
全 体 (325) 件	25.2	58.8	26.8	23.1	32.0	15.4	10.8	14.8	4.3	8.0
製 造 業 (54) 件	24.1	74.1	24.1	29.6	18.5	7.4	14.8	11.1	3.7	7.4
卸 売 業 (64) 件	15.6	64.1	59.4	28.1	12.5	23.4	10.9	9.4	4.7	3.1
小 売 業 (30) 件	46.7	83.3	36.7	26.7	13.3	6.7	6.7	3.3	3.3	0.0
サービス業 (52) 件	23.1	48.1	15.4	19.2	55.8	13.5	5.8	15.4	3.8	13.5
建 設 業 (69) 件	27.5	68.1	13.0	21.7	37.7	18.8	13.0	2.9	5.8	11.6
情報通信業 (56) 件	25.0	23.2	14.3	14.3	48.2	16.1	10.7	44.6	3.6	8.9

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和8年1月～3月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-34	-31	-34	-22	-47	-30
売上額		-24	-20	-21	-15	-46	-12
受注残		-13	10	-10	-11	-20	-26
収益		-26	-21	-31	-25	-32	-11
販売価格		11	12	18	2	-3	23
原材料価格		74	70	95	37	92	74
原材料在庫		-3	-16	-20	17	10	2
資金繰り		-23	-36	-8	-33	-10	-19
雇用	残業時間	-9	15	-23	-30	0	-9
	人手	-9	-31	-15	40	-27	0
同期比	売上額	-21	-9	-23	-20	-64	9
	収益	-40	-23	-54	-40	-73	-9
経営上の問題点	①原材料高	68	75	77	33	82	64
	②売上の停滞・減少	48	42	31	67	46	64
	③仕入先からの値上げ要請	21	17	39	22	18	9
	④人件費の増加	21	33	15	22	9	27
	⑤人手不足	20	42	15	0	27	9
重点経営施策	①経費を節減する	51	54	50	56	55	40
	②販路を広げる	33	31	25	44	27	40
	③人材を確保する	33	39	58	0	36	20
	④新製品・技術を開発する	24	31	42	22	9	10
	⑤情報力を強化する	15	8	25	44	0	0
借入の難易度		-11	-8	8	-50	-20	10

[来期の景況見通し]

業況		-37	-8	-47	-45	-61	-24
売上額		-13	7	-6	-14	-53	-5
受注残		-23	-11	-19	-12	-56	-12
収益		-22	-12	-15	-11	-50	-27
販売価格		12	25	12	0	0	26
原材料価格		71	66	79	49	79	80
原材料在庫		3	5	-12	16	11	1
資金繰り		-30	-43	-14	-41	-28	-24
雇用	残業時間	-16	-8	-31	-30	0	-9
	人手	-7	-31	-8	40	-27	0

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小 売 業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和8年1月～3月期

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-2	-8	6	-28
売上額		4	8	10	-19
収益		-3	19	-2	-27
販売価格		44	38	55	16
仕入価格		78	83	83	56
在庫		10	15	8	9
資金繰り		-18	-19	-17	-19
雇用	残業時間	-11	0	-22	0
	人手	-43	-44	-56	-13
同期比	売上額	-17	-22	-11	-25
	収益	-46	-44	-50	-38
	販売価格	37	56	44	0
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	53	71	50	43
	②仕入先からの値上げ要請	50	43	75	0
	③人手不足	40	43	50	14
	④人件費の増加	30	14	38	29
	⑤商店街の集客力の低下	20	29	0	57
重点経営施策	①経費を節減する	56	63	50	63
	②人材を確保する	34	13	56	13
	③品揃えを改善する	28	38	13	50
	④新しい事業を始める	22	25	25	13
	⑤仕入先を開拓・選別する	22	13	19	38
借入の難易度		-28	-33	-31	-14

[来期の景況見通し]

業況		-28	-41	-22	-39
売上額		-18	-24	-19	-10
収益		-26	-37	-26	-14
販売価格		24	7	36	3
仕入価格		61	46	70	50
在庫		5	8	-1	17
資金繰り		-22	-25	-18	-29
雇用	残業時間	-3	0	-6	0
	人手	-46	-56	-56	-13

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対	R8	
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		前期	4～6月期	
業況	良い	15.7	11.6	10.0	10.2	16.4	15.0	12.5	12.2	11.9	9.7	11.7	4.8	25.9	15.6	18.1	21.0			11.4
	普通	30.3	27.5	41.3	38.6	39.7	37.5	36.1	47.3	27.4	33.3	26.0	25.3	34.6	20.8	31.9	40.7			38.6
	悪い	53.9	60.9	48.8	51.1	43.8	47.5	51.4	40.5	60.7	56.9	62.3	69.9	39.5	63.6	50.0	38.3			50.0
	D・I	-38.2	-49.3	-38.8	-40.9	-27.4	-32.5	-38.9	-28.4	-48.8	-47.2	-50.6	-65.1	-13.6	-48.1	-31.9	-17.3			-38.6
	修正値	-36.7	-49.8	-34.4	-40.0	-30.4	-35.2	-44.4	-28.5	-49.2	-49.2	-50.1	-64.9	-22.8	-52.5	-34.0	-24.4	-11.0		-37.4
	傾向値	-45.4		-44.4		-41.2		-37.6		-37.1		-39.9		-39.7		-37.1				
売上額	増加	21.3	23.5	20.3	18.4	26.0	21.5	19.4	23.0	14.3	11.1	14.5	13.1	32.1	18.2	23.6	21.0			23.9
	変らず	29.2	32.4	40.5	35.6	37.0	39.2	37.5	45.9	38.1	52.8	28.9	33.3	30.9	26.0	29.2	45.7			38.0
	減少	49.4	44.1	39.2	46.0	37.0	39.2	43.1	31.1	47.6	36.1	56.6	53.6	37.0	55.8	47.2	33.3			38.0
	D・I	-28.1	-20.6	-19.0	-27.6	-11.0	-17.7	-23.6	-8.1	-33.3	-25.0	-42.1	-40.5	-4.9	-37.7	-23.6	-12.3			-14.1
	修正値	-19.5	-16.1	-15.1	-27.4	-24.9	-24.9	-26.5	-12.6	-28.8	-24.2	-40.1	-40.2	-17.6	-40.2	-23.9	-17.8	-6.0		-13.2
	傾向値	-29.5		-26.7		-23.3		-21.3		-21.1		-24.6		-26.7		-26.0				
受注残	増加	14.8	18.8	13.9	11.4	21.9	15.2	11.1	18.9	9.4	11.1	13.0	9.4	21.0	15.6	16.7	16.0			15.3
	変らず	50.0	36.2	53.2	48.9	39.7	50.6	47.2	48.6	41.2	54.2	40.3	37.6	48.1	37.7	54.2	54.3			48.6
	減少	35.2	44.9	32.9	39.8	38.4	34.2	41.7	32.4	49.4	34.7	46.8	52.9	30.9	46.8	29.2	29.6			36.1
	D・I	-20.5	-26.1	-19.0	-28.4	-16.4	-19.0	-30.6	-13.5	-40.0	-23.6	-33.8	-43.5	-9.9	-31.2	-12.5	-13.6			-20.8
	修正値	-17.6	-26.1	-16.9	-24.9	-25.6	-25.5	-30.8	-17.1	-38.4	-25.2	-33.3	-40.7	-19.8	-34.5	-12.8	-19.5	7.0		-22.5
	傾向値	-26.5		-23.7		-22.0		-21.5		-24.1		-28.3		-29.4		-26.3				
収益	増加	14.6	15.9	10.0	9.1	20.5	18.8	13.9	17.6	17.9	6.9	14.5	9.5	28.4	13.2	20.8	21.0			13.9
	変らず	38.2	26.1	41.3	42.0	45.2	37.5	41.7	54.1	29.8	58.3	31.6	33.3	34.6	32.9	30.6	46.9			47.2
	減少	47.2	58.0	48.8	48.9	34.2	43.8	44.4	28.4	52.4	34.7	53.9	57.1	37.0	53.9	48.6	32.1			38.9
	D・I	-32.6	-42.0	-38.8	-39.8	-13.7	-25.0	-30.6	-10.8	-34.5	-27.8	-39.5	-47.6	-8.6	-40.8	-27.8	-11.1			-25.0
	修正値	-30.2	-36.4	-32.7	-38.8	-28.2	-30.7	-31.1	-19.7	-34.9	-22.9	-33.6	-46.6	-23.8	-42.9	-26.3	-22.8	-2.0		-22.2
	傾向値	-37.9		-37.3		-34.4		-30.6		-29.1		-29.5		-28.9		-28.0				
価格動向	販売価格	5.6	0.0	2.5	-5.7	13.7	5.0	18.1	2.7	2.4	11.1	9.1	-1.2	2.5	5.2	15.5	3.7			19.7
	〃 修正値	5.5	-2.7	2.9	-8.4	7.2	5.3	16.2	2.9	2.0	8.0	8.7	-3.4	-1.6	4.0	10.6	3.4	12.0		12.3
	〃 傾向値	7.9		5.7		5.4		7.7		9.6		10.0		9.4		7.7				
	原材料価格	71.9	52.9	63.3	56.8	47.9	59.0	59.7	50.0	53.6	51.4	55.3	51.2	55.0	52.6	77.1	43.8			74.3
	〃 修正値	67.7	49.9	62.8	53.6	46.7	55.5	57.2	52.0	46.8	47.6	53.4	46.0	53.1	49.4	74.3	46.3	21.0		70.5
	〃 傾向値	60.0		61.3		60.5		59.8		58.4		55.1		55.0		58.1				
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	12.6	4.5	11.7	5.8	11.3	14.3	8.3	8.3	9.6	8.3	9.3	9.6	5.0	10.7	-5.6	-3.8			1.4
	〃 修正値	13.1	5.1	11.0	7.6	10.8	12.9	9.5	8.3	9.4	9.6	9.4	9.7	4.7	8.9	-3.1	-2.2	-8.0		3.1
	資金繰り	-21.6	-30.4	-23.8	-24.1	-13.7	-27.5	-28.2	-17.6	-29.8	-21.1	-34.2	-34.5	-24.7	-40.0	-23.6	-23.5			-26.4
	〃 修正値	-20.2	-32.1	-22.6	-22.1	-17.5	-28.1	-28.2	-19.6	-30.7	-25.1	-31.9	-34.0	-27.5	-38.0	-23.1	-25.2	4.0		-29.8
前年同期比	売上額	-31.0		-23.4		-8.0		-13.7		-28.2		-27.5		-24.1		-21.4				
	収益	-39.4		-36.5		-12.0		-27.5		-30.9		-37.7		-26.4		-39.7				
雇用	残業時間	-23.9	-15.4	-7.8	-15.7	-2.1	-7.8	-3.9	-8.0	-27.7	-12.0	-21.4	-21.7	-5.5	-12.9	-8.8	-1.8			-15.8
	人手	-19.7	-15.4	-26.6	-20.0	-16.0	-29.7	-17.6	-14.0	-13.3	-18.0	-11.4	-19.3	-14.5	-12.9	-8.6	-12.7			-6.9
借入金	借入難易度	-4.3		-9.5		2.0		-6.0		1.2		-1.4		0.0		-10.7				
	借入をした(%)	27.1	21.9	30.6	14.9	30.6	20.0	30.6	14.9	29.9	26.5	24.2	19.0	19.6	14.9	21.4	11.3			12.3
	借入をしない(%)	72.9	78.1	69.4	85.1	69.4	80.0	69.4	85.1	70.1	73.5	75.8	81.0	80.4	85.1	78.6	88.7			87.7
有効回答事業所数		89		80		74		72		85		77		81		72				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対 前期 比	R8
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			4～6月期
設備 投資 動向（％）	現在の設備	-14.1	-15.4	-7.8	-9.9	-10.4	-6.3	-9.8	-4.3	-8.3	-7.8	-14.3	-6.0	-1.8	-11.4	-5.2	-5.6		-8.6
	実施した	22.9	38.7	39.1	23.5	39.1	37.7	34.0	31.1	41.5	29.4	36.8	39.2	37.0	26.6	40.0	37.3		34.0
	事業用地・建物	1.4	8.1	1.6	5.9	2.2	3.3	6.0	4.4	3.7	7.8	1.5	5.1	0.0	3.1	1.8	0.0		1.9
	機械・設備の新・増設	7.1	8.1	9.4	10.3	13.0	11.5	6.0	2.2	13.4	13.7	11.8	17.7	9.3	6.3	12.7	11.8		15.1
	機械・設備の更改	12.9	16.1	17.2	8.8	17.4	11.5	10.0	17.8	15.9	9.8	13.2	17.7	16.7	12.5	14.5	17.6		17.0
	事務機器	8.6	14.5	12.5	8.8	15.2	14.8	18.0	8.9	15.9	13.7	17.6	7.6	25.9	7.8	18.2	13.7		3.8
	車両	4.3	12.9	7.8	7.4	4.3	11.5	12.0	11.1	9.8	9.8	7.4	10.1	9.3	9.4	7.3	13.7		18.9
	その他	2.9	3.2	1.6	2.9	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.3	0.0	0.0	3.6	0.0		1.9
	実施しない	77.1	61.3	60.9	76.5	60.9	62.3	66.0	68.9	58.5	70.6	63.2	60.8	63.0	73.4	60.0	62.7		66.0
経営上 の問題 点（％）	売上の停滞・減少	61.5		60.7		53.1		43.8		63.8		61.8		63.0		48.2			
	人手不足	13.8		16.4		16.3		25.0		21.3		26.5		22.2		19.6			
	大手企業との競争の激化	0.0		0.0		0.0		2.1		3.8		4.4		1.9		0.0			
	同業者間の競争の激化	6.2		3.3		6.1		4.2		7.5		7.4		5.6		3.6			
	親企業による選別の強化	1.5		1.6		4.1		2.1		5.0		4.4		3.7		5.4			
	輸入製品との競争の激化	1.5		0.0		0.0		2.1		1.3		1.5		0.0		0.0			
	合理化の不足	4.6		9.8		0.0		2.1		1.3		1.5		3.7		5.4			
	利幅の縮小	18.5		18.0		6.1		16.7		22.5		14.7		16.7		14.3			
	原材料高	46.2		45.9		55.1		50.0		31.3		39.7		37.0		67.9			
	販売納入先からの値下げ要請	1.5		0.0		0.0		4.2		2.5		0.0		1.9		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	13.8		19.7		14.3		12.5		16.3		13.2		13.0		21.4			
	人件費の増加	12.3		14.8		26.5		22.9		22.5		20.6		22.2		21.4			
	人件費以外の経費増加	12.3		16.4		12.2		18.8		15.0		16.2		18.5		14.3			
	工場・機械の狭小・老朽化	30.8		16.4		20.4		22.9		11.3		16.2		22.2		17.9			
	生産能力の不足	1.5		3.3		2.0		12.5		7.5		10.3		7.4		10.7			
	下請の確保難	10.8		4.9		8.2		12.5		5.0		7.4		3.7		3.6			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.9		0.0			
	地価の高騰	0.0		1.6		0.0		0.0		1.3		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	地場産業の衰退	7.7		1.6		2.0		0.0		2.5		0.0		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.5		0.0		2.0		2.1		1.3		1.5		3.7		0.0			
	為替レートの変動	1.5		0.0		4.1		4.2		2.5		4.4		1.9		8.9			
	その他	1.5		0.0		2.0		0.0		2.5		2.9		3.7		3.6			
	問題なし	3.1		4.9		2.0		4.2		1.3		2.9		1.9		0.0			
重点 経営 施策（％）	販路を広げる	44.8		58.1		45.8		40.8		49.4		56.5		57.7		32.7			
	経費を削減する	47.8		41.9		45.8		53.1		49.4		46.4		40.4		50.9			
	情報力を強化する	17.9		8.1		18.8		20.4		20.3		18.8		11.5		14.5			
	新製品・技術を開発する	16.4		16.1		16.7		22.4		22.8		26.1		25.0		23.6			
	不採算部門を整理・縮小する	11.9		8.1		8.3		8.2		3.8		11.6		7.7		7.3			
	提携先を見つける	4.5		11.3		12.5		10.2		8.9		5.8		3.8		10.9			
	機械化を推進する	16.4		8.1		4.2		6.1		5.1		5.8		11.5		12.7			
	人材を確保する	17.9		16.1		14.6		28.6		29.1		31.9		32.7		32.7			
	パート化を図る	3.0		0.0		0.0		8.2		2.5		2.9		3.8		3.6			
	教育訓練を強化する	11.9		14.5		10.4		12.2		8.9		7.2		13.5		9.1			
	労働条件を改善する	4.5		8.1		6.3		6.1		10.1		4.3		5.8		12.7			
	工場・機械を増設・移転する	7.5		6.5		4.2		10.2		5.1		7.2		3.8		5.5			
	不動産の有効活用を図る	3.0		6.5		6.3		4.1		3.8		7.2		9.6		9.1			
	その他	1.5		1.6		0.0		0.0		2.5		0.0		1.9		1.8			
	特になし	9.0		6.5		14.6		4.1		3.8		2.9		1.9		5.5			
有効回答事業所数		89		80		74		72		85		77		81		72			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対	R8
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		前期比	4～6月期
業況	良い	25.0	24.7	19.2	23.9	18.1	16.7	14.7	13.9	20.2	12.2	13.7	12.0	26.0	15.1	16.2	16.9		21.6
	普通	27.2	37.0	23.1	31.5	25.0	37.2	28.0	41.7	29.8	40.5	30.1	43.4	35.1	34.2	37.8	42.9		35.1
	悪い	47.8	38.4	57.7	44.6	56.9	46.2	57.3	44.4	50.0	47.3	56.2	44.6	39.0	50.7	45.9	40.3		43.2
	D・I	-22.8	-13.7	-38.5	-20.7	-38.9	-29.5	-42.7	-30.6	-29.8	-35.1	-42.5	-32.5	-13.0	-35.6	-29.7	-23.4		-21.6
	修正値	-21.2	-11.5	-36.8	-24.1	-43.6	-30.0	-44.0	-33.8	-36.3	-37.9	-41.2	-38.7	-20.9	-35.3	-29.4	-26.5	-8.0	-23.2
	傾向値	-16.4		-17.9		-23.1		-31.2		-36.6		-37.9		-35.2		-30.4			
売上額	増加	31.5	28.8	26.9	31.5	28.8	26.9	25.3	24.7	29.8	17.6	20.5	20.2	35.1	13.7	14.9	19.5		28.4
	変らず	26.1	35.6	23.1	33.7	24.7	33.3	22.7	39.7	28.6	45.9	26.0	39.3	32.5	38.4	39.2	39.0		35.1
	減少	42.4	35.6	50.0	34.8	46.6	39.7	52.0	35.6	41.7	36.5	53.4	40.5	32.5	47.9	45.9	41.6		36.5
	D・I	-10.9	-6.8	-23.1	-3.3	-17.8	-12.8	-26.7	-11.0	-11.9	-18.9	-32.9	-20.2	2.6	-34.2	-31.1	-22.1		-8.1
	修正値	-10.4	-4.9	-21.0	-13.8	-27.5	-14.3	-24.1	-9.6	-20.1	-20.8	-29.3	-29.2	-8.4	-32.2	-25.7	-19.2	-17.0	-9.0
	傾向値	-2.0		-4.5		-8.7		-15.4		-19.7		-21.1		-19.8		-17.8			
収益	増加	19.6	19.7	20.5	19.6	21.9	19.2	21.6	20.5	27.4	15.1	19.2	22.6	33.8	13.7	16.2	20.8		25.7
	変らず	32.6	38.0	26.9	35.9	34.2	38.5	28.4	38.4	29.8	45.2	24.7	34.5	31.2	34.2	39.2	37.7		33.8
	減少	47.8	42.3	52.6	44.6	43.8	42.3	50.0	41.1	42.9	39.7	56.2	42.9	35.1	52.1	44.6	41.6		40.5
	D・I	-28.3	-22.5	-32.1	-25.0	-21.9	-23.1	-28.4	-20.5	-15.5	-24.7	-37.0	-20.2	-1.3	-38.4	-28.4	-20.8		-14.9
	修正値	-25.4	-19.8	-29.3	-29.7	-32.8	-25.7	-27.3	-21.7	-21.5	-26.0	-32.3	-27.0	-13.9	-37.6	-25.2	-20.9	-11.0	-13.6
	傾向値	-14.8		-17.1		-20.6		-24.8		-26.1		-25.1		-23.1		-20.5			
価格動向	販売価格	41.3	28.8	30.8	38.0	30.1	14.1	26.7	27.4	17.9	37.8	17.8	16.7	35.1	16.4	24.3	33.8		39.2
	〃 修正値	33.8	25.1	28.7	29.8	26.4	12.4	26.2	28.9	10.7	30.3	17.2	8.8	29.8	16.8	25.2	35.4	-5.0	33.0
	〃 傾向値	32.5		34.1		34.6		33.0		29.3		24.7		23.7		24.1			
	仕入価格	71.7	58.1	57.7	68.5	71.2	51.3	54.7	58.9	56.0	51.4	54.8	48.8	61.0	49.3	58.1	67.5		68.9
	〃 修正値	64.4	55.1	54.7	62.5	65.0	47.1	54.9	59.5	48.6	47.0	54.5	42.5	56.1	47.0	58.9	68.1	3.0	65.3
	〃 傾向値	61.0		62.0		64.0		64.6		61.9		59.5		57.9		57.0			
在庫・資金繰り	在庫数量	4.3	8.1	11.5	2.2	15.1	5.1	14.7	6.8	10.8	8.1	15.1	3.6	10.4	6.8	4.1	6.5		-2.7
	〃 修正値	4.4	11.0	11.4	1.7	19.1	5.7	14.0	7.7	12.7	10.3	13.0	4.8	11.8	6.2	4.4	6.4	-7.0	-1.0
	資金繰り	-12.0	-2.8	-17.9	-8.7	-9.6	-10.3	-18.7	-11.0	-9.5	-6.8	-16.4	-8.3	-9.1	-13.7	-13.7	-5.2		-19.2
	〃 修正値	-8.4	-4.6	-16.4	-5.0	-11.7	-7.8	-19.9	-15.0	-10.5	-11.1	-13.8	-8.7	-9.4	-9.9	-14.9	-7.0	-6.0	-20.4
前年同期比	売上額	-6.2		-26.1		-29.0		-18.5		-14.7		-26.0		-10.4		-12.1			
	収益	-14.8		-43.5		-33.3		-26.2		-10.8		-32.9		-17.9		-22.4			
	販売価格	44.4		31.9		40.6		39.1		20.3		17.8		41.8		32.3			
雇用	残業時間	-8.9	0.0	1.5	0.0	2.9	-7.5	0.0	-7.2	-4.1	-6.3	-5.5	-6.8	4.5	0.0	-9.0	4.5		1.5
	人手	-28.8	-23.8	-20.6	-30.0	-18.8	-23.5	-23.1	-17.4	-25.3	-25.0	-11.0	-26.7	-24.2	-15.1	-26.9	-24.2		-28.4
借入金	借入難易度	-2.5		-1.4		-1.5		0.0		-4.2		-6.8		-7.7		-15.2			
	借入をした(%)	29.1	14.3	23.5	18.8	24.6	13.4	12.3	12.1	23.0	18.8	16.4	13.0	18.2	12.9	25.8	24.6		17.2
	借入をしない(%)	70.9	85.7	76.5	81.3	75.4	86.6	87.7	87.9	77.0	81.3	83.6	87.0	81.8	87.1	74.2	75.4		82.8
有効回答事業所数		92		78		73		75		84		73		77		74			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対 前期 比	R8
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			4～6月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-11.3	-9.8	-10.3	-11.3	-13.0	-10.3	-13.8	-11.6	-10.8	-12.5	-2.8	-6.8	-17.9	-2.8	-10.4	-17.9		-7.5
	実施した	22.8	37.7	27.3	28.9	29.0	31.7	28.1	25.0	28.2	24.1	33.3	25.4	33.8	23.9	34.4	31.7		22.4
	事業用地・建物	1.3	6.6	1.5	3.9	2.9	3.2	4.7	4.4	0.0	6.9	0.0	3.0	4.6	1.5	7.8	3.2		3.4
	機械・設備の新・増設	7.6	3.3	4.5	5.3	2.9	4.8	4.7	4.4	8.5	1.7	4.2	7.5	4.6	1.5	3.1	7.9		8.6
	機械・設備の更改	5.1	6.6	1.5	3.9	2.9	6.3	3.1	2.9	5.6	3.4	5.6	4.5	7.7	3.0	4.7	11.1		3.4
	事務機器	15.2	14.8	18.2	14.5	15.9	19.0	15.6	11.8	18.3	10.3	19.4	13.4	24.6	10.4	20.3	20.6		8.6
	車両	6.3	13.1	10.6	10.5	13.0	9.5	4.7	11.8	5.6	17.2	11.1	7.5	10.8	13.4	6.3	9.5		6.9
	その他	1.3	3.3	0.0	2.6	2.9	0.0	1.6	0.0	1.4	1.7	2.8	0.0	0.0	0.0	4.7	1.6		1.7
	実施しない	77.2	62.3	72.7	71.1	71.0	68.3	71.9	75.0	71.8	75.9	66.7	74.6	66.2	76.1	65.6	68.3		77.6
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	39.5		43.8		56.3		53.1		54.2		51.4		48.5		41.3			
	人手不足	19.7		21.9		18.8		25.0		18.1		20.8		27.3		17.5			
	同業者間の競争の激化	17.1		14.1		10.9		18.8		25.0		22.2		16.7		17.5			
	輸入製品との競争の激化	6.6		1.6		4.7		6.3		2.8		6.9		4.5		1.6			
	流通経路の変化による競争の激化	3.9		4.7		3.1		0.0		4.2		0.0		1.5		1.6			
	合理化の不足	2.6		6.3		3.1		1.6		1.4		6.9		3.0		1.6			
	小口注文・多頻度配送の増加	1.3		9.4		6.3		4.7		6.9		8.3		4.5		4.8			
	利幅の縮小	23.7		28.1		32.8		25.0		23.6		22.2		22.7		20.6			
	取扱商品の陳腐化	6.6		6.3		7.8		12.5		4.2		6.9		7.6		6.3			
	販売商品の不足	9.2		4.7		9.4		7.8		6.9		9.7		6.1		9.5			
	販売納入先からの値下げ要請	2.6		1.6		1.6		1.6		4.2		2.8		3.0		6.3			
	仕入先からの値上げ要請	25.0		23.4		26.6		26.6		19.4		13.9		22.7		27.0			
	人件費の増加	14.5		18.8		17.2		21.9		12.5		13.9		6.1		12.7			
	人件費以外の経費の増加	13.2		6.3		7.8		10.9		5.6		11.1		4.5		19.0			
	取引先の減少	11.8		4.7		15.6		18.8		12.5		13.9		6.1		14.3			
	店舗の狭小・老朽化	6.6		4.7		3.1		3.1		5.6		4.2		6.1		4.8			
	代金回収の悪化	3.9		1.6		0.0		0.0		4.2		2.8		1.5		4.8			
	地価の高騰	1.3		1.6		1.6		1.6		1.4		1.4		1.5		4.8			
	駐車場の確保難	1.3		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.6			
	天候の不順	1.3		4.7		3.1		3.1		2.8		6.9		1.5		1.6			
	地場産業の衰退	2.6		1.6		3.1		1.6		2.8		0.0		3.0		0.0			
	為替レートの変動	30.3		32.8		26.6		20.3		27.8		25.0		28.8		30.2			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		0.0		4.2		2.8		1.5		0.0			
	その他	2.6		3.1		3.1		1.6		2.8		1.4		1.5		1.6			
	問題なし	2.6		1.6		0.0		3.1		5.6		2.8		3.0		1.6			
重点経営施策（％）	販路を広げる	51.3		61.8		65.2		60.9		62.2		68.1		61.2		68.2			
	経費を節減する	38.8		36.8		31.8		40.6		36.5		33.3		37.3		31.8			
	品揃えを充実する	15.0		16.2		19.7		23.4		21.6		18.1		20.9		15.2			
	情報力を強化する	25.0		27.9		27.3		15.6		25.7		26.4		25.4		28.8			
	新しい事業を始める	15.0		10.3		13.6		14.1		16.2		25.0		11.9		16.7			
	提携先を見つける	10.0		10.3		3.0		10.9		8.1		9.7		10.4		7.6			
	機械化を推進する	1.3		7.4		3.0		3.1		2.7		1.4		1.5		4.5			
	人材を確保する	26.3		26.5		27.3		23.4		23.0		20.8		25.4		22.7			
	パート化を図る	1.3		0.0		0.0		1.6		1.4		2.8		3.0		1.5			
	教育訓練を強化する	12.5		2.9		4.5		4.7		8.1		4.2		6.0		1.5			
	流通経路の見直しをする	2.5		5.9		12.1		6.3		8.1		5.6		1.5		6.1			
	取引先を支援する	5.0		1.5		3.0		1.6		5.4		4.2		4.5		7.6			
	輸入品の取扱いを増やす	3.8		4.4		3.0		6.3		1.4		9.7		4.5		4.5			
	労働条件を改善する	8.8		7.4		3.0		3.1		4.1		4.2		4.5		7.6			
	不動産の有効活用を図る	2.5		1.5		6.1		3.1		0.0		2.8		3.0		4.5			
	その他	2.5		2.9		4.5		0.0		0.0		1.4		1.5		1.5			
	特になし	5.0		8.8		7.6		7.8		9.5		4.2		6.0		4.5			
有効回答事業所数		92		78		73		75		84		73		77		74			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対 前期 比	R8
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			4～6月期
業況	良い	28.6	35.0	20.9	28.6	36.6	36.4	25.7	31.0	33.3	31.0	20.5	12.3	29.7	30.1	29.7	18.1		14.9
	普通	35.1	40.0	35.8	39.0	36.6	36.4	34.3	33.8	36.4	40.8	41.1	64.6	39.2	39.7	36.5	47.2		45.9
	悪い	36.4	25.0	43.3	32.5	26.8	27.3	40.0	35.2	30.3	28.2	38.4	23.1	31.1	30.1	33.8	34.7		39.2
	D・I	-7.8	10.0	-22.4	-3.9	9.9	9.1	-14.3	-4.2	3.0	2.8	-17.8	-10.8	-1.4	0.0	-4.1	-16.7		-24.3
	修正値	-12.4	10.4	-12.0	-5.6	-17.2	-2.2	-14.5	-7.0	-8.8	-8.1	-6.2	-13.4	-20.7	-8.4	-2.3	-16.0	18.0	-28.0
	傾向値	9.6		3.2		-0.9		-5.4		-7.3		-5.4		-6.2		-6.3			
売上額	増加	39.0	40.0	31.8	37.7	52.8	50.7	28.2	35.2	38.8	38.0	24.7	15.2	44.6	49.3	23.0	17.6		31.1
	変らず	35.1	36.7	31.8	32.5	19.4	26.9	19.7	29.6	31.3	38.0	30.1	59.1	33.8	17.8	36.5	41.9		27.0
	減少	26.0	23.3	36.4	29.9	27.8	22.4	52.1	35.2	29.9	23.9	45.2	25.8	21.6	32.9	40.5	40.5		41.9
	D・I	13.0	16.7	-4.5	7.8	25.0	28.4	-23.9	0.0	9.0	14.1	-20.5	-10.6	23.0	16.4	-17.6	-23.0		-10.8
	修正値	4.4	13.5	-5.8	4.2	-7.5	-0.5	-0.5	25.5	-3.4	1.9	-9.4	-10.6	-7.8	-3.4	3.9	-5.7	12.0	-18.0
	傾向値	14.1		9.6		6.5		3.5		1.9		-0.6		-2.9		-2.3			
収益	増加	29.9	31.7	16.4	28.6	40.3	40.9	18.3	23.6	28.4	25.4	13.7	10.6	39.2	38.4	21.6	11.0		18.9
	変らず	37.7	38.3	40.3	36.4	25.0	31.8	33.8	34.7	34.3	46.5	35.6	56.1	28.4	23.3	33.8	43.8		40.5
	減少	32.5	30.0	43.3	35.1	34.7	27.3	47.9	41.7	37.3	28.2	50.7	33.3	32.4	38.4	44.6	45.2		40.5
	D・I	-2.6	1.7	-26.9	-6.5	5.6	13.6	-29.6	-18.1	-9.0	-2.8	-37.0	-22.7	6.8	0.0	-23.0	-34.2		-21.6
	修正値	-12.0	2.8	-28.3	-10.5	-22.2	-12.5	-4.6	3.9	-20.4	-10.6	-27.4	-23.6	-20.6	-17.7	-3.0	-18.6	18.0	-25.6
	傾向値	-4.8		-9.8		-12.4		-13.4		-14.2		-16.2		-17.3		-16.4			
価格動向	販売価格	44.2	18.3	25.8	24.7	47.2	37.3	35.7	33.3	47.8	40.0	26.0	20.9	45.9	23.3	41.9	26.0		27.0
	〃 修正値	39.2	17.6	24.7	24.1	32.5	27.9	39.8	32.0	39.2	35.4	29.4	20.7	32.1	17.1	44.2	24.3	12.0	23.6
	〃 傾向値	42.9		40.0		36.4		36.9		38.7		39.1		39.0		39.6			
	仕入価格	85.7	53.3	68.2	68.8	80.6	65.7	75.7	61.1	79.1	71.4	69.9	49.3	79.7	71.2	79.7	64.4		64.9
	〃 修正値	75.6	59.2	66.2	57.4	70.9	57.6	76.6	63.5	66.9	69.8	70.8	40.1	70.7	63.3	78.2	66.4	8.0	61.1
	〃 傾向値	78.8		76.4		74.6		76.2		76.7		76.1		76.2		76.6			
在庫・資金繰り	在庫数量	13.0	10.0	13.6	9.1	6.9	7.5	7.1	1.4	1.5	5.7	6.8	3.0	14.9	4.1	6.8	9.6		4.1
	〃 修正値	10.4	11.3	16.7	8.2	4.3	9.8	10.8	0.2	0.4	6.5	8.2	2.0	10.7	5.7	9.7	8.3	-1.0	4.8
	資金繰り	-20.8	-16.7	-18.2	-22.1	-26.4	-17.9	-20.0	-25.0	-13.4	-21.4	-27.4	-20.9	-13.5	-27.4	-17.8	-21.9		-20.8
	〃 修正値	-22.8	-12.1	-22.4	-21.9	-28.2	-23.0	-20.0	-25.2	-17.6	-23.5	-27.3	-22.4	-15.7	-29.3	-18.4	-22.5	-3.0	-22.2
前年同期比	売上額	16.7		8.6		24.3		-6.1		10.3		7.9		18.8		-17.1			
	収益	-16.7		-20.0		-5.4		-24.2		-20.5		-26.3		-18.8		-45.7			
	販売価格	42.9		34.3		62.2		30.3		51.3		50.0		46.9		37.1			
雇用	残業時間	2.4	-12.9	14.7	2.4	2.7	8.6	6.3	-2.7	7.7	6.3	-5.3	0.0	6.3	-13.2	-11.4	-15.6		-2.9
	人手	-46.3	-40.6	-44.1	-48.8	-59.5	-34.3	-62.5	-56.8	-53.8	-59.4	-42.1	-56.4	-37.5	-39.5	-42.9	-43.8		-45.7
借入金	借入難易度	-28.6		-23.5		-30.6		-25.0		-22.9		-21.6		-19.4		-28.1			
	借入をした(%)	27.0	20.0	20.0	33.3	13.9	19.4	12.1	22.9	17.1	15.2	23.7	24.2	34.4	19.4	14.3	17.9		8.8
	借入をしない(%)	73.0	80.0	80.0	66.7	86.1	80.6	87.9	77.1	82.9	84.8	76.3	75.8	65.6	80.6	85.7	82.1		91.2
有効回答事業所数		77		67		72		71		67		73		74		74			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		R7 4～6月期		R7 7～9月期		R7 10～12月期		R8 1～3月期		対 前期 比	R8 4～6月期
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-22.0	-25.0	-8.8	-19.5	-22.2	-8.6	-25.0	-25.0	-12.8	-21.9	-5.3	-12.8	-12.5	-10.5	-8.6	-12.5		-5.7
	実施した	40.0	30.0	57.6	42.1	37.8	40.0	45.2	41.7	28.9	37.9	35.1	35.9	43.3	37.8	45.5	32.1		34.4
	事業用地・建物	20.0	6.7	18.2	13.2	16.2	16.7	22.6	16.7	15.8	17.2	13.5	15.4	3.3	18.9	6.1	3.6		6.3
	機械・設備の新・増設	12.5	13.3	21.2	15.8	24.3	10.0	19.4	25.0	23.7	17.2	29.7	20.5	16.7	21.6	21.2	14.3		18.8
	機械・設備の更改	25.0	20.0	33.3	21.1	27.0	33.3	32.3	25.0	18.4	20.7	21.6	17.9	33.3	24.3	27.3	21.4		21.9
	事務機器	2.5	10.0	9.1	5.3	8.1	10.0	9.7	5.6	2.6	10.3	8.1	5.1	10.0	10.8	6.1	7.1		6.3
	車両	5.0	10.0	12.1	13.2	2.7	3.3	9.7	8.3	5.3	13.8	0.0	7.7	3.3	5.4	9.1	14.3		6.3
	その他	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.1	3.3	0.0	3.0	0.0		0.0
	実施しない	60.0	70.0	42.4	57.9	62.2	60.0	54.8	58.3	71.1	62.1	64.9	64.1	56.7	62.2	54.5	67.9		65.6
経営 上の 問題 点 (%)	売上の停滞・減少	26.8		37.5		32.4		31.3		36.8		36.1		35.5		53.3			
	人手不足	43.9		34.4		51.4		37.5		50.0		38.9		29.0		40.0			
	同業者間の競争の激化	0.0		3.1		5.4		3.1		5.3		8.3		3.2		3.3			
	大型店との競争の激化	0.0		3.1		0.0		3.1		2.6		0.0		3.2		3.3			
	輸入製品との競争の激化	0.0		3.1		0.0		3.1		2.6		2.8		0.0		0.0			
	利幅の縮小	29.3		15.6		16.2		21.9		18.4		30.6		22.6		16.7			
	取扱商品の陳腐化	4.9		6.3		8.1		9.4		5.3		5.6		6.5		6.7			
	販売商品の不足	2.4		3.1		2.7		6.3		2.6		0.0		0.0		3.3			
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		0.0		0.0		3.1		0.0		0.0		3.2		0.0			
	仕入先からの値上げ要請	46.3		43.8		27.0		46.9		47.4		55.6		35.5		50.0			
	人件費の増加	43.9		50.0		59.5		25.0		28.9		30.6		38.7		30.0			
	人件費以外の経費の増加	19.5		15.6		27.0		25.0		7.9		8.3		16.1		10.0			
	取引先の減少	2.4		6.3		5.4		3.1		5.3		0.0		12.9		6.7			
	商圏人口の減少	2.4		6.3		5.4		3.1		2.6		0.0		0.0		3.3			
	商店街の集客力の低下	7.3		6.3		5.4		9.4		10.5		11.1		12.9		20.0			
	店舗の狭小・老朽化	9.8		3.1		8.1		6.3		10.5		8.3		12.9		6.7			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		3.1		0.0		2.8		0.0		0.0			
	地価の高騰	2.4		3.1		2.7		6.3		2.6		0.0		6.5		6.7			
	駐車場の確保難	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		3.2		0.0			
	天候の不順	17.1		21.9		13.5		18.8		34.2		36.1		9.7		16.7			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	その他	0.0		0.0		2.7		3.1		0.0		2.8		0.0		3.3			
	問題なし	7.3		3.1		2.7		0.0		0.0		0.0		3.2		0.0			
重 点 経 営 策 施 策 (%)	品揃えを改善する	26.2		14.3		25.7		15.6		37.8		24.3		16.1		28.1			
	経費を節減する	50.0		34.3		45.7		40.6		43.2		54.1		67.7		56.3			
	宣伝・広報を強化する	11.9		17.1		22.9		21.9		10.8		8.1		16.1		9.4			
	新しい事業を始める	14.3		17.1		14.3		21.9		10.8		16.2		29.0		21.9			
	店舗・設備を改装する	11.9		14.3		11.4		9.4		27.0		16.2		12.9		12.5			
	仕入先を開拓・選別する	4.8		17.1		17.1		18.8		24.3		27.0		12.9		21.9			
	営業時間を延長する	4.8		2.9		2.9		0.0		0.0		0.0		0.0		3.1			
	売れ筋商品を取扱う	21.4		20.0		11.4		18.8		18.9		10.8		16.1		21.9			
	商店街事業を活性化させる	4.8		5.7		2.9		6.3		5.4		10.8		12.9		15.6			
	機械化を推進する	9.5		11.4		17.1		18.8		8.1		2.7		0.0		0.0			
	人材を確保する	47.6		31.4		42.9		40.6		43.2		45.9		32.3		34.4			
	パート化を図る	7.1		2.9		5.7		3.1		8.1		2.7		6.5		6.3			
	教育訓練を強化する	16.7		22.9		22.9		15.6		2.7		2.7		6.5		3.1			
	輸入品の取扱いを増やす	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.7		0.0		0.0			
	不動産の有効活用を図る	7.1		8.6		0.0		0.0		2.7		5.4		0.0		6.3			
	その他	0.0		0.0		8.6		6.3		8.1		8.1		3.2		3.1			
	特になし	7.1		11.4		2.9		3.1		5.4		0.0		6.5		0.0			
有効回答事業所数		77		67		72		71		67		73		74		74			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対 前期 比	R8
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			4～6月期
業況	良い	27.1	18.3	24.1	12.5	24.0	19.2	18.9	18.7	20.2	18.9	15.1	19.0	25.0	16.4	22.1	12.0		16.9
	普通	53.1	59.2	45.6	62.5	38.7	55.1	37.8	50.7	47.6	48.6	56.2	42.9	48.7	52.1	55.8	68.0		57.1
	悪い	19.8	22.5	30.4	25.0	37.3	25.6	43.2	30.7	32.1	32.4	28.8	38.1	26.3	31.5	22.1	20.0		26.0
	D・I	7.3	-4.2	-6.3	-12.5	-13.3	-6.4	-24.3	-12.0	-11.9	-13.5	-13.7	-19.0	-1.3	-15.1	0.0	-8.0		-9.1
	修正値	11.4	5.4	-6.7	-14.8	-19.6	-7.1	-27.4	-20.1	-16.0	-13.8	-17.6	-22.7	-10.0	-18.5	-3.4	-16.7	7.0	-10.1
	傾向値	6.7		6.3		1.7		-5.4		-11.6		-14.9		-14.3		-9.8			
売上額	増加	27.1	21.1	27.5	16.7	28.9	20.0	18.9	15.8	22.6	23.0	20.5	16.7	22.4	26.0	29.9	14.7		22.1
	変らず	52.1	49.3	48.8	56.3	38.2	56.3	40.5	51.3	51.2	43.2	46.6	50.0	50.0	47.9	45.5	61.3		54.5
	減少	20.8	29.6	23.8	27.1	32.9	23.8	40.5	32.9	26.2	33.8	32.9	33.3	27.6	26.0	24.7	24.0		23.4
	D・I	6.2	-8.5	3.8	-10.4	-3.9	-3.8	-21.6	-17.1	-3.6	-10.8	-12.3	-16.7	-5.3	0.0	5.2	-9.3		-1.3
	修正値	9.1	-0.8	-3.2	-17.4	-13.5	-9.7	-18.6	-14.5	-6.3	-11.3	-15.7	-21.1	-13.2	-6.7	7.1	-8.7	20.0	-2.8
	傾向値	6.6		6.1		3.3		-1.0		-5.1		-8.4		-10.5		-7.3			
収益	増加	24.0	14.1	22.5	12.5	26.3	20.0	18.9	17.1	20.2	21.6	16.4	14.3	19.7	21.9	22.1	16.0		15.6
	変らず	46.9	57.7	53.8	61.5	39.5	56.3	40.5	53.9	52.4	43.2	52.1	54.8	51.3	49.3	48.1	57.3		55.8
	減少	29.2	28.2	23.8	26.0	34.2	23.8	40.5	28.9	27.4	35.1	31.5	31.0	28.9	28.8	29.9	26.7		28.6
	D・I	-5.2	-14.1	-1.3	-13.5	-7.9	-3.8	-21.6	-11.8	-7.1	-13.5	-15.1	-16.7	-9.2	-6.8	-7.8	-10.7		-13.0
	修正値	1.0	-8.5	-6.4	-17.8	-17.1	-9.5	-20.8	-11.0	-8.1	-14.8	-18.5	-20.1	-16.6	-11.8	-7.1	-10.5	10.0	-14.4
	傾向値	-0.1		-0.3		-2.7		-6.8		-9.2		-11.2		-13.1		-11.5			
価格動向	料金価格	13.5	12.7	20.0	8.3	14.5	13.8	16.2	13.2	20.2	17.6	19.2	11.9	11.8	13.7	16.9	13.3		17.1
	〃 修正値	14.6	12.7	17.3	11.4	7.1	9.6	16.8	9.6	18.4	12.9	16.1	13.4	6.1	9.5	18.5	10.5	12.0	14.5
	〃 傾向値	17.2		17.8		15.4		14.4		16.9		17.6		17.2		17.0			
	材料価格	63.9	39.4	50.7	61.1	53.9	46.5	56.9	48.7	47.0	58.5	63.2	43.4	52.9	47.1	54.2	44.8		59.7
	〃 修正値	56.2	37.7	54.1	55.6	49.8	46.0	53.2	47.3	39.8	53.0	62.2	37.3	48.7	45.6	52.0	44.2	3.0	54.1
	〃 傾向値	52.2		53.6		53.2		54.6		54.3		53.7		55.1		54.7			
在庫・資金繰り	資金繰り	-11.6	-7.0	-12.5	-20.8	-14.5	-16.3	-20.3	-15.8	-2.4	-13.5	-9.6	-4.8	-1.3	-2.7	-6.5	-2.7		-9.1
	〃 修正値	-7.2	-4.6	-13.9	-17.7	-17.5	-17.8	-21.1	-18.2	-5.7	-16.2	-11.9	-6.3	-4.9	-7.2	-6.1	-4.6	-1.0	-10.0
前年同期比	売上額	12.5		-7.1		-7.4		-21.4		-5.4		1.9		-1.9		-1.9			
	収益	1.6		-18.2		-14.8		-27.3		-12.5		-1.9		-5.6		-7.4			
雇用	残業時間	0.0	-12.0	8.9	6.3	13.0	3.6	-12.7	-5.6	0.0	-3.6	-3.7	-7.1	1.9	3.7	-14.8	-11.1		-7.4
	人手	-53.1	-64.0	-58.9	-50.0	-47.2	-60.7	-58.9	-47.2	-58.9	-58.9	-31.5	-55.4	-53.7	-39.6	-63.0	-53.7		-66.7
借入金	借入難易度	-6.5		-3.8		-3.7		-1.8		0.0		2.0		3.7		5.8			
	借入をした(%)	23.4	8.3	18.5	21.3	18.5	15.1	20.0	18.9	18.5	16.4	19.2	11.1	18.5	13.2	15.1	9.6		11.1
	借入をしない(%)	76.6	91.7	81.5	78.7	81.5	84.9	80.0	81.1	81.5	83.6	80.8	88.9	81.5	86.8	84.9	90.4		88.9
有効回答事業所数		96		80		76		75		84		73		76		77			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6 4～6月期		R6 7～9月期		R6 10～12月期		R7 1～3月期		R7 4～6月期		R7 7～9月期		R7 10～12月期		R8 1～3月期		対 前期 比	R8 4～6月期
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-15.6	-18.0	-14.3	-11.1	-3.7	-14.3	-14.5	-5.6	-16.4	-14.5	-3.8	-10.9	-14.8	0.0	-7.4	-13.0		-11.1
	実施した	45.0	29.8	49.1	40.0	41.5	40.0	36.4	41.2	38.2	40.0	40.7	34.5	40.7	36.5	45.3	39.6		37.3
	事業用地・建物	5.0	6.4	5.5	6.7	7.5	5.5	5.5	5.9	5.5	7.3	1.9	5.5	7.4	1.9	9.4	5.7		7.8
	機械・設備の新・増設	8.3	4.3	12.7	1.7	7.5	9.1	5.5	7.8	7.3	7.3	9.3	7.3	11.1	9.6	15.1	5.7		11.8
	機械・設備の更改	10.0	12.8	14.5	11.7	18.9	7.3	16.4	17.6	16.4	16.4	13.0	9.1	18.5	13.5	9.4	20.8		9.8
	事務機器	21.7	21.3	20.0	16.7	28.3	18.2	21.8	21.6	14.5	16.4	18.5	10.9	18.5	19.2	22.6	18.9		19.6
	車両	21.7	14.9	23.6	21.7	15.1	23.6	16.4	21.6	12.7	20.0	13.0	10.9	16.7	11.5	17.0	15.1		13.7
	その他	5.0	0.0	7.3	6.7	1.9	5.5	3.6	2.0	3.6	3.6	3.7	5.5	9.3	5.8	1.9	3.8		3.9
	実施しない	55.0	70.2	50.9	60.0	58.5	60.0	63.6	58.8	61.8	60.0	59.3	65.5	59.3	63.5	54.7	60.4		62.7
経営 上の 問題 点 (%)	売上の停滞・減少	31.1		33.3		37.7		49.0		38.9		37.7		34.0		34.6			
	人手不足	52.5		55.6		54.7		54.9		51.9		43.4		60.4		61.5			
	同業者間の競争の激化	9.8		18.5		9.4		5.9		11.1		18.9		13.2		7.7			
	大手企業との競争の激化	6.6		3.7		7.5		2.0		1.9		1.9		5.7		1.9			
	合理化の不足	8.2		9.3		3.8		7.8		1.9		7.5		5.7		9.6			
	利幅の縮小	13.1		14.8		15.1		9.8		18.5		20.8		13.2		13.5			
	取扱事務の陳腐化	1.6		0.0		0.0		3.9		0.0		0.0		3.8		1.9			
	材料価格の上昇	27.9		31.5		39.6		29.4		33.3		17.0		26.4		30.8			
	料金の値下げ要請	0.0		1.9		0.0		3.9		0.0		5.7		0.0		1.9			
	人件費の増加	49.2		42.6		37.7		45.1		38.9		47.2		52.8		36.5			
	人件費以外の経費の増加	23.0		13.0		17.0		17.6		16.7		17.0		11.3		15.4			
	技術力の不足	0.0		5.6		1.9		2.0		5.6		3.8		3.8		1.9			
	取引先の減少	4.9		0.0		11.3		5.9		7.4		3.8		9.4		0.0			
	商圏人口の減少	1.6		1.9		1.9		2.0		1.9		3.8		0.0		1.9			
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		2.0		3.7		0.0		1.9		0.0			
	駐車場の確保難	8.2		1.9		1.9		0.0		3.7		3.8		1.9		3.8			
	店舗・設備の狭小・老朽化	0.0		0.0		1.9		0.0		1.9		1.9		1.9		0.0			
	代金回収の悪化	3.3		7.4		1.9		2.0		0.0		1.9		0.0		0.0			
	天候の不順	3.3		3.7		3.8		3.9		5.6		5.7		3.8		3.8			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	その他	1.6		0.0		1.9		0.0		1.9		1.9		0.0		3.8			
	問題なし	4.9		3.7		1.9		2.0		0.0		1.9		1.9		3.8			
重 点 経 営 策 (%)	販路を広げる	40.3		37.5		38.9		35.2		44.4		44.2		43.4		37.7			
	経費を節減する	38.7		42.9		42.6		42.6		35.2		46.2		37.7		30.2			
	宣伝・広告を強化する	14.5		21.4		20.4		13.0		14.8		9.6		7.5		5.7			
	新しい事業を始める	17.7		7.1		13.0		9.3		9.3		11.5		9.4		7.5			
	店舗・設備を改装する	3.2		0.0		1.9		1.9		1.9		1.9		0.0		1.9			
	提携先を見つける	21.0		14.3		16.7		11.1		9.3		9.6		11.3		9.4			
	技術力を強化する	8.1		7.1		3.7		11.1		14.8		17.3		13.2		11.3			
	機械化を促進する	6.5		0.0		5.6		5.6		7.4		1.9		3.8		9.4			
	人材を確保する	53.2		66.1		53.7		53.7		53.7		50.0		60.4		62.3			
	パート化を図る	0.0		0.0		0.0		3.7		3.7		1.9		0.0		1.9			
	教育訓練を強化する	14.5		14.3		11.1		16.7		13.0		19.2		15.1		13.2			
	労働条件を改善する	11.3		17.9		16.7		20.4		18.5		17.3		20.8		13.2			
	不動産の有効活用を図る	1.6		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		1.9			
	その他	0.0		1.8		0.0		1.9		1.9		1.9		0.0		0.0			
	特になし	1.6		3.6		0.0		3.7		3.7		0.0		5.7		9.4			
有効回答事業所数		96		80		76		75		84		73		76		77			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対 前期 比	R8
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			4～6月期
業況	良い	15.9	12.2	17.5	14.8	28.4	26.3	24.3	23.0	25.8	17.6	26.3	23.3	20.3	13.8	21.3	15.2		10.8
	普通	39.8	41.9	42.5	47.7	32.4	38.8	33.8	43.2	33.7	43.2	37.5	44.2	49.4	55.0	49.3	48.1		43.2
	悪い	44.3	45.9	40.0	37.5	39.2	35.0	41.9	33.8	40.4	39.2	36.3	32.6	30.4	31.3	29.3	36.7		45.9
	D・I	-28.4	-33.8	-22.5	-22.7	-10.8	-8.8	-17.6	-10.8	-14.6	-21.6	-10.0	-9.3	-10.1	-17.5	-8.0	-21.5		-35.1
	修正値	-13.1	-26.5	-18.7	-18.1	-18.0	-18.2	-28.2	-18.5	-11.2	-18.7	-13.2	-13.6	-17.0	-23.9	-15.9	-25.0	1.0	-28.0
	傾向値	-19.0		-19.5		-19.3		-19.0		-18.1		-14.8		-13.2		-11.9			
売上額	増加	19.3	13.3	21.3	18.2	28.4	25.0	23.0	24.3	32.6	23.0	28.8	29.9	24.1	26.3	21.3	19.5		8.1
	変らず	29.5	38.7	45.0	43.2	32.4	40.0	36.5	40.5	19.1	39.2	25.0	32.2	44.3	35.0	48.0	37.7		44.6
	減少	51.1	48.0	33.8	38.6	39.2	35.0	40.5	35.1	48.3	37.8	46.3	37.9	31.6	38.8	30.7	42.9		47.3
	D・I	-31.8	-34.7	-12.5	-20.5	-10.8	-10.0	-17.6	-10.8	-15.7	-14.9	-17.5	-8.0	-7.6	-12.5	-9.3	-23.4		-39.2
	修正値	-7.4	-24.0	-14.4	-19.9	-22.0	-17.4	-27.1	-15.3	-0.6	-11.2	-20.5	-13.3	-17.4	-16.6	-16.6	-23.4	1.0	-34.0
	傾向値	-17.5		-16.1		-15.8		-16.8		-16.2		-14.8		-15.0		-13.6			
受注残	増加	10.2	14.7	17.7	15.9	21.6	19.0	24.7	21.6	19.5	17.8	23.8	24.7	21.5	20.0	22.7	18.2		9.6
	変らず	44.3	45.3	48.1	50.0	52.7	49.4	43.8	54.1	40.2	47.9	41.3	42.4	49.4	45.0	44.0	42.9		47.9
	減少	45.5	40.0	34.2	34.1	25.7	31.6	31.5	24.3	40.2	34.2	35.0	32.9	29.1	35.0	33.3	39.0		42.5
	D・I	-35.2	-25.3	-16.5	-18.2	-4.1	-12.7	-6.8	-2.7	-20.7	-16.4	-11.3	-8.2	-7.6	-15.0	-10.7	-20.8		-32.9
	修正値	-19.7	-14.2	-15.4	-15.5	-19.4	-21.4	-14.0	-11.6	-10.7	-10.5	-12.6	-9.0	-19.5	-19.2	-14.6	-25.1	5.0	-26.2
	傾向値	-21.4		-21.4		-19.8		-17.0		-13.8		-11.4		-11.2		-12.1			
施工高	増加	20.5	14.7	19.0	18.2	28.4	16.5	21.9	21.6	27.3	17.8	32.5	27.9	26.6	22.5	25.3	11.7		9.6
	変らず	33.0	42.7	39.2	45.5	33.8	44.3	38.4	43.2	29.5	43.8	27.5	33.7	44.3	41.3	38.7	48.1		45.2
	減少	46.6	42.7	41.8	36.4	37.8	39.2	39.7	35.1	43.2	38.4	40.0	38.4	29.1	36.3	36.0	40.3		45.2
	D・I	-26.1	-28.0	-22.8	-18.2	-9.5	-22.8	-17.8	-13.5	-15.9	-20.5	-7.5	-10.5	-2.5	-13.8	-10.7	-28.6		-35.6
	修正値	3.6	-11.7	-22.4	-20.0	-21.3	-30.1	-28.6	-18.2	0.1	-11.2	-11.0	-17.6	-13.4	-18.8	-16.8	-29.6	-3.0	-27.0
	傾向値	-15.0		-15.1		-16.4		-17.3		-17.8		-14.6		-11.8		-10.0			
収益	増加	12.5	13.3	17.7	17.0	25.7	19.0	20.3	18.9	28.1	18.9	26.3	25.3	25.3	16.3	21.6	14.3		8.3
	変らず	31.8	33.3	36.7	39.8	33.8	39.2	32.4	41.9	22.5	36.5	27.5	32.2	41.8	42.5	41.9	37.7		43.1
	減少	55.7	53.3	45.6	43.2	40.5	41.8	47.3	39.2	49.4	44.6	46.3	42.5	32.9	41.3	36.5	48.1		48.6
	D・I	-43.2	-40.0	-27.8	-26.1	-14.9	-22.8	-27.0	-20.3	-21.3	-25.7	-20.0	-17.2	-7.6	-25.0	-14.9	-33.8		-40.3
	修正値	-24.4	-27.0	-28.3	-28.1	-24.9	-29.9	-35.1	-24.7	-9.1	-17.8	-23.2	-24.2	-18.3	-28.5	-19.8	-34.7	-2.0	-32.2
	傾向値	-28.1		-28.2		-27.7		-27.5		-25.5		-21.8		-19.9		-17.5			
価格動向	請負価格	-12.5	-5.3	-7.6	-4.5	8.1	-10.1	-6.8	0.0	9.1	-10.8	-8.8	-5.8	5.1	-15.0	-1.3	-5.2		-13.7
	〃 修正値	-5.5	-2.5	-6.5	-3.2	-0.3	-13.3	-13.3	-5.9	8.9	-10.8	-7.4	-7.9	-2.0	-15.4	-5.4	-9.8	-3.0	-12.7
	〃 傾向値	-8.8		-7.1		-4.5		-3.7		-2.0		0.6		0.0		0.3			
	材料価格	71.3	68.5	64.1	63.2	67.6	57.7	70.3	59.5	61.4	64.9	55.1	52.3	41.0	50.0	65.3	43.4		70.3
	〃 修正値	69.9	65.4	62.5	61.7	63.1	58.3	69.4	58.5	57.3	59.7	53.1	49.2	38.9	49.5	62.9	43.1	24.0	62.8
	〃 傾向値	65.3		65.8		65.3		66.9		67.1		64.7		60.3		56.3			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	5.7	-2.8	1.3	5.7	-1.4	0.0	-5.6	-2.8	-2.3	-4.2	1.3	-1.2	0.0	1.3	-4.1	-2.7		-5.5
	〃 修正値	5.7	-0.9	-2.4	6.1	-0.8	-2.1	-2.2	-3.7	-1.9	-2.3	-1.6	-0.6	0.8	0.2	-1.2	-2.4	-2.0	-4.2
	資金繰り	-20.5	-26.0	-11.5	-23.0	-4.1	-10.3	-4.1	-5.4	-10.1	-6.8	-8.9	-11.5	-12.8	-12.7	-16.2	-21.1		-17.8
	〃 修正値	-18.1	-24.0	-16.0	-22.9	-4.8	-11.3	-6.7	-9.8	-10.5	-8.8	-12.5	-13.7	-11.7	-12.5	-16.3	-21.2	-5.0	-17.7
前年同期比	売上額	-20.8		-28.4		-9.1		-14.5		-8.0		-6.3		-2.8		-8.5			
	収益	-19.2		-35.1		-13.6		-15.9		-14.9		-15.2		-12.7		-19.7			
雇用	残業時間	-17.9	-25.7	-9.5	-10.3	-7.6	-8.1	-5.9	-6.1	-13.6	-5.9	-8.9	-2.3	-11.3	-7.7	-19.7	-12.7		-21.1
	人手	-55.1	-59.5	-55.4	-52.6	-56.1	-62.2	-49.3	-54.5	-47.2	-50.7	-58.2	-54.0	-60.6	-57.7	-42.9	-60.6		-38.6
借入金	借入難易度	-6.5		-4.1		0.0		4.5		2.4		1.3		-5.8		-4.2			
	借入をした(%)	29.9	23.6	29.2	24.0	27.3	19.1	25.8	14.1	22.4	17.4	19.0	7.0	20.0	12.8	26.8	14.7		8.8
	借入をしな(%)	70.1	76.4	70.8	76.0	72.7	80.9	74.2	85.9	77.6	82.6	81.0	93.0	80.0	87.2	73.2	85.3		91.2
有効回答事業所数		88		80		74		74		89		80		79		75			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対 前期 比	R8
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			4～6月期
設備投資 動向（％）	現在の設備	-10.4	-6.8	-11.0	-11.7	-6.3	-13.9	-7.9	-7.8	-4.8	-11.1	-8.0	-3.7	-13.2	-4.0	-5.8	-14.7		-4.3
	実施した	34.2	33.3	33.8	29.7	35.5	31.9	31.8	33.9	33.7	27.3	40.0	28.8	36.2	31.1	34.3	31.9		29.4
	事業用地・建物	6.6	5.8	8.1	2.7	3.2	7.2	3.0	6.5	2.4	3.0	4.0	5.0	5.8	5.4	4.3	2.9		4.4
	機械・設備の新・増設	7.9	8.7	14.9	8.1	8.1	10.1	7.6	4.8	6.0	4.5	8.0	6.3	7.2	9.5	5.7	5.8		4.4
	機械・設備の更改	14.5	15.9	8.1	12.2	8.1	10.1	6.1	12.9	4.8	4.5	5.3	7.5	4.3	4.1	10.0	11.6		11.8
	事務機器	13.2	10.1	8.1	9.5	11.3	11.6	16.7	14.5	14.5	10.6	22.7	12.5	14.5	16.2	11.4	4.3		8.8
	車両	17.1	15.9	16.2	16.2	17.7	15.9	18.2	16.1	19.3	19.7	20.0	16.3	14.5	10.8	17.1	15.9		13.2
	その他	1.3	1.4	1.4	1.4	1.6	1.4	0.0	1.6	1.2	0.0	1.3	0.0	1.4	1.4	1.4	1.4		0.0
	実施しない	65.8	66.7	66.2	70.3	64.5	68.1	68.2	66.1	66.3	72.7	60.0	71.3	63.8	68.9	65.7	68.1		70.6
経営上の 問題点（％）	売上の停滞・減少	38.5		31.5		30.8		34.8		33.3		36.4		40.6		36.6			
	人手不足	55.1		52.1		58.5		58.0		51.2		58.4		50.7		38.0			
	大手企業との競争の激化	0.0		0.0		4.6		1.4		2.4		1.3		0.0		2.8			
	同業者間の競争の激化	9.0		15.1		9.2		8.7		9.5		5.2		10.1		9.9			
	親企業による選別の強化	2.6		1.4		3.1		1.4		1.2		1.3		5.8		2.8			
	合理化の不足	2.6		2.7		0.0		2.9		4.8		3.9		1.4		4.2			
	利幅の縮小	24.4		12.3		23.1		20.3		13.1		20.8		21.7		21.1			
	材料価格の上昇	50.0		52.1		46.2		49.3		41.7		48.1		44.9		56.3			
	下請の確保難	23.1		23.3		20.0		21.7		31.0		24.7		23.2		21.1			
	駐車場・資材置場の確保難	3.8		8.2		7.7		4.3		8.3		5.2		4.3		7.0			
	人件費の増加	25.6		16.4		30.8		27.5		21.4		23.4		24.6		25.4			
	人件費以外の経費の増加	15.4		13.7		6.2		13.0		13.1		11.7		14.5		15.5			
	技術力の不足	7.7		11.0		10.8		8.7		8.3		13.0		5.8		9.9			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		2.9		1.2		1.3		0.0		0.0			
	天候の不順	2.6		2.7		0.0		0.0		2.4		2.6		0.0		0.0			
	地場産業の衰退	1.3		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		0.0		2.8			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.3		1.4		0.0		0.0		2.4		1.3		0.0		1.4			
	その他	1.3		1.4		1.5		1.4		1.2		2.6		0.0		2.8			
	問題なし	1.3		2.7		1.5		1.4		1.2		1.3		4.3		2.8			
重点経営 施策（％）	販路を広げる	29.5		24.7		30.3		33.8		23.0		24.4		30.0		31.0			
	経費を節減する	38.5		30.1		28.8		35.3		36.8		30.8		35.7		38.0			
	情報力を強化する	14.1		21.9		18.2		22.1		24.1		21.8		20.0		18.3			
	新しい工法を導入する	3.8		5.5		4.5		2.9		5.7		2.6		5.7		5.6			
	新しい事業を始める	9.0		9.6		7.6		10.3		9.2		9.0		2.9		7.0			
	技術力を高める	29.5		26.0		28.8		26.5		35.6		28.2		30.0		25.4			
	人材を確保する	56.4		54.8		60.6		61.8		58.6		60.3		60.0		53.5			
	パート化を図る	2.6		0.0		3.0		2.9		2.3		1.3		1.4		1.4			
	教育訓練を強化する	12.8		15.1		16.7		11.8		10.3		10.3		11.4		12.7			
	労働条件を改善する	28.2		17.8		18.2		19.1		17.2		20.5		14.3		14.1			
	不動産の有効活用を図る	3.8		2.7		1.5		1.5		1.1		2.6		2.9		2.8			
	その他	1.3		2.7		1.5		0.0		2.3		1.3		0.0		7.0			
	特になし	5.1		11.0		7.6		4.4		6.9		7.7		10.0		8.5			
有効回答事業所数		88		80		74		74		89		80		79		75			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対 前期 比	R8
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			4～6月期
業 況	良い	17.6	20.3	14.5	19.0	20.3	17.6	24.3	20.3	24.4	20.3	28.2	23.0	25.7	18.6	19.1	24.3		20.6
	普通	48.2	52.5	66.7	46.4	58.0	57.4	54.1	58.0	52.3	50.0	49.3	44.8	50.0	57.1	55.9	55.4		47.1
	悪い	34.1	27.1	18.8	34.5	21.7	25.0	21.6	21.7	23.3	29.7	22.5	32.2	24.3	24.3	25.0	20.3		32.4
	D・I	-16.5	-6.8	-4.3	-15.5	-1.4	-7.4	2.7	-1.4	1.2	-9.5	5.6	-9.2	1.4	-5.7	-5.9	4.1		-11.8
	修正値	-16.5	-6.8	-4.3	-15.5	-1.4	-7.4	2.7	-1.4	1.2	-9.5	5.6	-9.2	1.4	-5.7	-5.9	4.1	-7.0	-11.8
	傾向値																		
売 上 額	増加	25.9	22.0	33.3	23.8	24.6	24.6	32.4	23.2	33.3	21.6	36.6	28.7	29.7	30.0	20.6	21.6		20.6
	変らず	40.0	49.2	50.7	52.4	49.3	52.2	48.6	58.0	35.6	43.2	38.0	44.8	44.6	38.6	48.5	55.4		50.0
	減少	34.1	28.8	15.9	23.8	26.1	23.2	18.9	18.8	31.0	35.1	25.4	26.4	25.7	31.4	30.9	23.0		29.4
	D・I	-8.2	-6.8	17.4	0.0	-1.4	1.4	13.5	4.3	2.3	-13.5	11.3	2.3	4.1	-1.4	-10.3	-1.4		-8.8
	修正値	-8.2	-6.8	17.4	0.0	-1.4	1.4	13.5	4.3	2.3	-13.5	11.3	2.3	4.1	-1.4	-10.3	-1.4	-14.0	-8.8
	傾向値																		
収 益	増加	20.0	20.3	26.1	19.0	18.8	20.3	27.0	23.2	32.2	17.6	26.8	27.6	25.7	24.3	20.6	20.3		23.5
	変らず	40.0	52.5	53.6	51.2	56.5	52.2	50.0	55.1	37.9	51.4	42.3	39.1	43.2	41.4	47.1	55.4		41.2
	減少	40.0	27.1	20.3	29.8	24.6	27.5	23.0	21.7	29.9	31.1	31.0	33.3	31.1	34.3	32.4	24.3		35.3
	D・I	-20.0	-6.8	5.8	-10.7	-5.8	-7.2	4.1	1.4	2.3	-13.5	-4.2	-5.7	-5.4	-10.0	-11.8	-4.1		-11.8
	修正値	-20.0	-6.8	5.8	-10.7	-5.8	-7.2	4.1	1.4	2.3	-13.5	-4.2	-5.7	-5.4	-10.0	-11.8	-4.1	-6.0	-11.8
	傾向値																		
価 格 動 向	システム提供価格	12.2	19.6	11.6	12.3	11.9	10.1	13.7	10.4	22.1	26.0	12.9	12.8	8.2	10.1	10.3	8.2		16.2
	〃 修正値	12.2	19.6	11.6	12.3	11.9	10.1	13.7	10.4	22.1	26.0	12.9	12.8	8.2	10.1	10.3	8.2	2.0	16.2
	〃 傾向値																		
	人件費	43.5	36.7	30.4	36.9	20.3	30.4	36.5	13.0	52.9	62.2	36.6	39.1	29.7	31.4	16.2	21.6		42.6
	〃 修正値	43.5	36.7	30.4	36.9	20.3	30.4	36.5	13.0	52.9	62.2	36.6	39.1	29.7	31.4	16.2	21.6	-14.0	42.6
	〃 傾向値																		
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資金繰り	-11.8	-10.0	-8.7	-15.5	-1.4	-7.2	-6.8	-2.9	0.0	-9.5	1.4	-6.9	-8.1	-4.3	-2.9	-1.4		0.0
	〃 修正値	-11.8	-10.0	-8.7	-15.5	-1.4	-7.2	-6.8	-2.9	0.0	-9.5	1.4	-6.9	-8.1	-4.3	-2.9	-1.4	5.0	0.0
前 年 同 期 比	売上額	-3.1		15.4		-6.3		-3.6		2.7		6.6		23.2		-1.7			
	収益	-13.8		-11.8		-8.3		-3.6		0.0		4.9		10.7		-6.9			
雇 用	残業時間	-7.7	-7.1	-11.5	-6.2	-8.3	-13.5	1.9	-4.2	4.1	5.6	11.5	5.5	14.3	6.6	-6.8	1.8		-1.7
	人手	-44.6	-50.0	-34.6	-41.5	-52.1	-44.2	-49.1	-52.1	-49.3	-50.9	-54.1	-46.6	-49.1	-59.0	-66.1	-52.6		-64.4
借 入 金	借入難易度	-8.2		-12.2		-10.4		-5.6		-13.7		-6.6		-1.8		-6.9			
	借入をした(%)	23.8	17.1	22.4	18.0	23.4	20.0	25.9	10.6	24.7	21.8	16.4	13.9	19.3	13.3	24.6	19.6		21.1
	借入をしない(%)	76.2	82.9	77.6	82.0	76.6	80.0	74.1	89.4	75.3	78.2	83.6	86.1	80.7	86.7	75.4	80.4		78.9
有効回答事業所数		86		69		69		74		87		71		74		68			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R6		R6		R6		R7		R7		R7		R7		R8		対 前期 比	R8
項目		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期			4～6月期
設備 投資動向 (%)	現在の設備	-3.9	-12.9	-8.5	-3.9	-14.8	-12.8	-5.6	-11.1	-18.3	-20.0	-18.3	-20.0	-7.0	-20.0	-13.6	-7.0		-13.6
	実施した	27.5	35.9	31.3	26.5	27.8	35.4	21.9	28.3	36.8	26.0	36.8	26.0	37.5	38.2	27.6	33.3		31.6
	事業用地・建物	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0		1.8
	機械・設備の新・増設	5.9	7.8	6.3	4.1	11.1	6.3	5.5	9.4	8.8	5.5	8.8	5.5	5.4	9.1	5.2	3.7		5.3
	機械・設備の更改	11.8	9.4	8.3	10.2	7.4	8.3	5.5	9.4	17.5	8.2	17.5	8.2	10.7	12.7	8.6	9.3		7.0
	事務機器	15.7	26.6	20.8	16.3	20.4	20.8	13.7	20.8	24.6	15.1	24.6	15.1	21.4	30.9	15.5	20.4		19.3
	車両	5.9	4.7	2.1	4.1	1.9	4.2	0.0	1.9	5.3	1.4	5.3	1.4	1.8	3.6	3.4	3.7		3.5
	その他	2.0	6.3	0.0	2.0	1.9	0.0	0.0	1.9	3.5	0.0	3.5	0.0	3.6	3.6	1.7	3.7		3.5
	実施しない	72.5	64.1	68.8	73.5	72.2	64.6	78.1	71.7	63.2	74.0	63.2	74.0	62.5	61.8	72.4	66.7		68.4
経営上 の問題点 (%)	売上の停滞・減少	52.9		47.9		34.5		42.3		45.0		45.0		37.0		32.8			
	人手不足	45.1		54.2		58.2		50.7		50.0		50.0		57.4		63.8			
	同業者間の競争の激化	2.0		12.5		5.5		12.7		8.3		8.3		13.0		8.6			
	大手企業との競争の激化	5.9		2.1		3.6		4.2		8.3		8.3		3.7		1.7			
	利幅の縮小	21.6		12.5		16.4		14.1		16.7		16.7		14.8		13.8			
	取扱サービスの陳腐化	5.9		6.3		5.5		5.6		5.0		5.0		7.4		5.2			
	合理化の不足	3.9		2.1		0.0		1.4		3.3		3.3		3.7		3.4			
	料金の値下げ要請	2.0		0.0		1.8		1.4		3.3		3.3		3.7		3.4			
	人件費の増加	43.1		52.1		43.6		39.4		45.0		45.0		35.2		39.7			
	通信価格の上昇	0.0		6.3		1.8		2.8		3.3		3.3		3.7		6.9			
	技術力の不足	19.6		12.5		18.2		15.5		16.7		16.7		29.6		20.7			
	取引先の減少	11.8		12.5		9.1		9.9		8.3		8.3		11.1		6.9			
	人件費以外の経費の増加	15.7		10.4		20.0		11.3		13.3		13.3		22.2		17.2			
	地価の高騰	2.0		0.0		1.8		0.0		0.0		0.0		0.0		1.7			
	駐車場の確保難	0.0		0.0		0.0		1.4		0.0		0.0		1.9		1.7			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	設備の狭小・老朽化	2.0		0.0		0.0		1.4		3.3		3.3		0.0		5.2			
	大手企業の縮小・撤退	2.0		0.0		3.6		1.4		5.0		5.0		1.9		3.4			
	為替レートの変動	0.0		4.2		0.0		2.8		1.7		1.7		1.9		5.2			
	その他	2.0		2.1		1.8		4.2		1.7		1.7		0.0		3.4			
	問題なし	3.9		4.2		7.3		12.7		1.7		1.7		1.9		5.2			
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	44.0		31.3		33.3		43.1		45.8		45.8		42.9		39.0			
	経費を節減する	28.0		22.9		16.7		13.9		16.9		16.9		19.6		16.9			
	宣伝・広告を強化する	6.0		4.2		11.1		13.9		8.5		8.5		5.4		10.2			
	新しい事業を始める	24.0		16.7		20.4		19.4		18.6		18.6		17.9		18.6			
	設備を改装する	6.0		4.2		0.0		2.8		5.1		5.1		0.0		3.4			
	提携先を見つける	8.0		6.3		5.6		15.3		13.6		13.6		16.1		13.6			
	技術力を強化する	38.0		39.6		42.6		40.3		33.9		33.9		55.4		42.4			
	人材を確保する	50.0		56.3		55.6		50.0		47.5		47.5		57.1		59.3			
	パート化を図る	0.0		4.2		0.0		2.8		1.7		1.7		0.0		3.4			
	教育訓練を強化する	16.0		14.6		18.5		15.3		16.9		16.9		12.5		16.9			
	労働条件を改善する	0.0		6.3		9.3		1.4		6.8		6.8		1.8		1.7			
	不動産の有効活用を図る	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	その他	0.0		2.1		1.9		1.4		0.0		0.0		0.0		1.7			
	特になし	8.0		8.3		14.8		13.9		6.8		6.8		5.4		6.8			
有効回答事業所数		86		69		69		74		87		71		74		68			

調査の概要

- 1. 調査時期 令和8年1～3月期
- 2. 調査方法 郵送アンケート調査
- 3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	72
卸売業	102	74
小売業	102	74
サービス業	102	77
建設業	102	75
情報通信業	102	68
合計	612	440